静岡市食生活や食育に関する知識・意識

アンケート調査報告書

静　岡　市

令和 8 年 度

目　次

Ⅰ　調査の概要……1
　１　調査の目的……1
　２　調査対象……1
　３　調査期間……1
　４　調査方法……1
　５　回収状況……1
　６　調査結果の表示方法……1
Ⅱ　調査結果……2
　１　あなた（ご本人）について……2
　　（１）居住地区……2
　　（２）アンケートの記入者……3
　　（３）性別……4
　　（４）年齢……5
　　（５）肥満度……5
　　（６）世帯構成……8
　　（７）家族の人数……9
　　（８）職業・属性……11
　　（９）学年……12
　　（10）毎日１回以上の共食……13
　　（11）家族との食事頻度……15
　　（12）家族と一緒に朝食を食べない理由……20
　　（13）家族と一緒に夕食を食べない理由……21
　　（14）食事に関する意識……22
　２　現在の食習慣、生活習慣について……34
　　（１）朝食の摂取頻度……34
　　（２）朝食を毎日食べるために必要なこと……37
　　（３）栄養バランスへの意識……38
　　（４）主食、主菜、副菜を３つそろえて食べる回数を増やすために必要なこと……42
　　（５）普段食べているもの……43
　　（６）食事の準備状況……50
　　（７）生活習慣病予防行動……52
　　（８）緑茶の飲用頻度……54
　　（９）緑茶の飲用方法……56
　　（10）経済的理由の欠食……58
　３　食や食育への関心について……60
　　（１）食育の認知……60
　　（２）食育の認知経路……62
　　（３）食育への関心……63
　　（４）食育への関心がない理由……67

（５）食育の実践内容.....70
（６）地元産品の購入意識.....73
（７）地元産品購入理由.....75
（８）食品購入時の意識.....76
（９）「食」に関する情報収集の行動.....80
（10）「食」に関する情報収集先.....84
４　農林漁業体験について.....87
（１）農林漁業体験の有無.....87
（２）農林漁業体験の内容.....91
（３）農林漁業体験後に意識・行動が変化したこと.....91
（４）農林漁業体験に参加していない理由.....92
（５）農林漁業体験に参加したいと思う条件.....94
５　食文化について.....96
（１）伝統の重要性.....96
（２）郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況.....97
（３）郷土料理や伝統料理に関して伝えている内容.....102
（４）郷土料理や伝統料理の頻度.....103
（５）郷土料理や伝統料理を食べない理由.....105
６　食品の安全性、環境への配慮について.....106
（１）安全な食生活を送るための基礎知識.....106
（２）食品ロス削減.....108
（３）食品ロス削減の具体策.....110
（４）環境に配慮した農林水産物・食品の選択.....111
（５）環境に配慮した農林水産物・食品の内容.....113
（６）環境に配慮した農林水産物・食品を選ばない理由.....114
７　食育の推進に関わるボランティア団体等における活動について.....115
（１）食育の推進に関わるボランティア活動の参加.....115
（２）食育の推進に関わるボランティア活動に参加していない理由.....116
Ⅲ　静岡市食育推進計画（第４次）評価指標、達成状況一覧表.....117
Ⅳ　集計表.....119

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

令和６年度から令和 12 年度の７年間の計画として策定した「第４次静岡市食育推進計画」の中間評価及び計画（中間見直し）策定のための基礎資料として、市民の食生活や食育に関する知識・意識等を把握することを目的としています。

2　調査対象

無作為抽出した静岡市民 3,800 人

3　調査期間

令和８年４月 21 日～令和８年５月 13 日

4　調査方法

郵送配布
65 歳未満はオンライン回答・65 歳以上は郵送回収またはオンライン回答

5　回収状況

配布数	回収数	回収率
3,800通	1,783通 （1,772通）※	46.9% （46.6%）※

※カッコ内の数値は年齢不詳を除いた数値です。本編では年齢不詳を除いた結果を掲載しています。

6　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・クロス集計及び経年比較のコメントについては、わかりやすさの観点から、割合の差（経年比較については令和４年度との差）が±5.0 ポイント以上であることを目安に言及しています。
・クロス集計において、回答者数が 30 人に満たない区分の割合については言及していません。
・評価指標のうち複数の選択肢を合算して算出するものは、回答件数を合算してから割合を算出しています。このため、グラフ上の割合（小数点以下第２位を四捨五入した値）を足し上げた数値と一致しない場合があります。

Ⅱ　調査結果

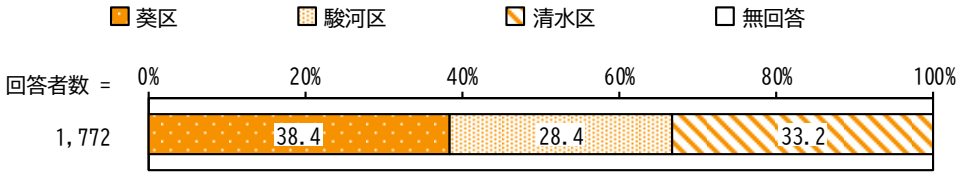
1　あなた（ご本人）について

（1）居住地区

問1　居住している区は、どちらですか。（1つにチェック）

「葵区」の割合が 38.4%、「駿河区」の割合が 28.4%、「清水区」の割合が 33.2%となっています。

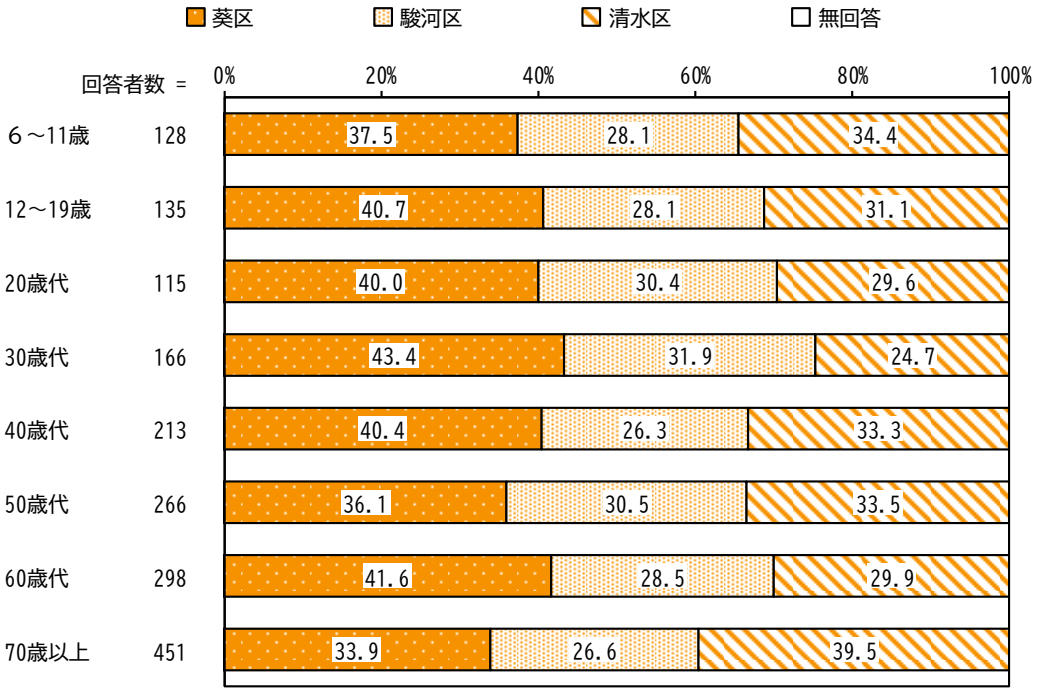
居住地区（問1）



【年代別】

年代別にみると、30 歳代で「葵区」、70 歳以上で「清水区」の割合が高くなっています。

年代別　居住地区（問1）

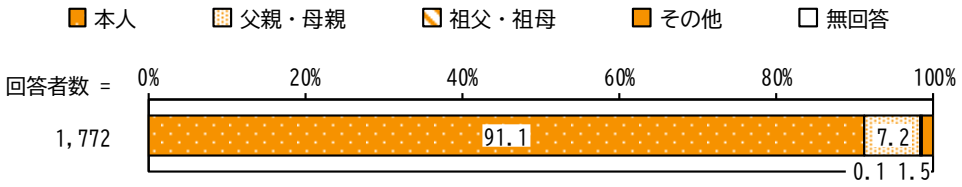


（２）アンケートの記入者

問２　このアンケートを記入されている方は、どなたですか。（１つにチェック）

「本人」の割合が 91.1%、「父親・母親」の割合が 7.2%、「祖父・祖母」の割合が 0.1%となっています。

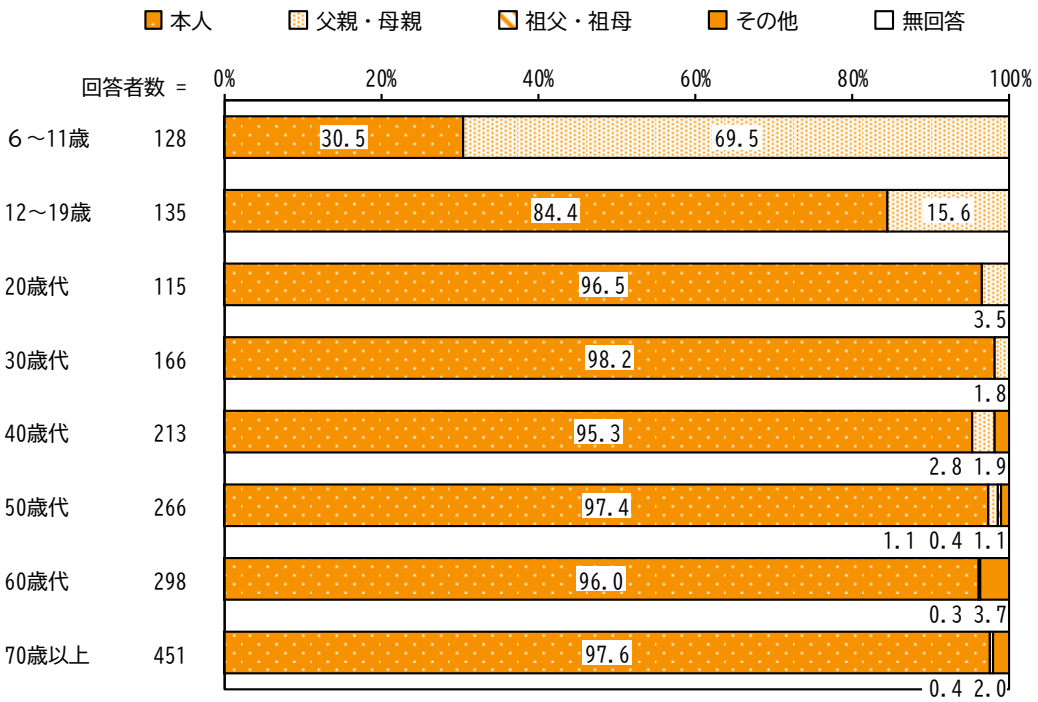
アンケートの記入者（問２）



【年代別】

年代別にみると、６～11 歳で「父親・母親」が 69.5%を占めていますが、12～19 歳では「本人」が 84.4%、20 歳代以上ではおおむね 95%以上となっています。

年代別　アンケートの記入者（問２）

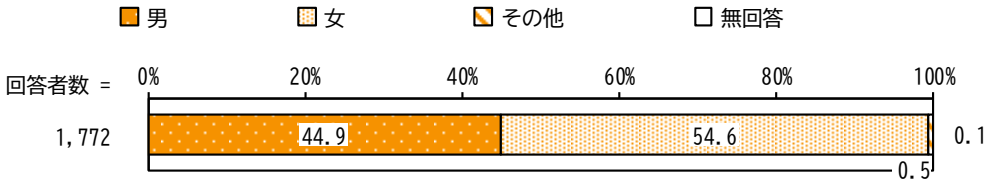


（３）性別

問３　性別を教えてください。（１つにチェック）

「男性」の割合が 44.9%、「女性」の割合が 54.6%となっています。

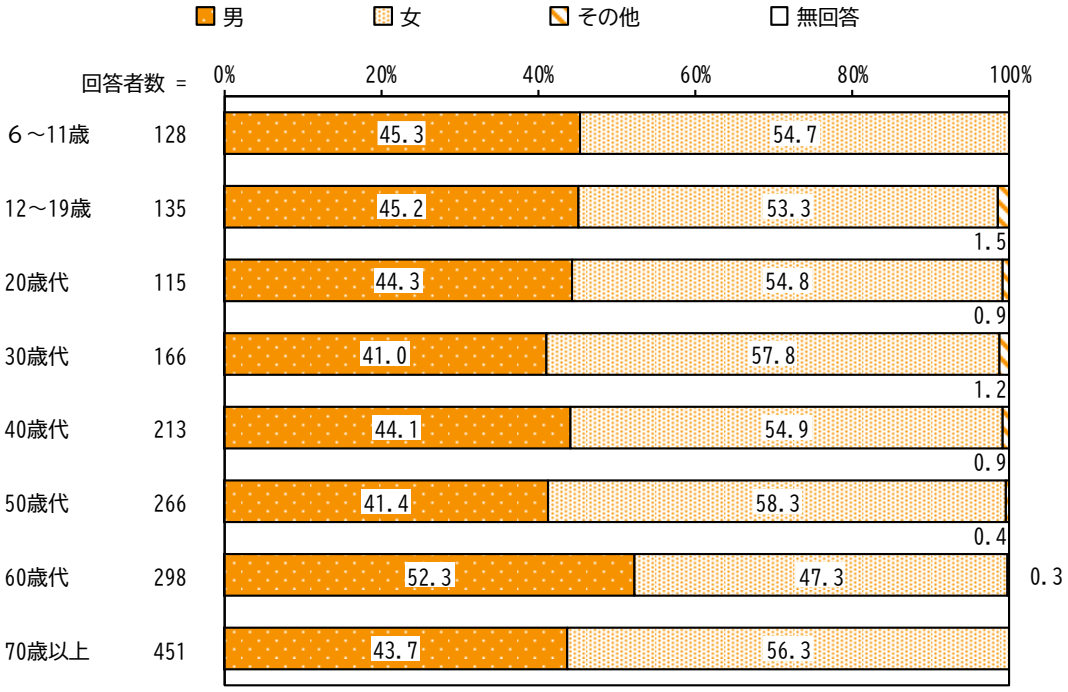
性別（問３）



【年代別】

年代別にみると、「男性」の割合が「女性」を上回るのは 60 歳代のみで、それ以外の年代ではいずれも「女性」の割合が高くなっています。

年代別　性別（問３）

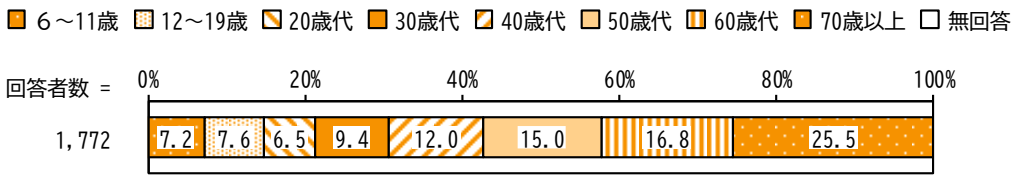


（４）年齢

問４　令和８年（2026 年）４月２日時点の年齢を教えてください。
（整数で記入してください）

「70 歳以上」の割合が 25.5%と最も高く、次いで「60 歳代」の割合が 16.8%、「50 歳代」の割合が 15.0%となっています。

年齢（問４）



（５）肥満度

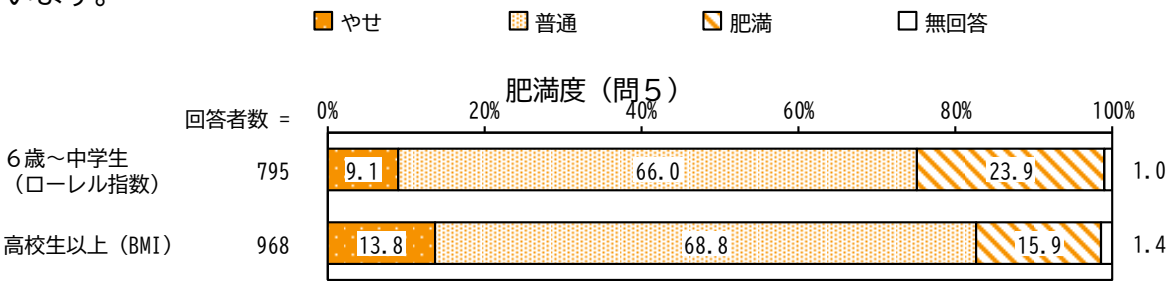
問５　現在の身長・体重を教えてください。（小数点第一位までの数字で記入してください。）

※ここでは、年齢・身長・体重からローレル指数（６歳～中学生）とＢＭＩ（高校生以上）を計算した結果を、やせ・普通・肥満に分類しています。

６歳～中学生では、「やせ」の割合が 9.1%、「普通」の割合が 66.0%、「肥満」の割合が 23.9%となっています。

高校生以上では、「やせ」の割合が 13.8%、「普通」の割合が 68.8%、「肥満」の割合が 15.9%となっています。

肥満度（問５）

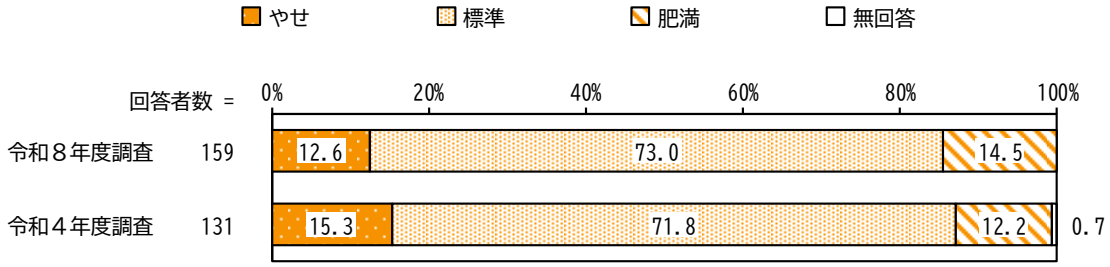


◆評価指標に基づく結果①　（対象：20～30 歳代　女性）

女性のやせ（低体重：BMI18.5 未満）の割合は 12.6%となっています。

女性のやせについて令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

20～30 歳代　女性のやせ（低体重：BMI18.5 未満）（問５）

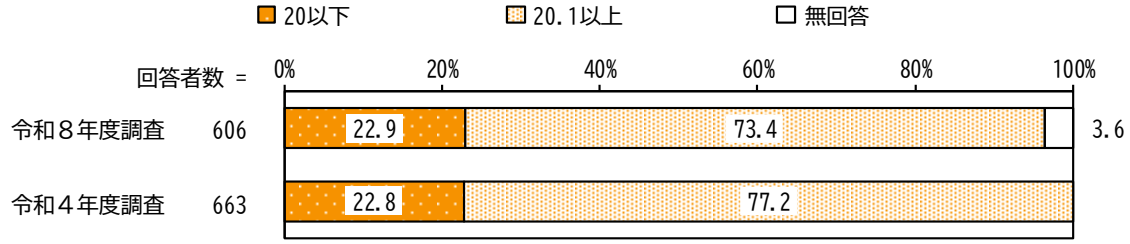


◆評価指標に基づく結果②　（対象：65 歳以上）

高齢者のやせ（低体重：BMI20 以下）の割合は 22.9%となっています。

高齢者のやせについて令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

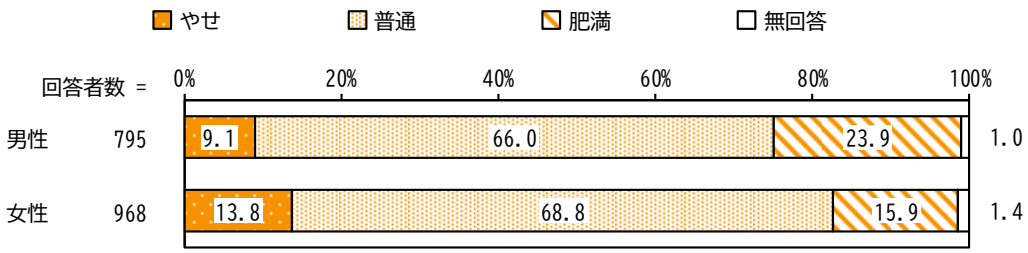
65 歳以上　高齢者のやせ（低体重：BMI20 以下）の割合（問５）



【性別】

肥満度について性別でみると、男性で「肥満」の割合が高くなっています。

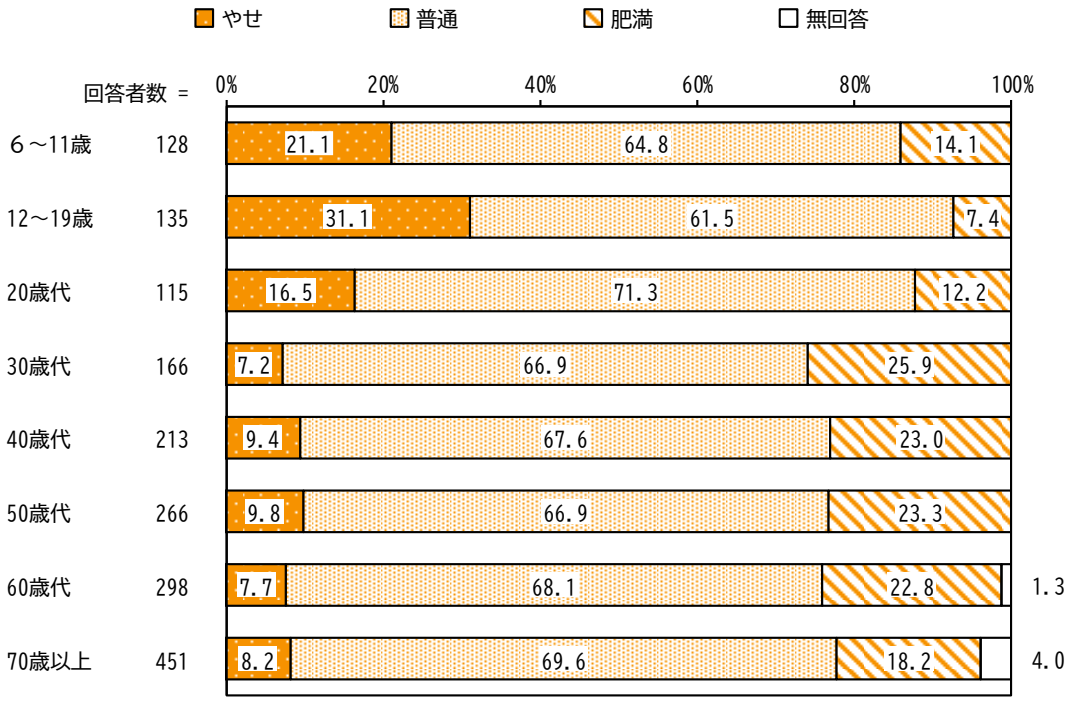
性別　肥満度（問５）



【年代別】

年代別にみると、「やせ」の割合は、12～19 歳、６～11 歳の順に高く、「肥満」の割合は、30 歳代で最も高く 25.9%であり、40～60 歳代でも 20%を超えています。

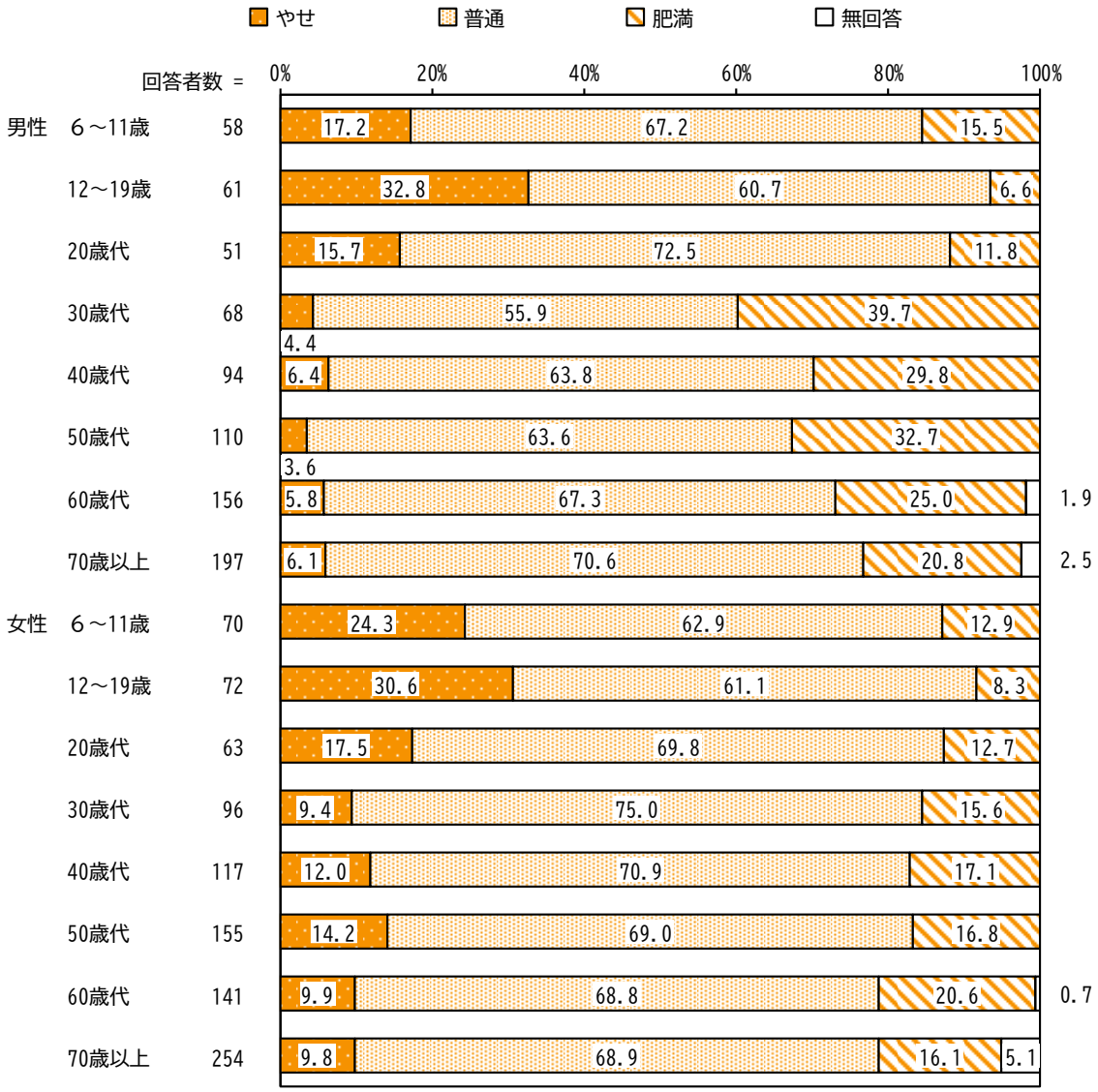
年代別　肥満度（問５）



【性年代別】

性年代別にみると、「やせ」の割合は男性の 12～19 歳、女性の６～11 歳・12～19 歳で高く、若い年代で目立ちます。一方「肥満」の割合は、男性の 30 歳代・40 歳代・50 歳代で高くなっています。

性年代別　肥満度（問５）

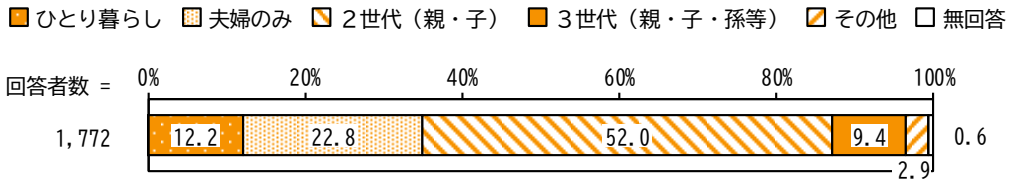


（６）世帯構成

問６　あなたの世帯構成はどれですか。（１つにチェック）

「２世代（親・子)」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が 22.8%、「ひとり暮らし」の割合が 12.2%となっています。

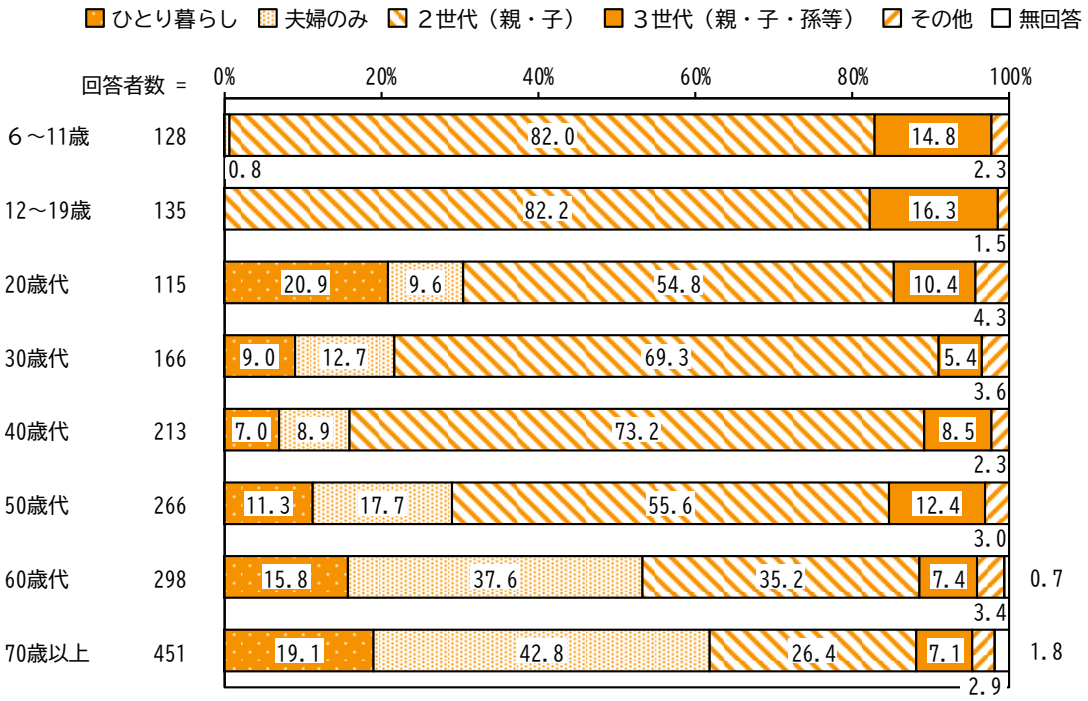
世帯構成（問６）



【年代別】

世帯構成について年代別でみると、40 歳代から 70 歳以上まで年代が上がるほど「ひとり暮らし」「夫婦のみ」の割合が高く、「２世代（親・子)」の割合が低くなっています。また、20 歳代でも「ひとり暮らし」の割合が 20.9%と高くなっています。

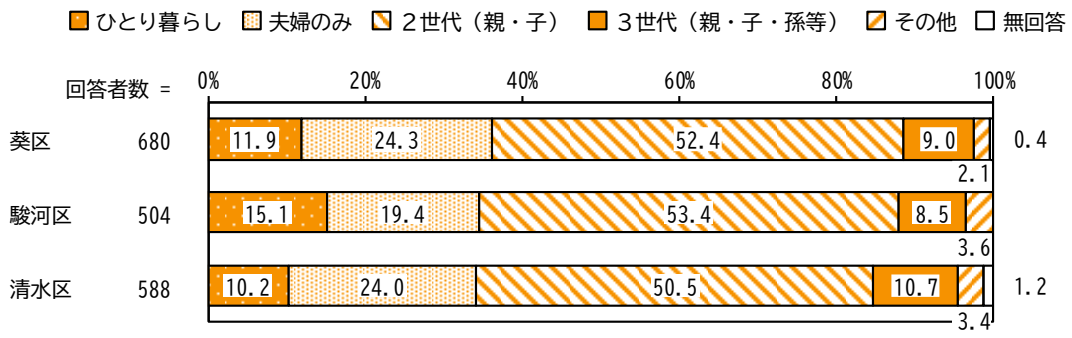
年代別　世帯構成（問６）



【居住地区別】

世帯構成について居住地区別でみると、駿河区で「ひとり暮らし」の割合がやや高くなっています。

居住地区別　世帯構成（問６）

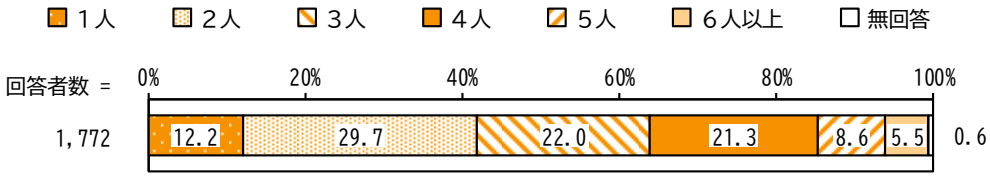


（７）家族の人数

問７　あなたも含め何人暮らしですか。（１つにチェック）

「２人」の割合が 29.7%と最も高く、次いで「３人」の割合が 22.0%、「４人」の割合が 21.3%となっています。

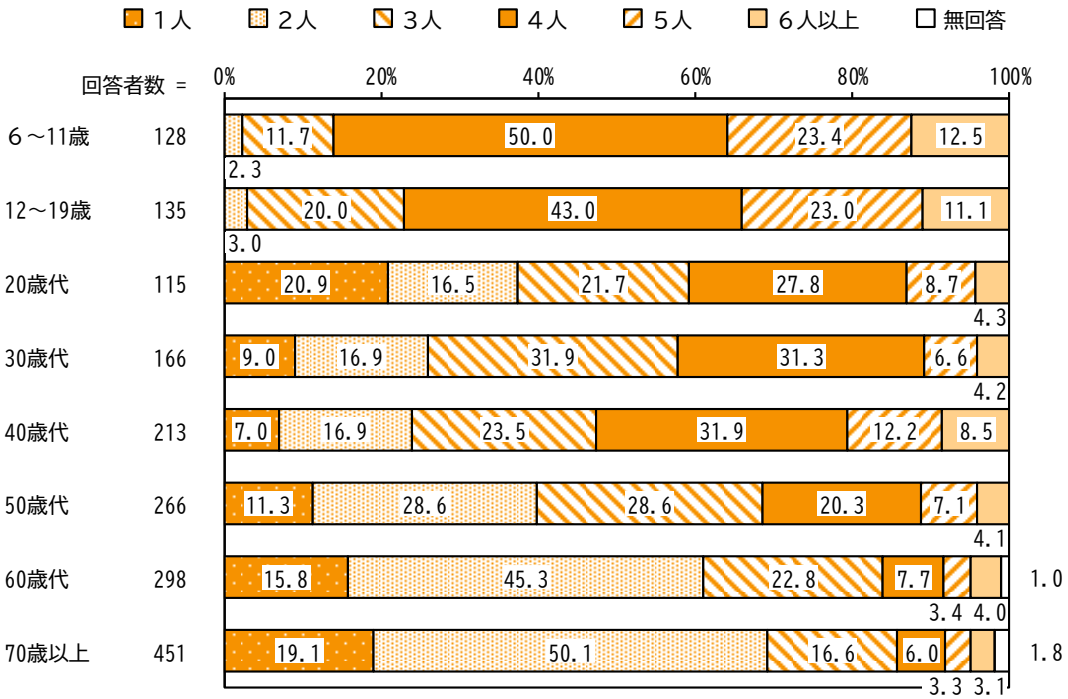
家族の人数（問７）



【年代別】

家族の人数について年代別でみると、年代が上がるほど「２人」の割合が高くなっており、特に 60 歳以上で 45～50%と半数を占めています。40 歳代から 70 歳以上へ年代が上がるにつれて「４人」「５人」の割合は低くなり、「１人」の割合は、20 歳代と 70 歳以上で高くなっています。また、６～11 歳で「３人」の割合が低くなっています。

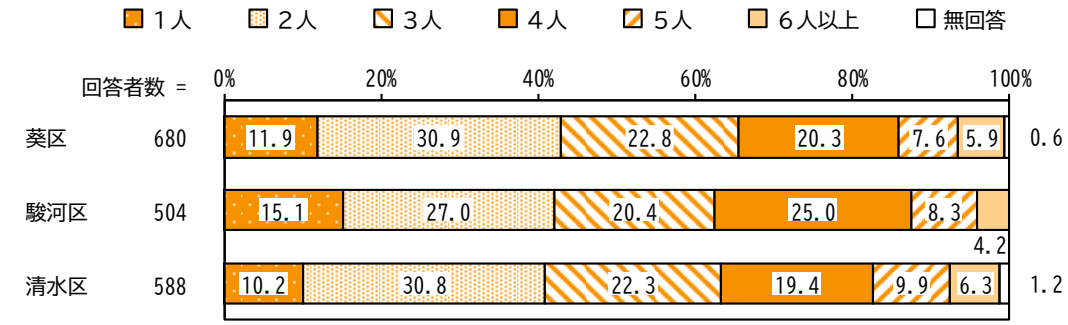
年代別　家族の人数（問７）



【居住地区別】

家族の人数について居住地区別でみると、駿河区で「１人」「４人」の割合がやや高くなっています。

居住地区別　家族の人数（問７）

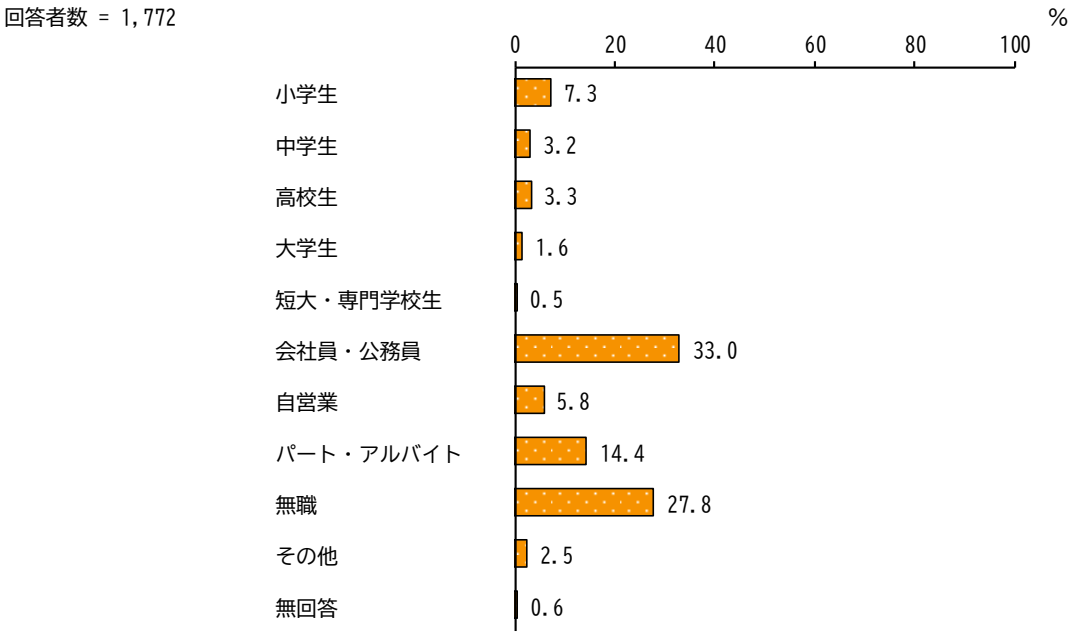


（８）職業・属性

問８　あなたは、ふだん何をされていますか。（主なもの１つにチェック）

「会社員・公務員」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「無職」の割合が 27.8%、「パート・アルバイト」の割合が 14.4%となっています。

職業・属性（問８）



【年代別】

職業・属性について年代別でみると、20 歳代から 50 歳代までは「会社員・公務員」の割合が最も高く、60 歳代・70 歳以上では「無職」の割合が最も高くなっています。

年代別　職業・属性（問８）

単位：%

区分	回答者数（件）	小学生	中学生	高校生	大学生	短大・専門学校生	会社員・公務員	自営業	パート・アルバイト	無職	その他	無回答
全　体	1,772	7.3	3.2	3.3	1.6	0.5	33.0	5.8	14.4	27.8	2.5	0.6
６～11歳	128	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12～19歳	135	0.7	41.5	43.7	4.4	5.2	2.2	0.7	1.5	0.0	0.0	0.0
20歳代	115	0.0	0.0	0.0	20.0	0.9	62.6	1.7	11.3	1.7	1.7	0.0
30歳代	166	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.5	3.6	15.7	7.2	3.0	0.0
40歳代	213	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	66.7	6.6	17.8	6.6	1.9	0.0
50歳代	266	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	59.4	4.1	23.3	11.3	1.9	0.0
60歳代	298	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.9	11.7	21.1	33.9	4.4	1.0
70歳以上	451	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	7.5	11.3	73.8	3.5	1.6

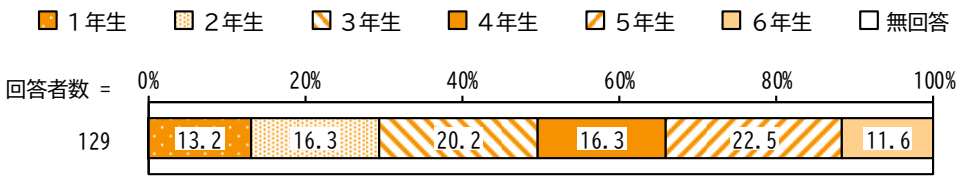
（９）学年

問９　学年は、何年生ですか。（数字で記入してください。）

小学生

「５年生」の割合が 22.5%と最も高く、次いで「３年生」の割合が 20.2%、「２年生」、「４年生」の割合が 16.3%となっています。

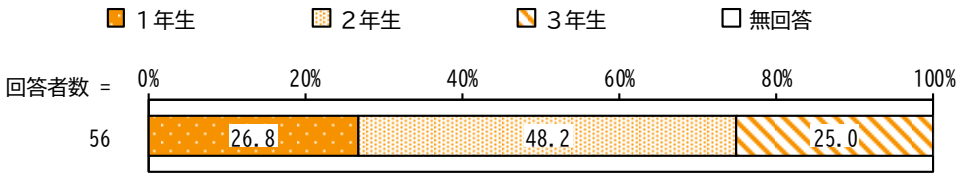
学年（小学生）（問９①）



中学生

「１年生」の割合が 26.8%、「２年生」の割合が 48.2%、「３年生」の割合が 25.0%となっています。

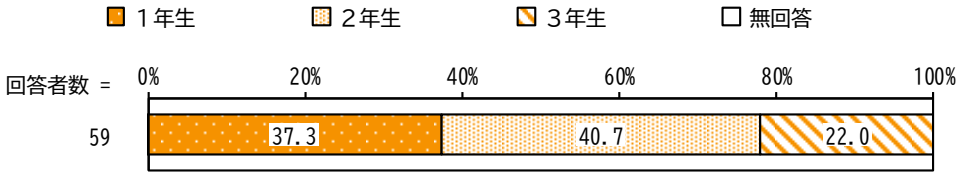
学年（中学生）（問９②）



高校生

「１年生」の割合が 37.3%、「２年生」の割合が 40.7%、「３年生」の割合が 22.0%となっています。

学年（高校生）（問９③）

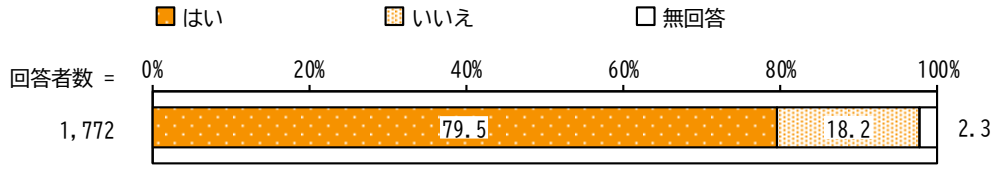


（10）毎日１回以上の共食

問 10　あなたは、毎日１回以上、家族や友人等と一緒に食事をしていますか。
（どちらかにチェック）

「はい」の割合が 79.5%、「いいえ」の割合が 18.2%となっています。

毎日１回以上の共食（問 10）

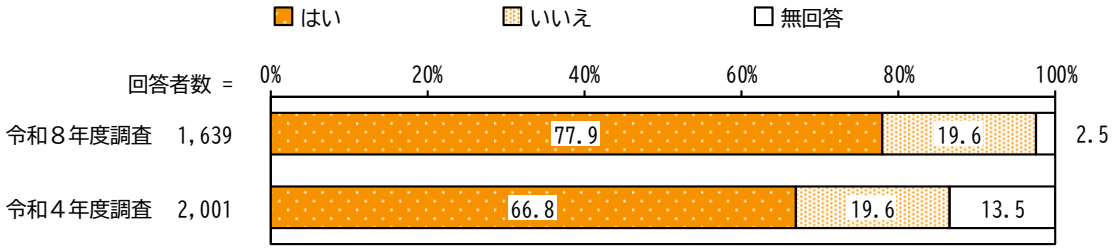


◆評価指標に基づく結果（対象：中学生～84 歳）

毎日１回以上家族や友人等と一緒に食事をする市民の割合は 77.9%となっています。

毎日１回以上の共食について令和４年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。

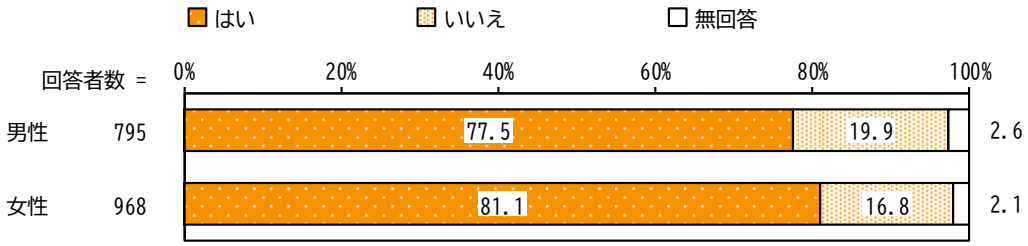
毎日１回以上家族や友人等と一緒に食事をする市民の割合（問 10）



【性別】

毎日１回以上の共食について性別でみると、大きな差はみられません。

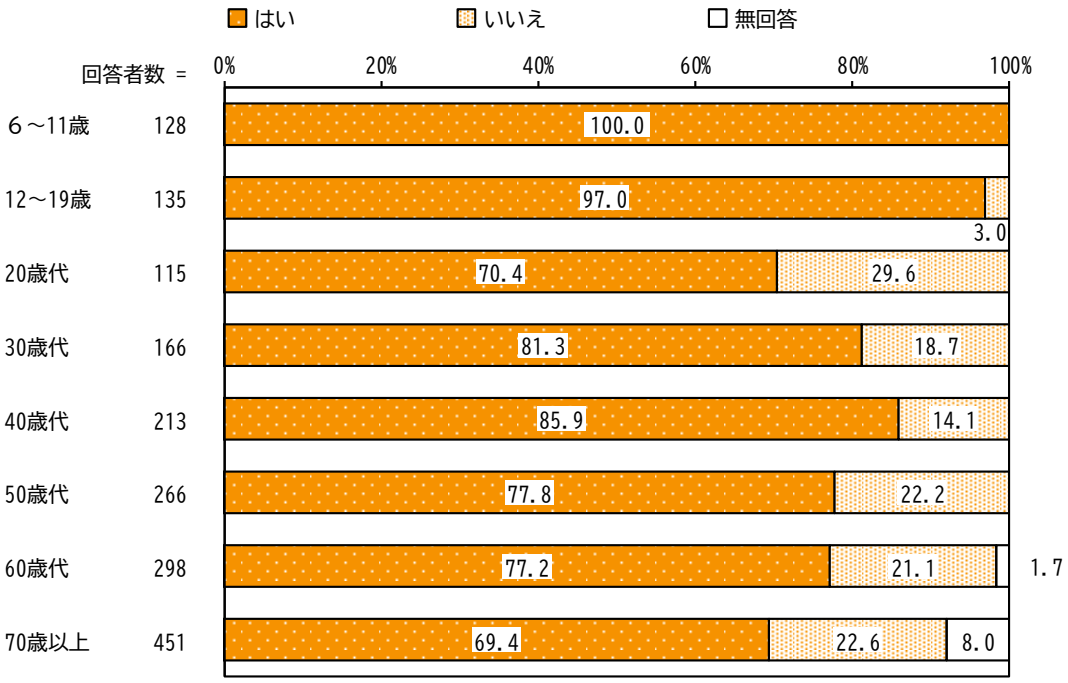
性別　毎日１回以上の共食（問 10）



【年代別】

毎日１回以上の共食について年代別でみると、６～11 歳で 100.0%、12～19 歳で 97.0%と、こどもの年代で「はい」の割合が高くなっています。一方、20 歳代は 70.4%、70 歳以上は 69.4%と低くなっています。

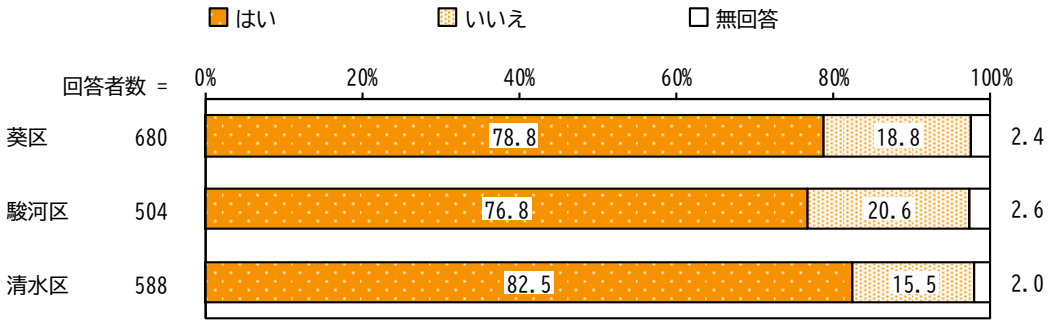
年代別　毎日１回以上の共食（問 10）



【居住地区別】

毎日１回以上の共食について居住地区別でみると、清水区で「はい」の割合が 82.5%とやや高くなっています。

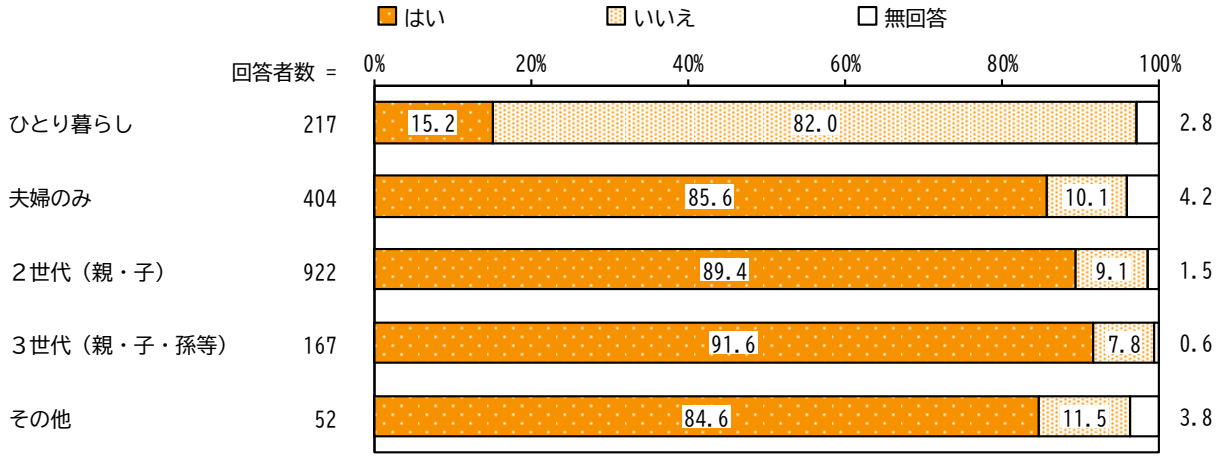
居住地区別　毎日１回以上の共食（問 10）



【世帯構成別】

毎日１回以上の共食について世帯構成別でみると、ひとり暮らしで「はい」の割合が 15.2%と低く、家族と同居する世帯では 80～90%台と高くなっています。

世帯構成別　毎日１回以上の共食（問 10）



（11）家族との食事頻度

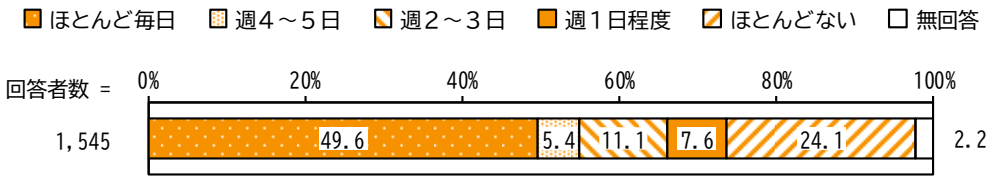
問 11、問 12、問 13 は、同居している人がいる方に伺います。

問 11　あなたは、朝食や夕食を家族と一緒に食べることが週にどのくらいありますか。
（それぞれ主なもの１つにチェック）

朝食

家族との食事頻度（朝食）について「ほとんど毎日」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が 24.1%、「週２～３日」の割合が 11.1%となっています。

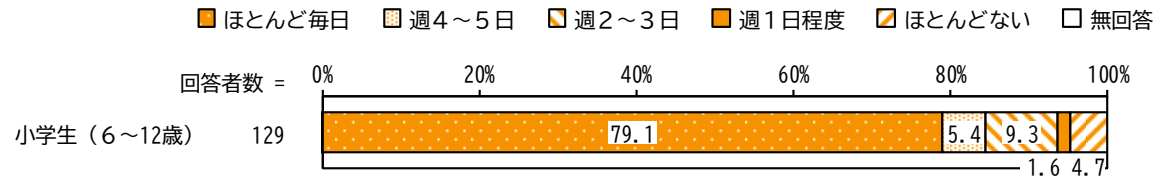
家族との食事頻度（朝食）（問 11①）



◆評価指標に基づく結果（対象：小学生　６～12 歳）

食事（朝食）を一人で食べるこどもの割合（家族との食事頻度が週３日以下に該当）は 15.5%となっています。食事（朝食）を一人で食べるこどもの割合について令和４年度調査（参考）と比較すると、増加しています。

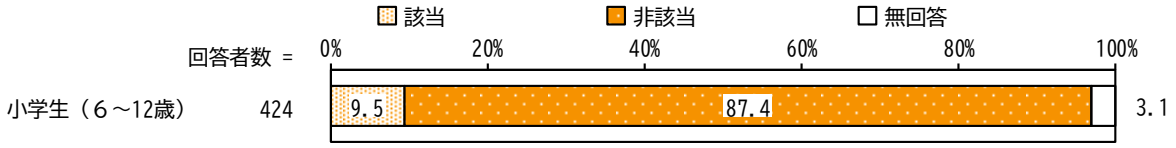
食事（朝食）を一人で食べるこどもの割合（問 11①）



※評価指標では、「週２～３日」「週１日程度」「ほとんどない」の件数を足し合わせてから割合を算出（15.5%）しているため、グラフ上の割合を足し上げた数値とは一致しない場合があります。

＜参考　令和４年度評価指標＞

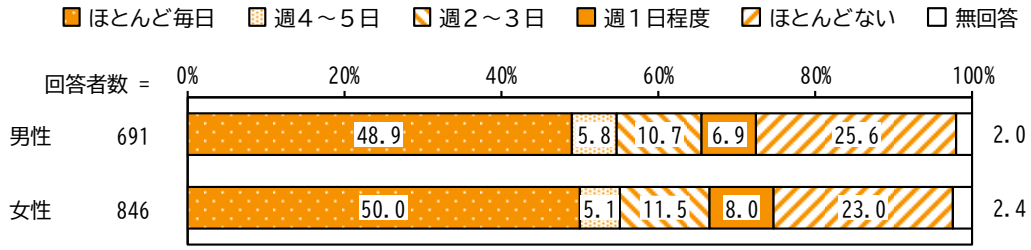
食事（朝食）を一人で食べるこどもの割合



【性別】

家族との食事頻度（朝食）について性別でみると、大きな差はみられません。

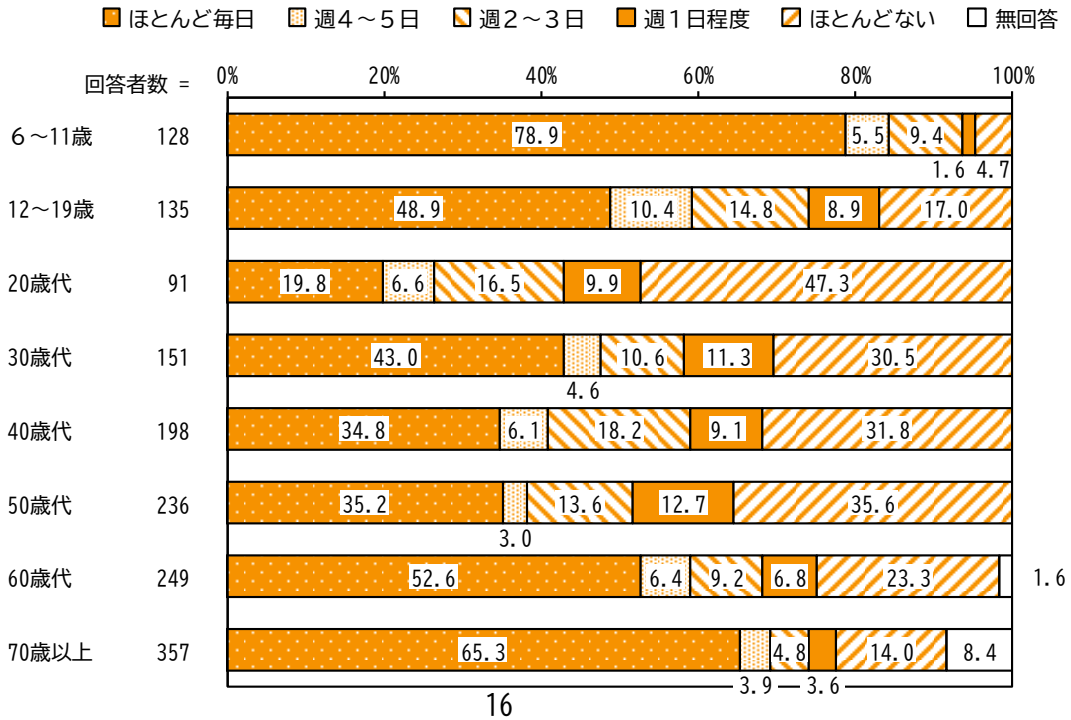
性別　家族との食事頻度（朝食）（問 11①）



【年代別】

家族との食事頻度（朝食）について年代別でみると、「ほとんど毎日」の割合は 6～11 歳で 78.9%と高く、12～19 歳では 48.9%に下がります。20 歳代では「ほとんど毎日」が 19.8%と全世代で最も低く最も低く、「ほとんどない」が 47.3%と最も高くなります。その後、「ほとんど毎日」の割合は 30 歳代で 43.0%まで戻りますが、40 歳代 34.8%、50 歳代 35.2%と再び低下し、60 歳代 52.6%、70 歳以上 65.3%と高くなります。

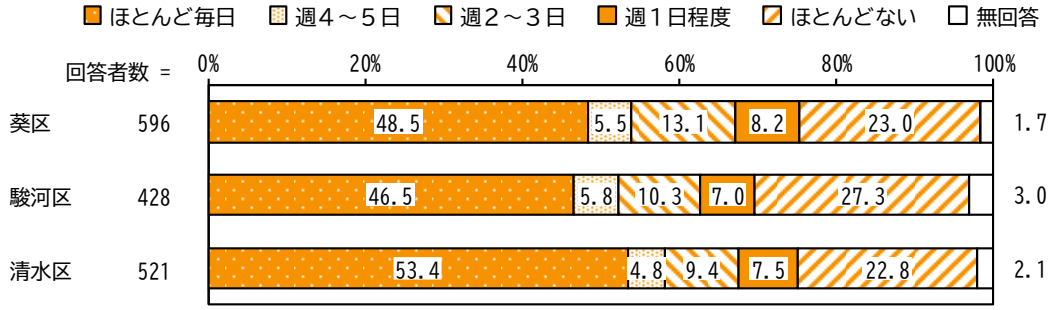
年代別　家族との食事頻度（朝食）（問 11①）



【居住地区別】

家族との食事頻度（朝食）について居住地区別でみると、清水区で「ほとんど毎日」の割合が 53.4%とやや高くなっています。

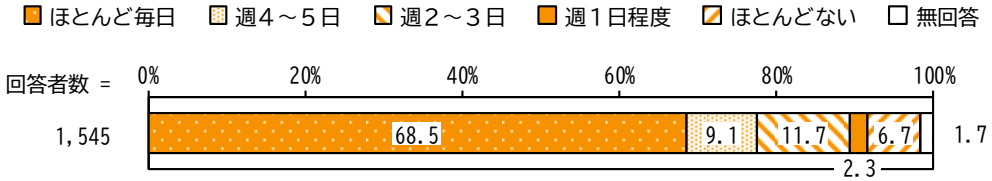
居住地区別　家族との食事頻度（朝食）（問 11①）



夕食

家族との食事頻度（夕食）について「ほとんど毎日」の割合が 68.5%と最も高く、次いで「週２～３日」の割合が 11.7%となっています。

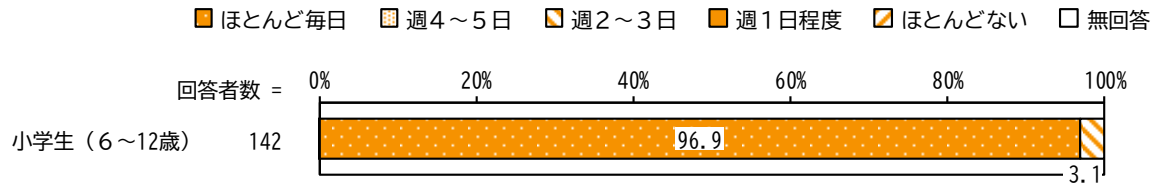
家族との食事頻度（夕食）（問 11②）



◆評価指標に基づく結果　（対象：小学生６～12 歳）

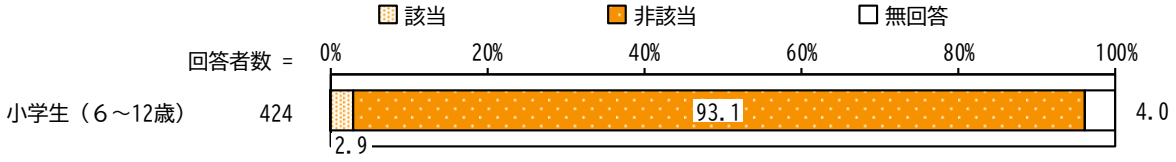
食事（夕食）を一人で食べるこどもの割合（家族との食事頻度が週３日以下に該当）は 3.1%となっています。食事（夕食）を一人で食べるこどもの割合について令和４年度調査（参考）と比較すると、大きな変化はみられません。

食事（夕食）を一人で食べるこどもの割合（問 11②）



＜参考　令和４年度評価指標＞

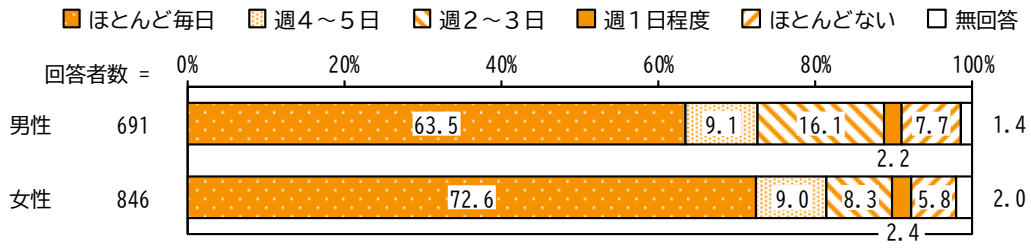
食事（夕食）を一人で食べるこどもの割合



【性別】

家族との食事頻度（夕食）について性別でみると、男性で「週２～３日」の割合が高く、女性で「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。

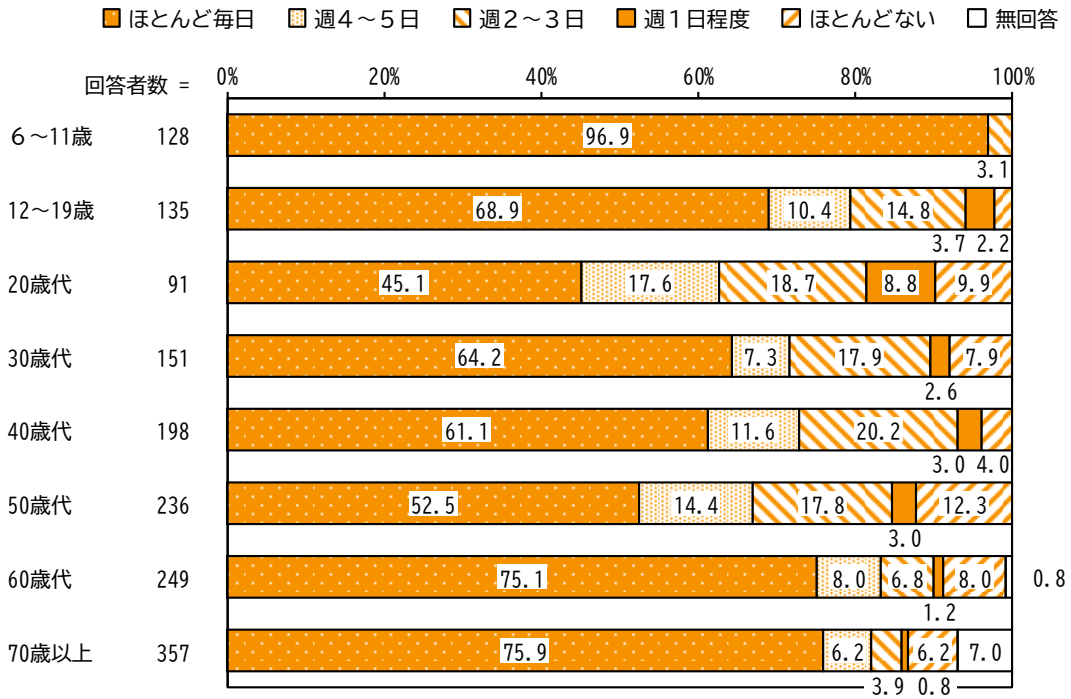
性別　家族との食事頻度（夕食）（問 11②）



【年代別】

家族との食事頻度（夕食）について年代別でみると、「ほとんど毎日」の割合は６～11 歳で 96.9%と高く、12～19 歳では 68.9%に下がります。20 歳代では 45.1%と最も低くなり、その後 30 歳代 64.2%、40 歳代 61.1%と戻りますが、50 歳代で 52.5%と再び低下します。60 歳代 75.1%、70 歳以上 75.9%と高くなっています。

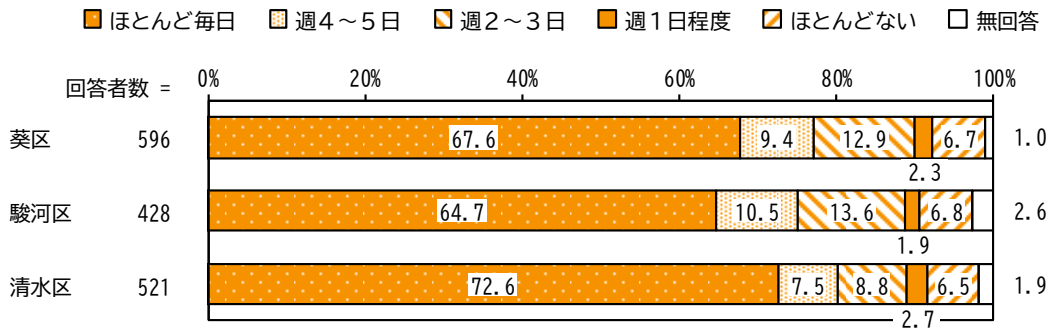
年代別　家族との食事頻度（夕食）（問 11②）



【居住地区別】

家族との食事頻度（夕食）について居住地区別でみると、清水区で「ほとんど毎日」の割合が 72.6%とやや高くなっています。

居住地区別　家族との食事頻度（夕食）（問 11②）



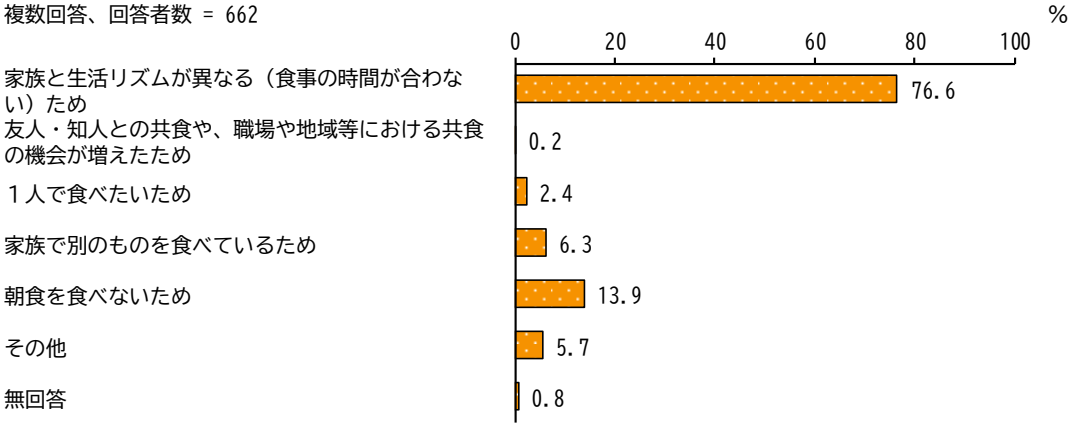
（12）家族と一緒に朝食を食べない理由

問 11 で、朝食について「週２～３日」「週１日程度」「ほとんどない」と回答した方に伺います。

問 12　あなたが家族と一緒に朝食を食べない理由は、なんですか。（いくつでもチェック）

「家族と生活リズムが異なる（食事の時間が合わない）ため」の割合が 76.6%と最も高く、次いで「朝食を食べないため」の割合が 13.9%となっています。

家族と一緒に朝食を食べない理由（問 12）



【年代別】

家族と一緒に朝食を食べない理由について年代別でみると、どの年代でも「家族と生活リズムが異なる（食事の時間が合わない）ため」が最も多くなっています。次いで多い理由をみると、多くの年代で「朝食を食べないため」が挙げられ、特に 20 歳代では 22.4%と高くなっています。

年代別　家族と一緒に朝食を食べない理由（問 12）

単位：%

区分	回答者数（件）	家族と生活リズムが異なる（食事の時間が合わない）ため	友人・知人との共食や、職場や地域等における共食の機会が増えたため	１人で食べたいため	家族で別のものを食べているため	朝食を食べないため	その他	無回答
全　体	662	76.6	0.2	2.4	6.3	13.9	5.7	0.8
６～11歳	20	90.0	0.0	0.0	15.0	0.0	5.0	0.0
12～19歳	55	87.3	0.0	1.8	5.5	7.3	3.6	0.0
20歳代	67	74.6	0.0	3.0	10.4	22.4	0.0	0.0
30歳代	79	73.4	0.0	1.3	7.6	16.5	7.6	0.0
40歳代	117	68.4	0.0	3.4	4.3	18.8	8.5	0.0
50歳代	146	80.1	0.0	0.7	3.4	13.7	4.8	0.0
60歳代	98	81.6	1.0	4.1	3.1	10.2	4.1	2.0
70歳以上	80	70.0	0.0	3.8	12.5	10.0	10.0	3.8

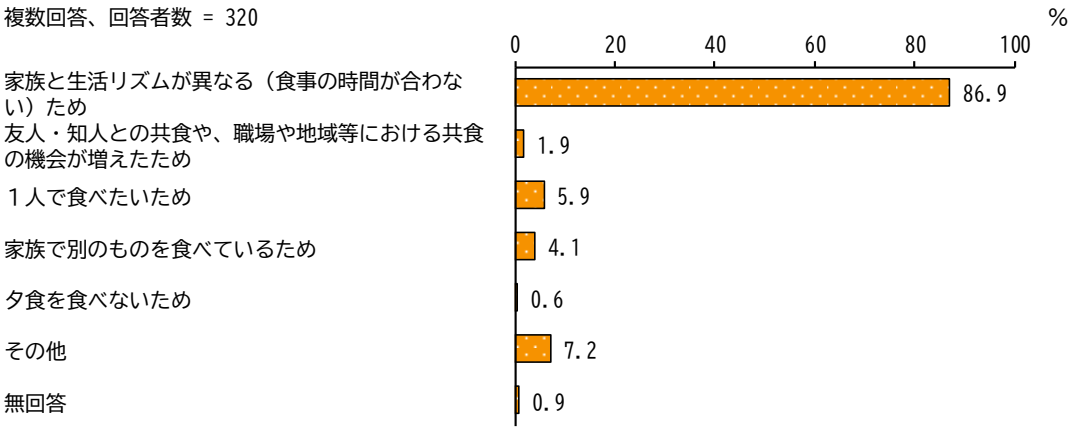
（13）家族と一緒に夕食を食べない理由

問 11 で、夕食について「週２～３日」「週１日程度」「ほとんどない」と回答した方に伺います。

問 13　あなたが家族と一緒に夕食を食べない理由は、なんですか。（いくつでもチェック）

「家族と生活リズムが異なる（食事の時間が合わない）ため」の割合が 86.9%と最も高くなっています。

家族と一緒に夕食を食べない理由（問 13）



【年代別】

家族と一緒に夕食を食べない理由について年代別でみると、どの年代でも「家族と生活リズムが異なる（食事の時間が合わない）ため」が最も多くなっています。次いで、20 歳代では 11.8%、60 歳代では 10.0%が「１人で食べたいため」をあげており、70 歳以上では「家族で別のものを食べているため」が 12.8%と他の年代より高くなっています。

年代別　家族と一緒に夕食を食べない理由（問 13）

単位：%

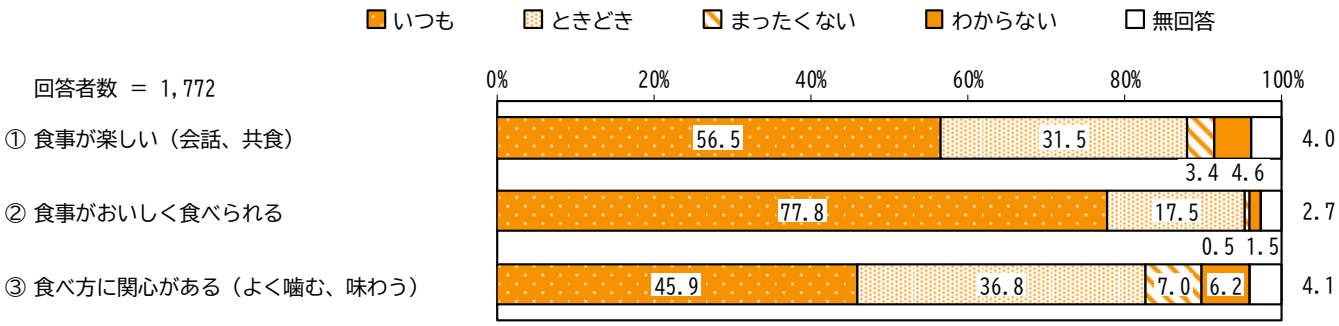
区分	回答者数（件）	家族と生活リズムが異なる（食事の時間が合わない）ため	友人・知人との共食や、職場や地域等における共食の機会が増えたため	１人で食べたいため	家族で別のものを食べているため	夕食を食べないため	その他	無回答
全　体	320	86.9	1.9	5.9	4.1	0.6	7.2	0.9
６～11歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12～19歳	28	96.4	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0
20歳代	34	94.1	2.9	11.8	2.9	0.0	0.0	0.0
30歳代	43	86.0	2.3	9.3	2.3	0.0	4.7	0.0
40歳代	54	88.9	0.0	3.7	1.9	0.0	7.4	0.0
50歳代	78	88.5	0.0	3.8	6.4	1.3	7.7	0.0
60歳代	40	80.0	7.5	10.0	0.0	2.5	7.5	2.5
70歳以上	39	74.4	0.0	5.1	12.8	0.0	17.9	5.1

（14）食事に関する意識

問 14　次の①から③のそれぞれについて、あてはまるものはどれですか。
（それぞれ１つにチェック）

食事がいつも楽しい（会話、共食）割合が 56.5%、食事がいつもおいしく食べられる割合が 77.8%、食べ方にいつも関心がある（よく噛む、味わう）割合が 45.9%とそれぞれ最も高くなっています。

食事に対する意識（問 14、複数設問）

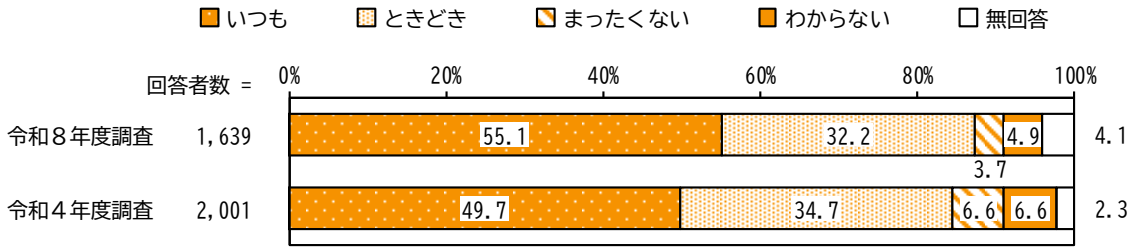


①食事が楽しい（会話、共食）

【経年比較】

食事が楽しいか（会話、共食）について令和４年度調査と比較すると、「いつも」の割合が増加しています。

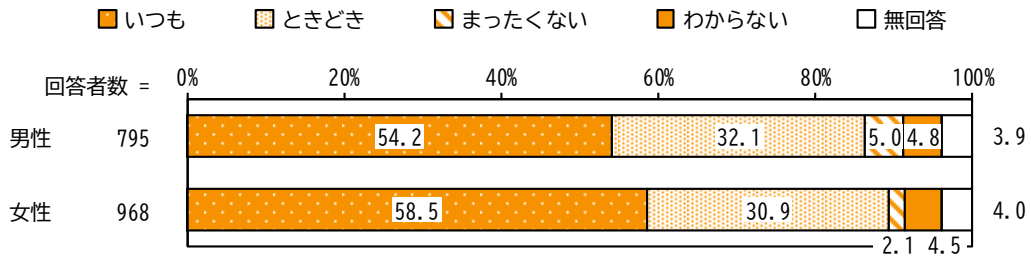
経年比較　食事が楽しい（会話、共食）（問 14①）



【性別】

食事が楽しいか（会話、共食）について性別でみると、女性で「いつも」の割合がやや高くなっています。

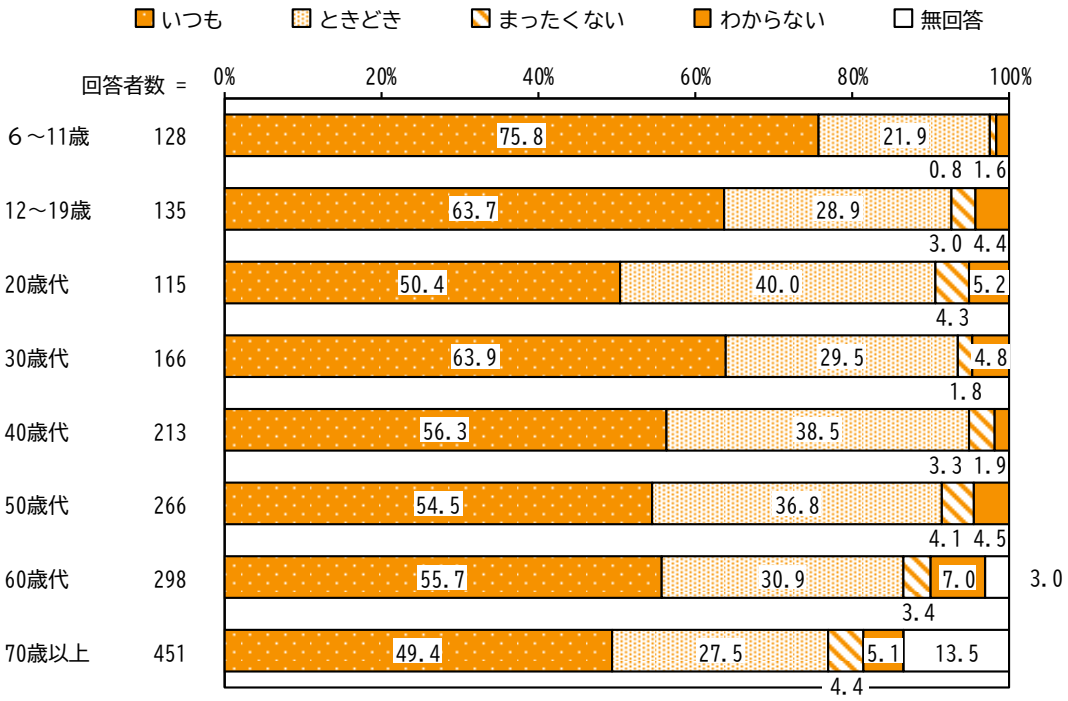
性別　食事が楽しい（会話、共食）（問 14①）



【年代別】

食事が楽しいか（会話、共食）について年代別でみると、「いつも」の割合が 70 歳以上で 49.4%、20 歳代で 50.4%と低くなっています。

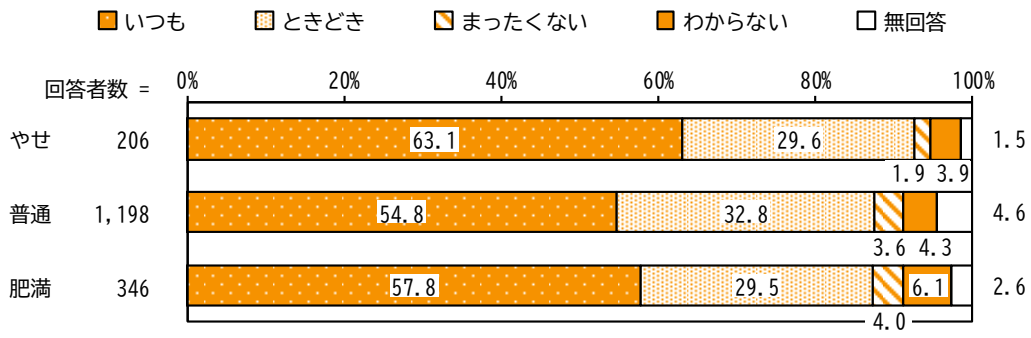
年代別　食事が楽しい（会話、共食）（問 14①）



【肥満度別】

食事が楽しいか（会話、共食）について肥満度別でみると、やせで「いつも」の割合が高くなっています。

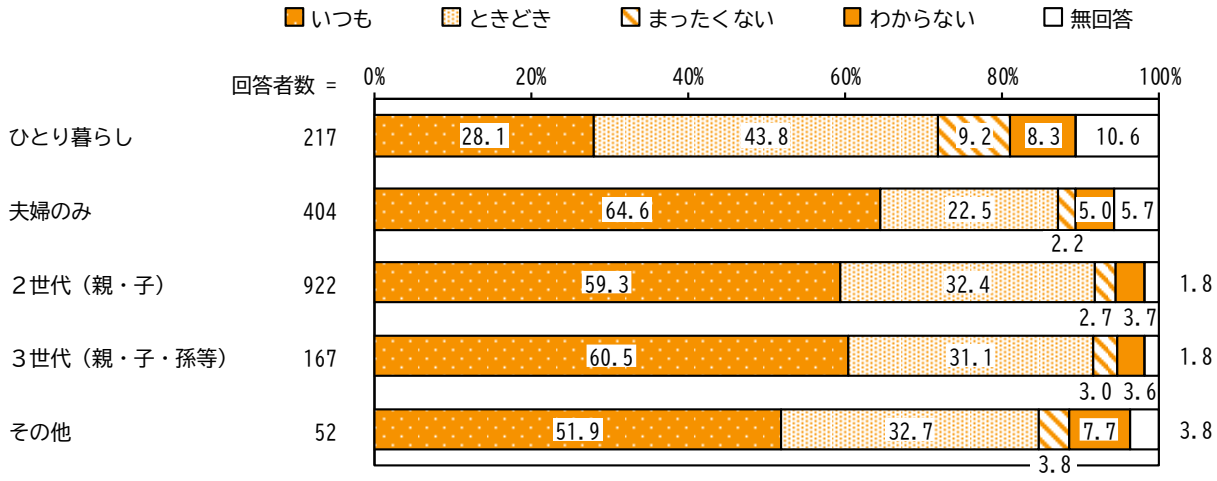
肥満度別　食事が楽しい（会話、共食）（問 14①）



【世帯構成別】

食事が楽しいか（会話、共食）について世帯構成別でみると、「いつも」の割合がひとり暮らしで 28.1%にとどまっています。

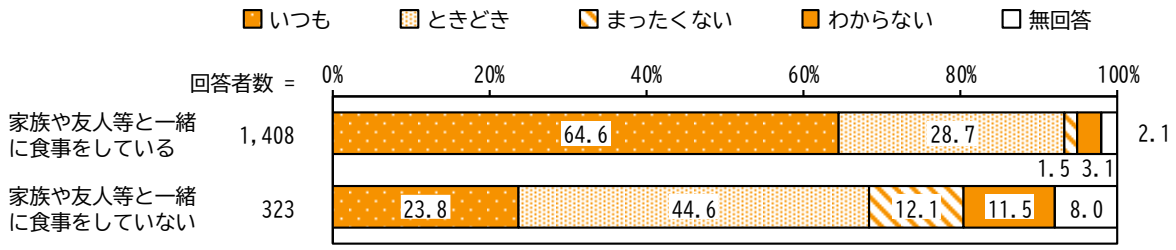
世帯構成別　食事が楽しい（会話、共食）（問 14①）



【共食状況別】

食事が楽しいか（会話、共食）について共食状況別でみると、家族や友人等と一緒に食事をしているで「いつも」の割合が高く、家族や友人等と一緒に食事をしていないで「ときどき」「まったくない」の割合が高くなっています。

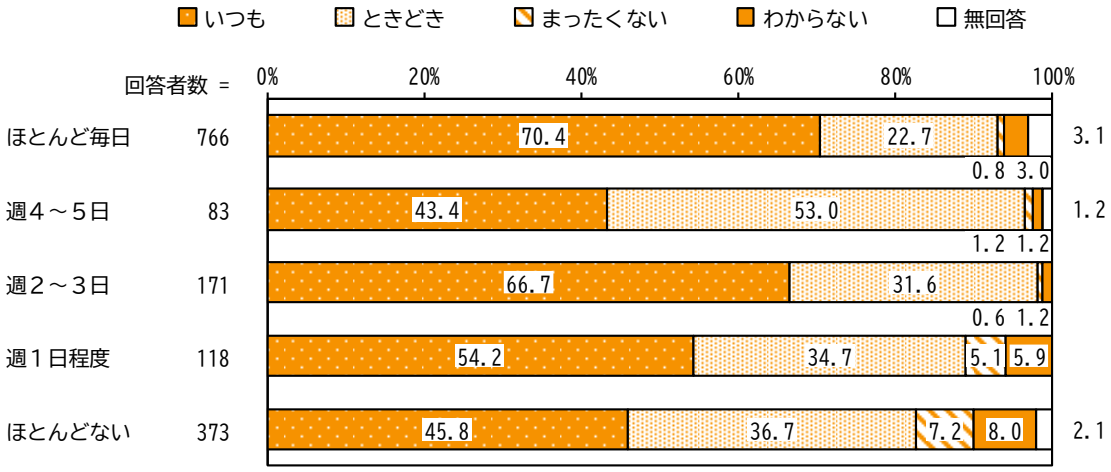
共食状況別　食事が楽しい（会話、共食）（問 14①）



【朝食の共食頻度別】

食事が楽しいか（会話、共食）について朝食の共食頻度別でみると、「ほとんど毎日」家族と食べている人で「いつも」の割合が最も高くなっています。

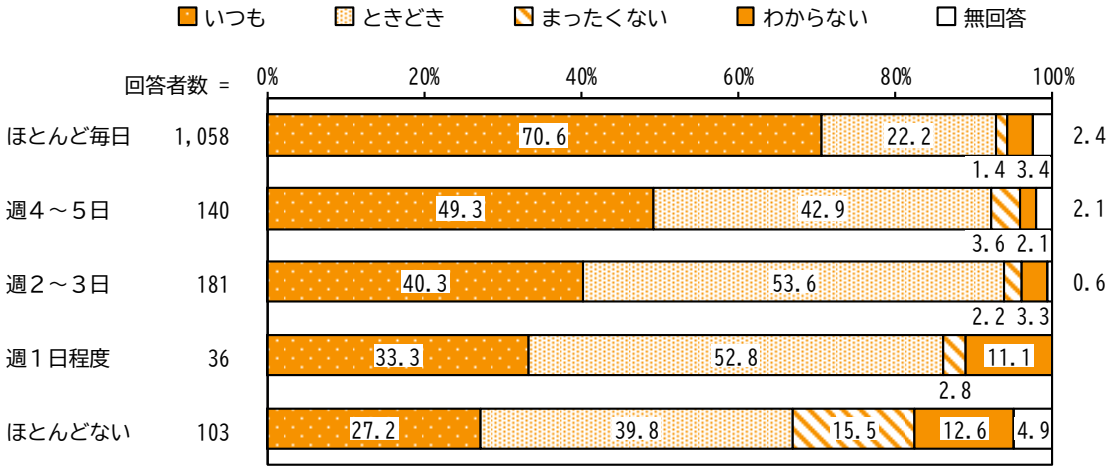
朝食の共食頻度別　食事が楽しい（会話、共食）（問 14①）



【夕食の共食頻度別】

食事が楽しいか（会話、共食）について夕食の共食頻度別でみると、頻度が多いほど「いつも」の割合が高くなっています。また、週２～３日、週１日程度で「ときどき」の割合が高くなっています。

夕食の共食頻度別　食事が楽しい（会話、共食）（問 14①）

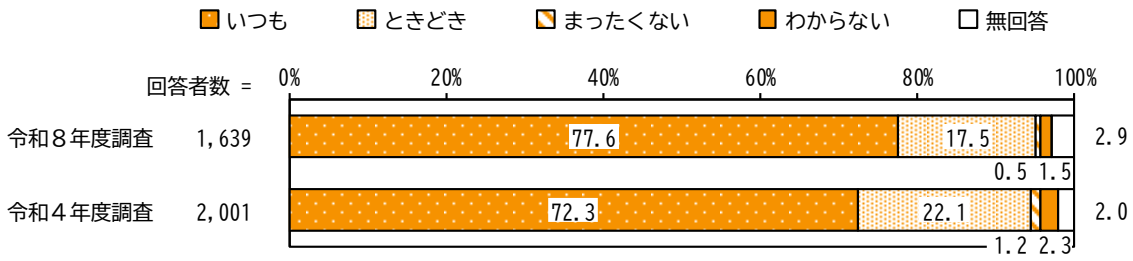


②食事がおいしく食べられる

【経年比較】

食事がおいしく食べられるかについて令和４年度調査と比較すると、「いつも」の割合が増加しています。

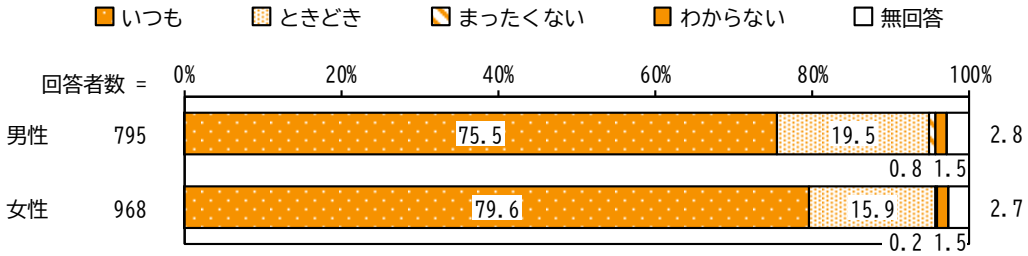
経年比較　食事がおいしく食べられる（問 14②）



【性別】

食事がおいしく食べられるかについて性別でみると、女性で「いつも」の割合がやや高くなっています。

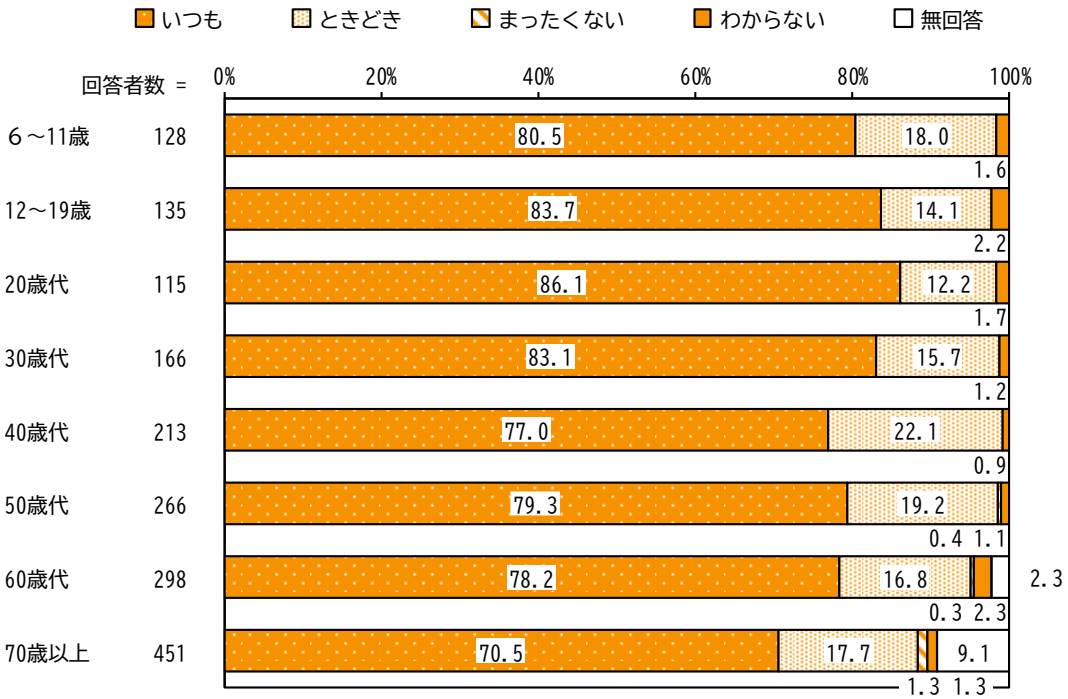
性別　食事がおいしく食べられる（問 14②）



【年代別】

食事がおいしく食べられるかについて年代別でみると、６～11 歳、12～19 歳、20 歳代、30 歳代で「いつも」の割合が 80%台と高く、70 歳以上で 70.5%と最も低くなっています。

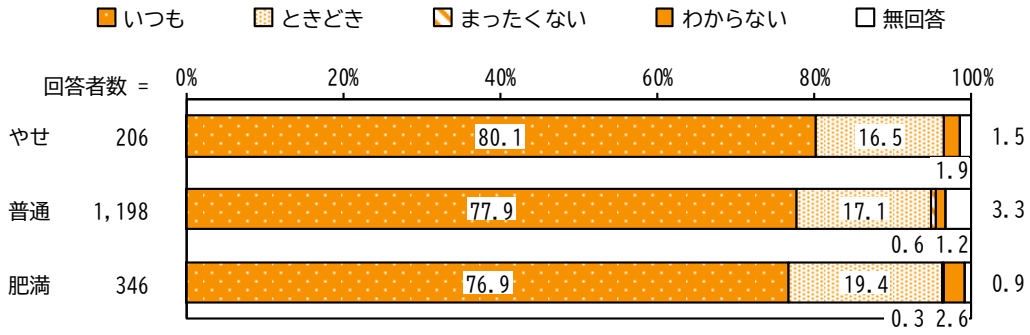
年代別　食事がおいしく食べられる（問 14②）



【肥満度別】

食事がおいしく食べられるかについて肥満度別でみると、大きな差はみられません。

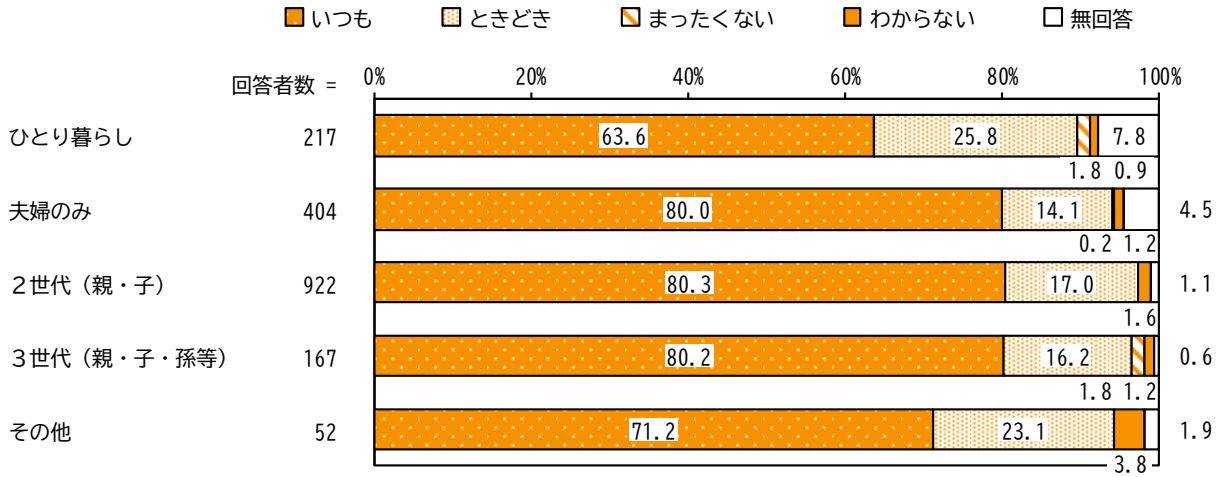
肥満度別　食事がおいしく食べられる（問 14②）



【世帯構成別】

食事がおいしく食べられるかについて世帯構成別でみると、「いつも」の割合がひとり暮らしで63.6%と全世帯構成で最も低くなっています。

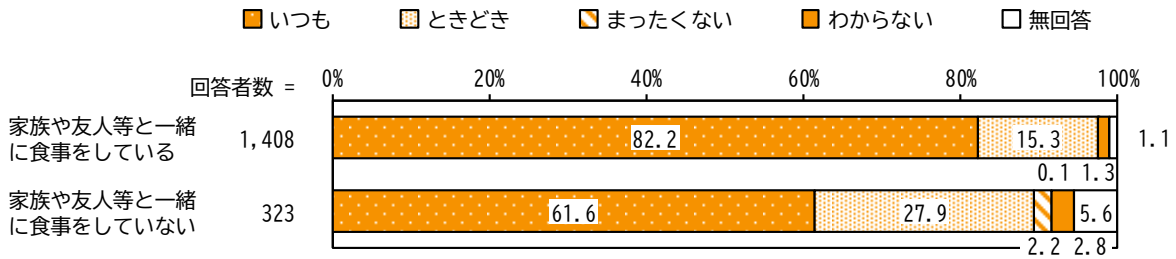
世帯構成別　食事がおいしく食べられる（問14②）



【共食状況別】

食事がおいしく食べられるかについて共食状況別でみると、家族や友人等と一緒に食事をしているで「いつも」の割合が高く、家族や友人等と一緒に食事をしていないで「ときどき」の割合が高くなっています。

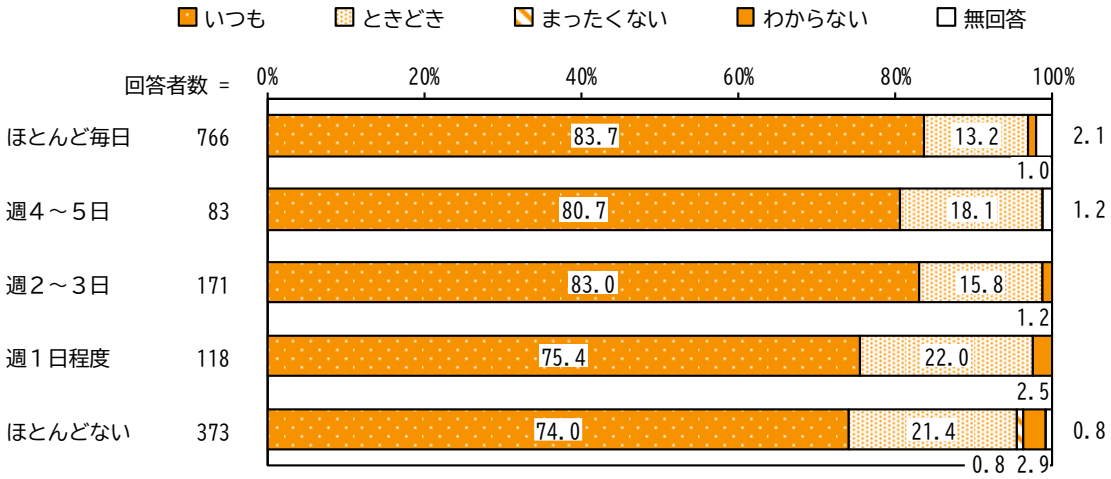
共食状況別　食事がおいしく食べられる（問14②）



【朝食の共食頻度別】

食事がおいしく食べられるかについて朝食の共食頻度別でみると、「ほとんど毎日」家族と食べている人で「いつも」の割合が 83.7%と最も高く、「ほとんどない」人で 74.0%と最も低くなっています。

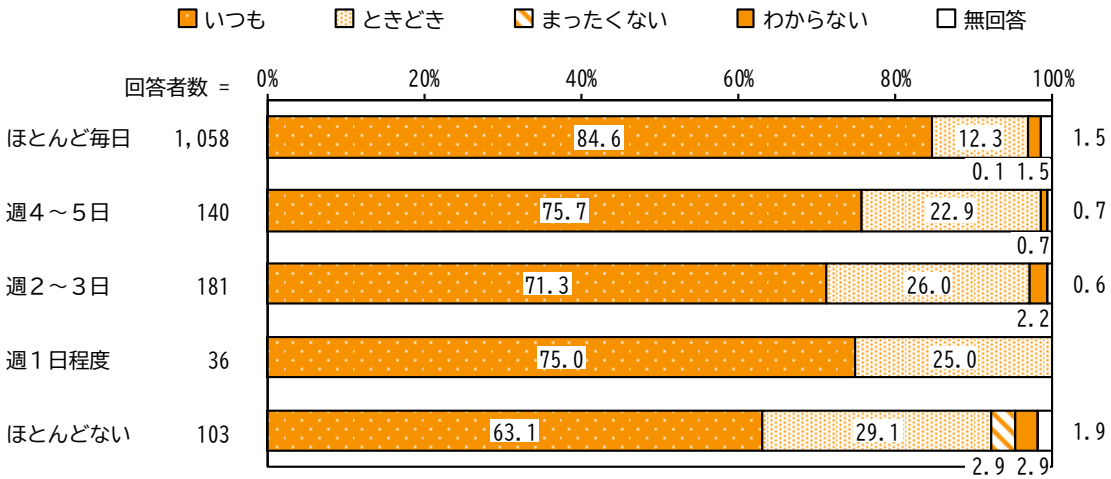
朝食の共食頻度別　食事がおいしく食べられる（問 14②）



【夕食の共食頻度別】

食事がおいしく食べられるかについて夕食の共食頻度別でみると、「ほとんど毎日」家族と食べている人で「いつも」の割合が最も高くなっています。

夕食の共食頻度別　食事がおいしく食べられる（問 14②）

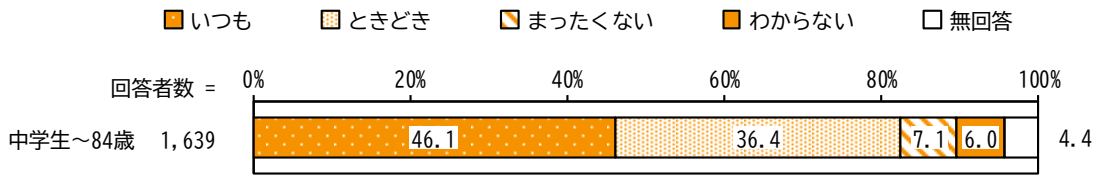


③食べ方に関心がある（よく噛む、味わう）

◆評価指標に基づく結果（対象：中学生～84 歳）

ゆっくり噛んで味わって食べるなど食べ方に関心のある（「いつも」のみ）市民の割合は 46.1%となっています。

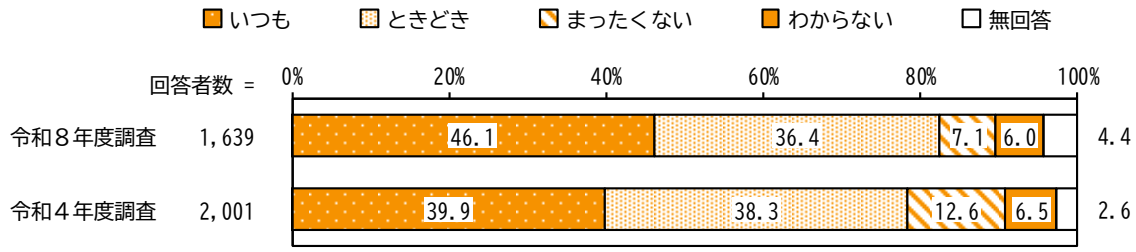
ゆっくり噛んで味わって食べるなど食べ方に関心のある市民の割合（問 14③）



【経年比較】

食べ方に関心があるかについて令和４年度調査と比較すると、「いつも」の割合が増加しています。一方、「まったくない」の割合が減少しています。

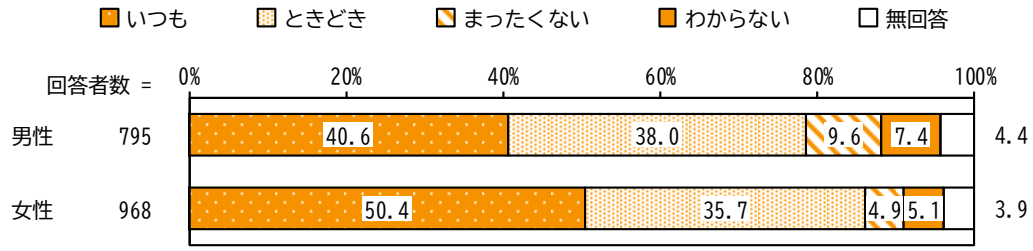
経年比較　食べ方に関心がある（問 14③）



【性別】

食べ方に関心があるかについて性別でみると、女性で「いつも」の割合が高くなっています。

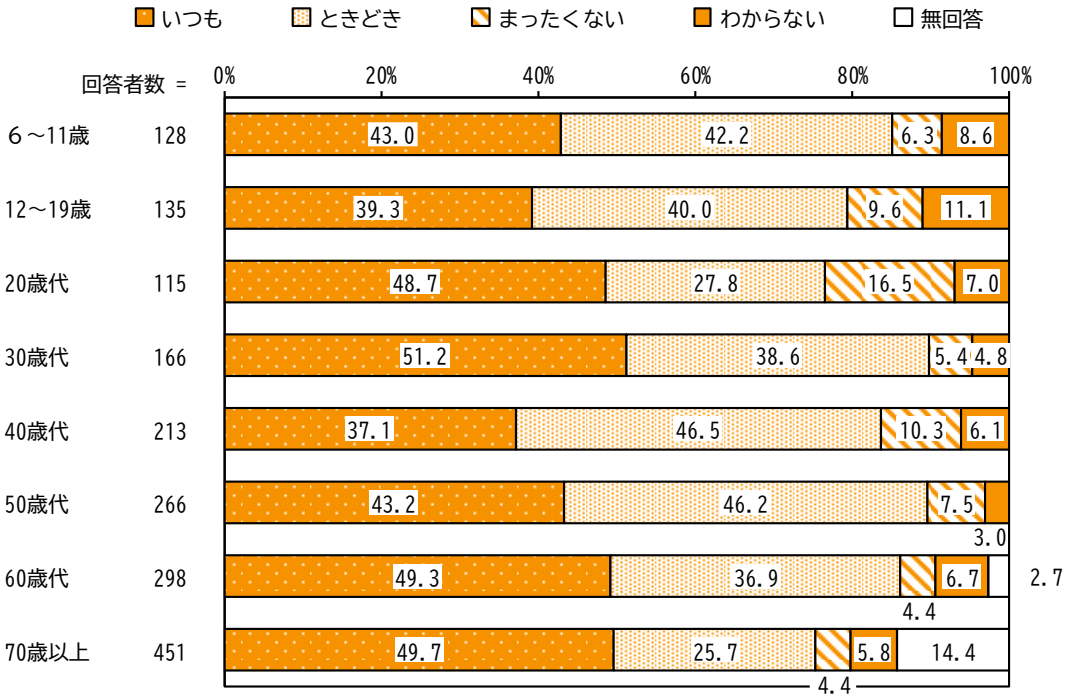
性別　食べ方に関心がある（問 14③）



【年代別】

食べ方に関心があるかについて年代別でみると、20 歳代・30 歳代・60 歳代・70 歳以上で「いつも」の割合が高くなっています。ただし 20 歳代では「まったくない」も 16.5%と高く、関心の有無が分かれています。

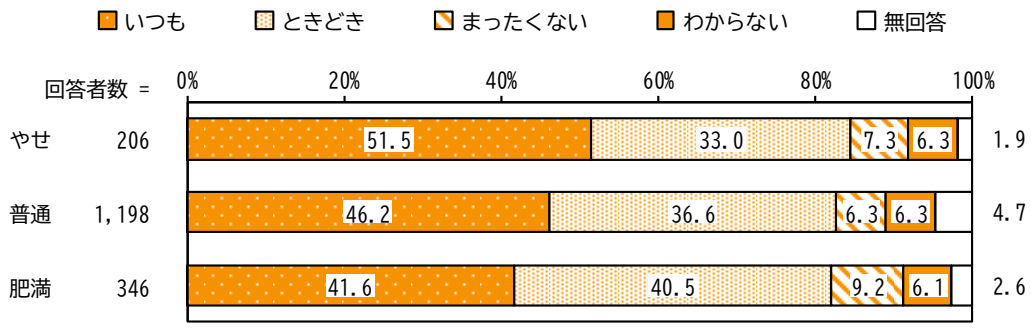
年代別　食べ方に関心がある（問 14③）



【肥満度別】

食べ方に関心があるかについて肥満度別でみると、「やせ」で「いつも」の割合が高く、「肥満」で「いつも」の割合が低くなっています。

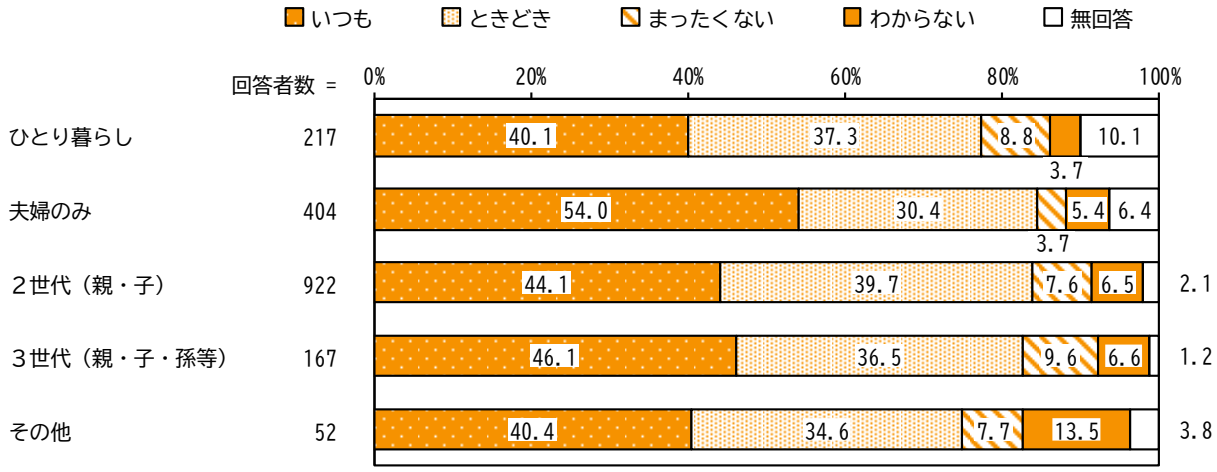
肥満度別　食べ方に関心がある（問 14③）



【世帯構成別】

食べ方に関心があるかについて世帯構成別でみると、夫婦のみで「いつも」の割合が高く「ときどき」の割合が低くなっています。

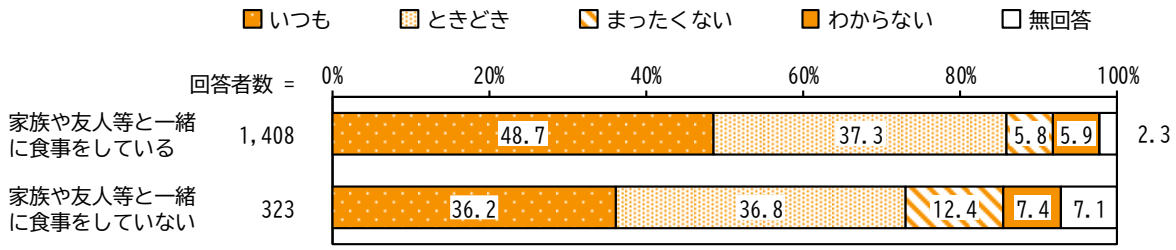
世帯構成別　食べ方に関心がある（問 14③）



【共食状況別】

食べ方に関心があるかについて共食状況別でみると、家族や友人等と一緒に食事をしているで「いつも」の割合が高く、家族や友人等と一緒に食事をしていないで「まったくない」の割合が高くなっています。

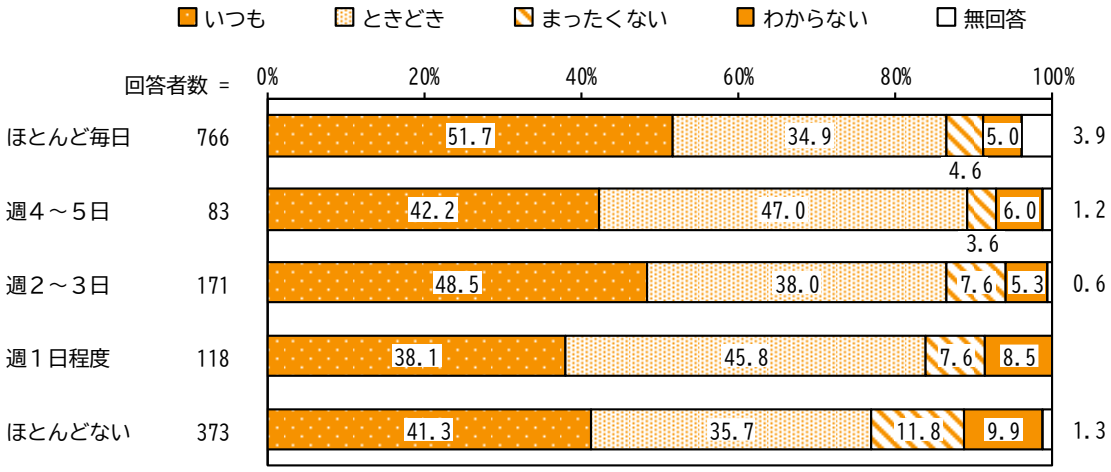
共食状況別　食べ方に関心がある（問 14③）



【朝食の共食頻度別】

食べ方に関心があるかについて朝食の共食頻度別でみると、「ほとんど毎日」家族と食べている人で「いつも」の割合が最も高くなっています。

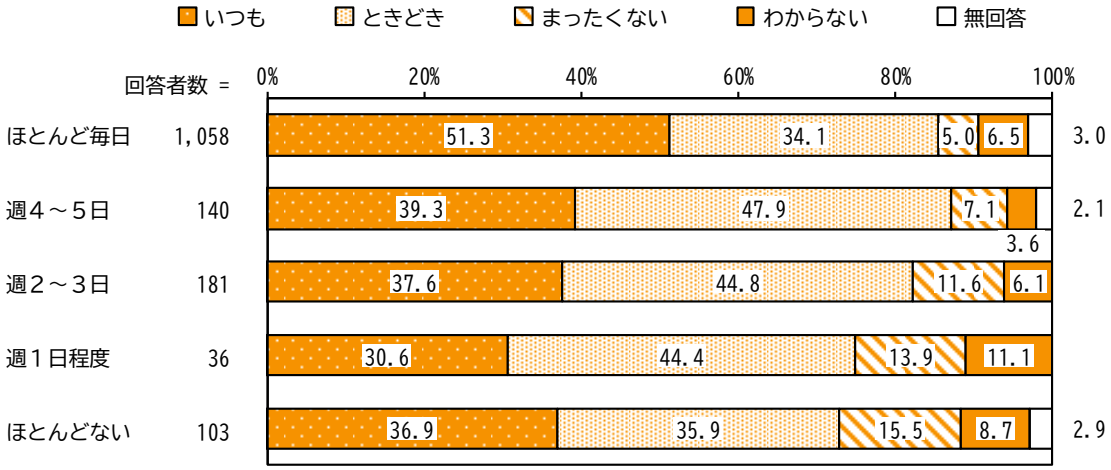
朝食の共食頻度別　食べ方に関心がある（問 14③）



【夕食の共食頻度別】

食べ方に関心があるかについて夕食の共食頻度別でみると、「ほとんど毎日」家族と食べている人で「いつも」の割合が最も高くなっています。

夕食の共食頻度別　食べ方に関心がある（問 14③）



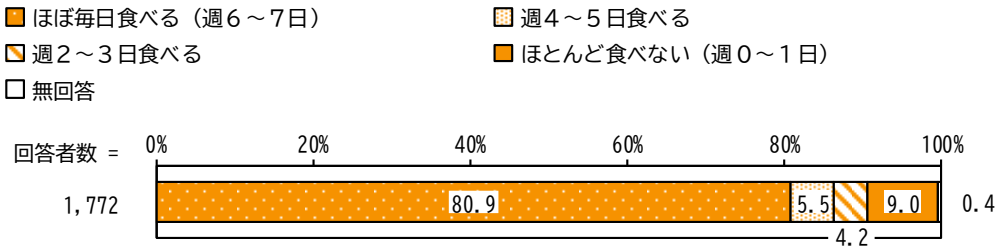
2　現在の食習慣、生活習慣について

（１）朝食の摂取頻度

問 15　あなたは、ふだん朝食を食べますか。（１つにチェック）

「ほぼ毎日食べる（週６～７日）」の割合が 80.9%と最も高くなっています。

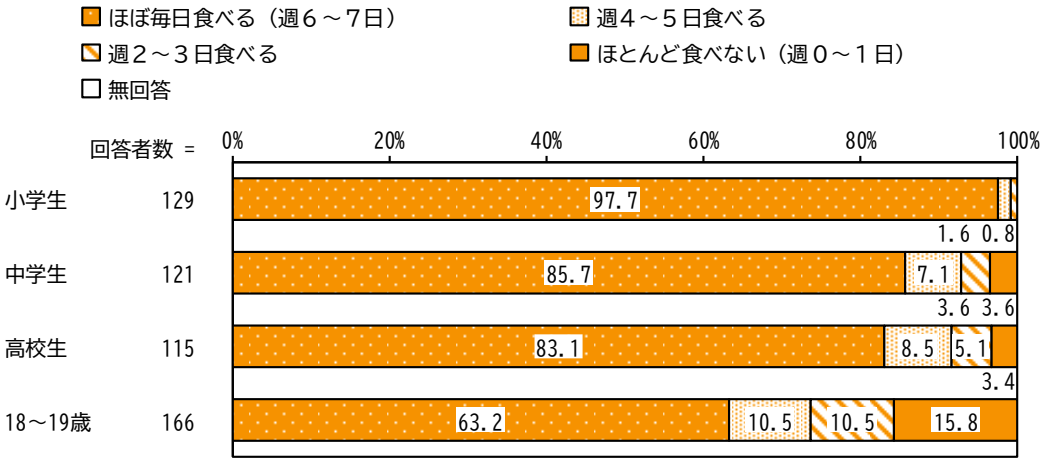
朝食の摂取頻度（問 15）



【年齢別（小・中・高・18～19 歳）】

朝食の摂取頻度について年齢別でみると、年齢が上がるほど「ほぼ毎日食べる（週６～７日）」の割合が低くなっています。特に、小学生（97.7%）と 18～19 歳（63.2%）では 34.5 ポイントの差があります。

小学生（６～12 歳）・思春期（13～19 歳）・20 歳代・30 歳代　朝食の摂取頻度（問 15）

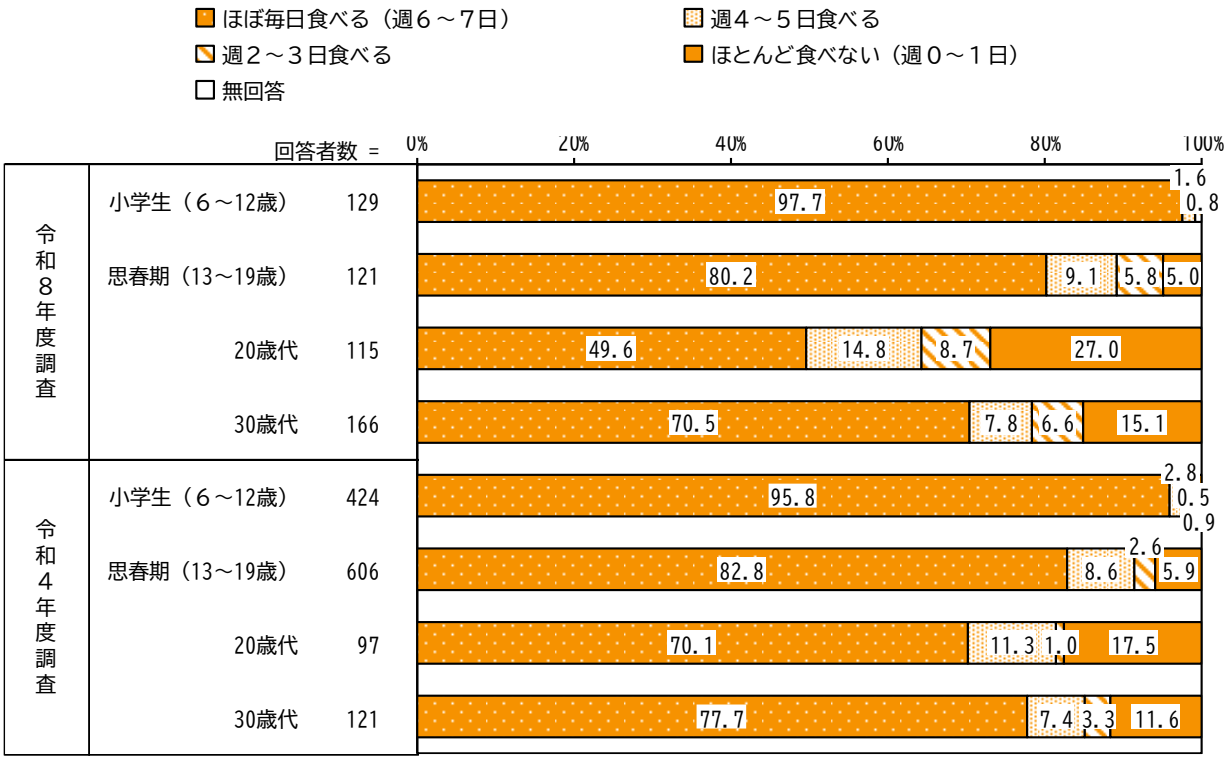


◆評価指標に基づく結果

朝食を欠食する若い世代の割合（「週４～５日食べる」「週２～３日食べる」「ほとんど食べない（週０～１日）」と回答した人）は、小学生（６～12 歳）で 2.3%、思春期（13～19 歳）で 19.8%、20 歳代で 50.4%、30 歳代で 29.5%となっています。

朝食を欠食する若い世代の割合について令和４年度調査と比較すると、20 歳代、30 歳代で増加しています。

朝食を欠食する若い世代の割合（問 15）

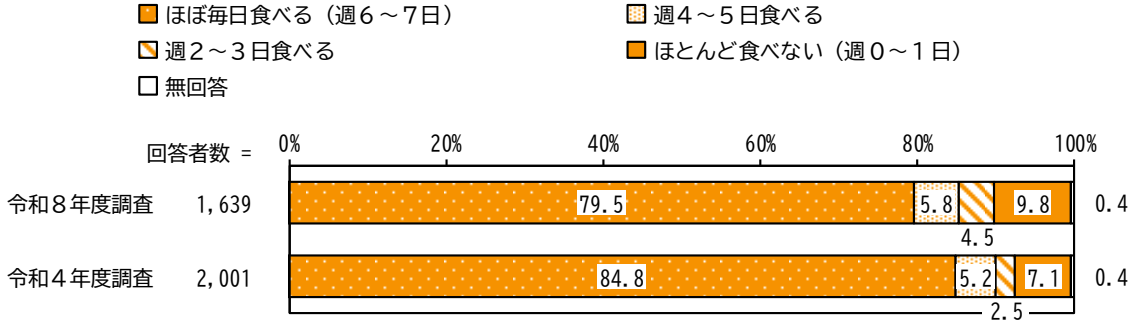


※評価指標では、「週４～５日食べる」「週２～３日食べる」「ほとんど食べない（週０～１日）」の件数を足し合わせた割合を算出しているため、グラフ上の割合を足し上げた数値とは一致しない場合があります。

【経年比較】

朝食の摂取頻度について令和４年度調査と比較すると、「ほぼ毎日食べる（週６～７日）」の割合が減少しています。

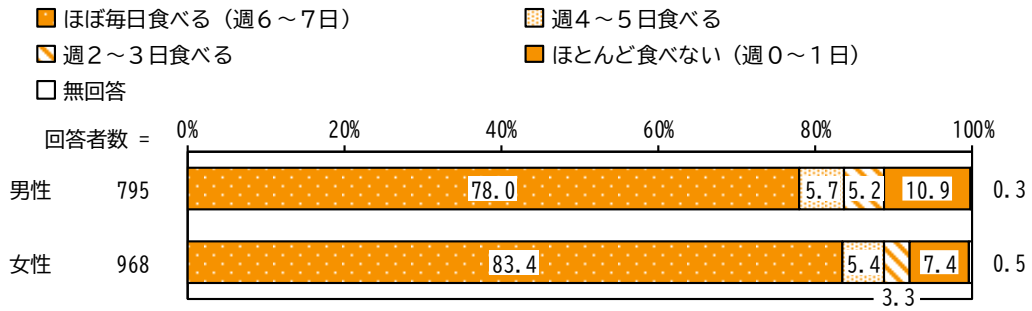
経年比較　朝食の摂取頻度（問 15）



【性別】

朝食の摂取頻度について性別でみると、女性で「ほぼ毎日食べる（週６～７日）」の割合が高くなっています。

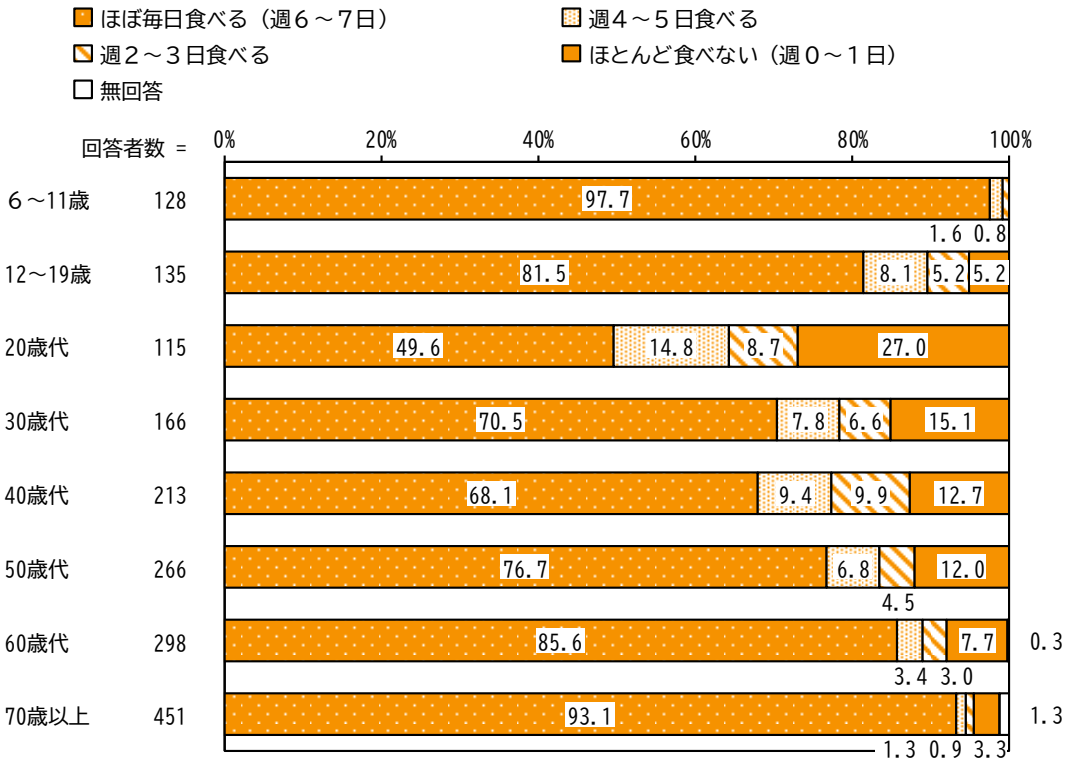
性別　朝食の摂取頻度（問 15）



【年代別】

朝食の摂取頻度について年代別でみると、「ほぼ毎日食べる（週６～７日）」の割合は６～11 歳で最も高く、20 歳代で 49.6%と最も低くなっています。

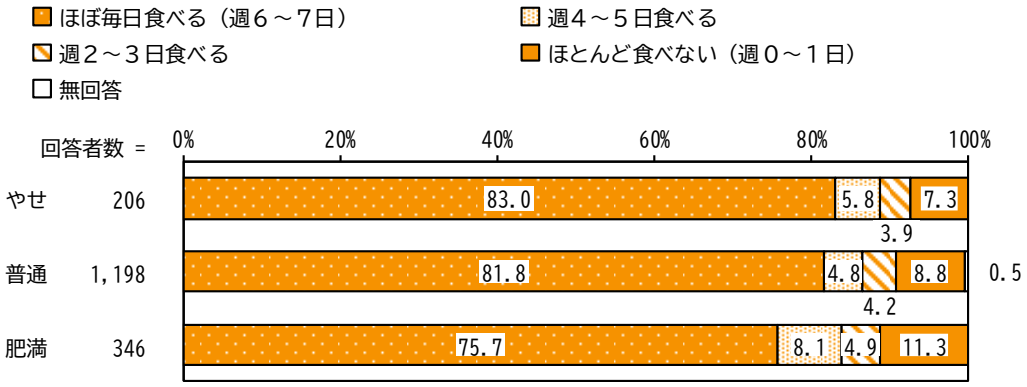
年代別　朝食の摂取頻度（問 15）



【肥満度別】

朝食の摂取頻度について肥満度別でみると、肥満度が上がるほど「ほとんど食べない（週０～１日）」の割合が高く、「ほぼ毎日食べる（週６～７日）」の割合が低くなっています。

肥満度別　朝食の摂取頻度（問 15）



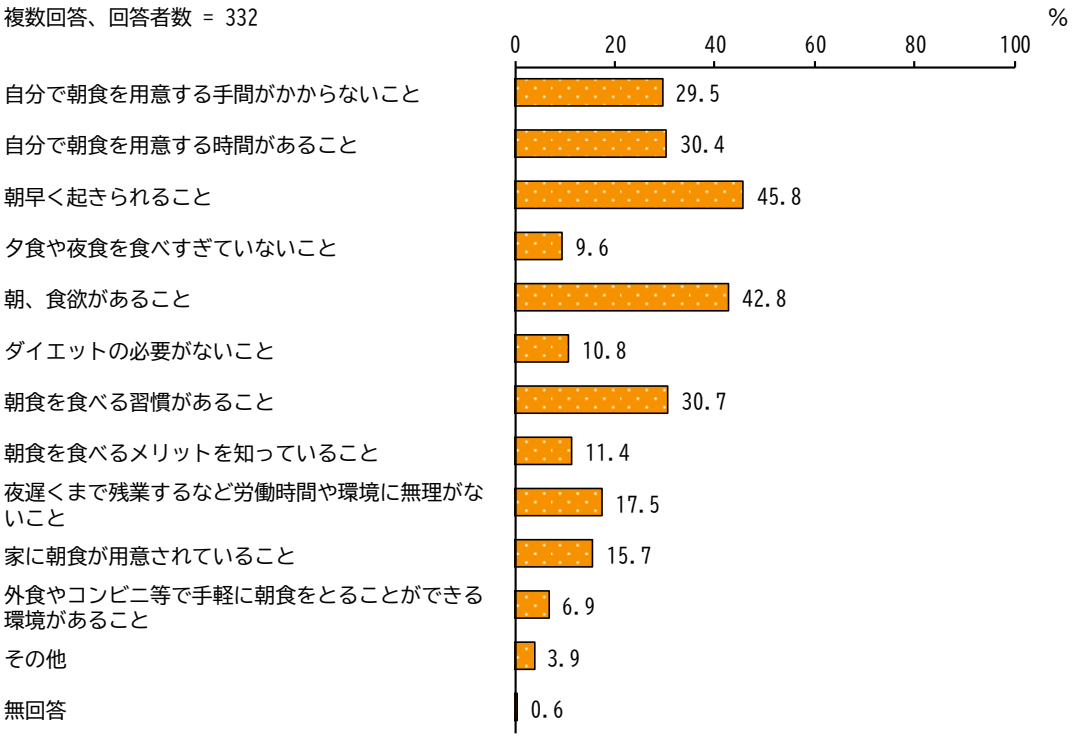
（２）朝食を毎日食べるために必要なこと

問 15 で「週４～５日食べる」「週２～３日食べる」「ほとんど食べない（週０～１日）」を選んだ方に伺います。

問 16　あなたが、毎日（週６～７日）朝食を食べるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（いくつでもチェック）

「朝早く起きられること」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「朝、食欲があること」の割合が 42.8%、「朝食を食べる習慣があること」の割合が 30.7%となっています。

朝食を毎日食べるために必要なこと（問 16）

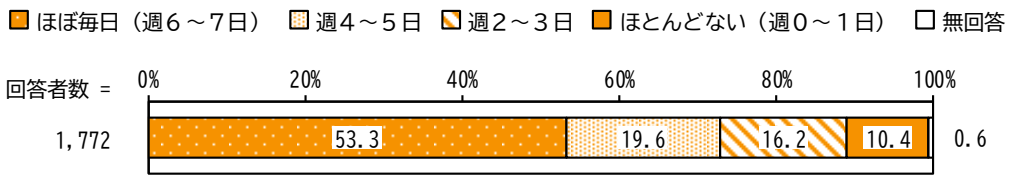


（３）栄養バランスへの意識

問 17　主食・主菜・副菜を３つそろえて食べることが１日２回以上あるのは、週に何日ありますか。（１つにチェック）

「ほぼ毎日（週６～７日）」の割合が 53.3%と最も高く、次いで「週４～５日」の割合が 19.6%、「週２～３日」の割合が 16.2%となっています。

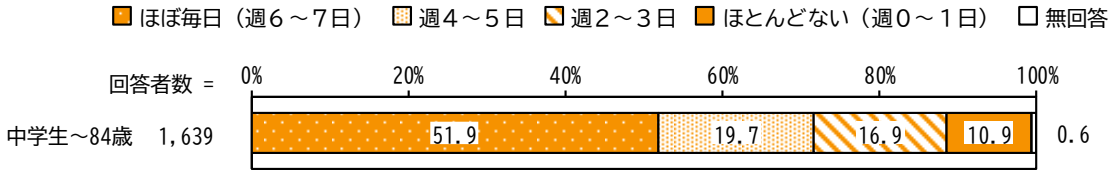
栄養バランスへの意識（問 17）



◆評価指標に基づく結果①　（対象：中学生～84 歳）

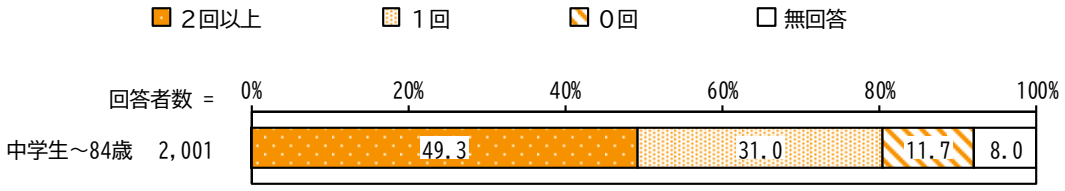
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上ほぼ毎日食べている市民の割合は 51.9%となっています。主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上ほぼ毎日食べている市民の割合について令和４年度調査（参考）と比較すると、大きな変化はみられません。

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上ほぼ毎日食べている市民の割合（問 17）



＜参考　令和４年度評価指標＞

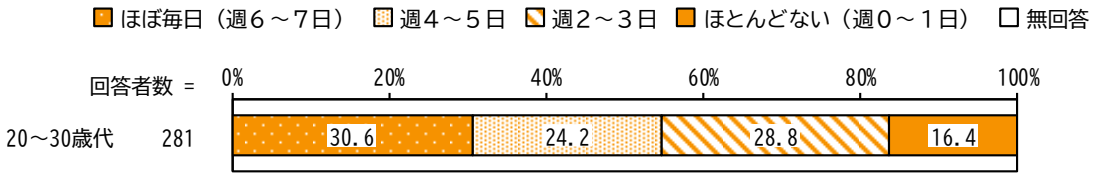
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上食べている市民の割合



◆評価指標に基づく結果②　（対象：20～30 歳代）

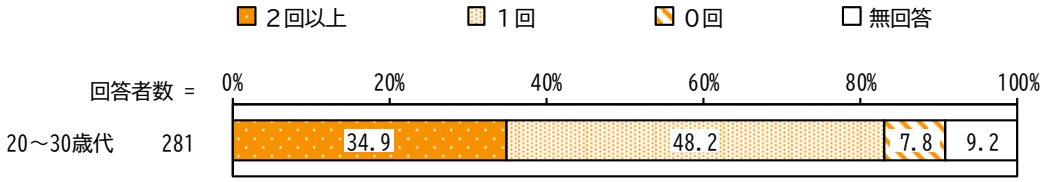
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合は 30.6%となっています。主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合について令和４年度調査（参考）と比較すると、大きな変化はみられません。

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合（問 17）



＜参考　令和４年度評価指標＞

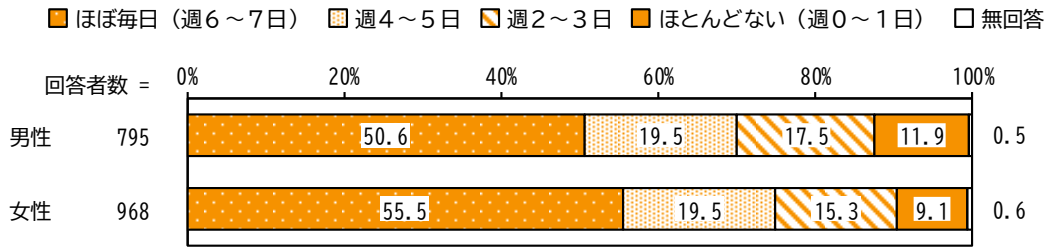
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上食べている若い世代の割合



【性別】

栄養バランスへの意識について性別でみると、大きな差はみられません。

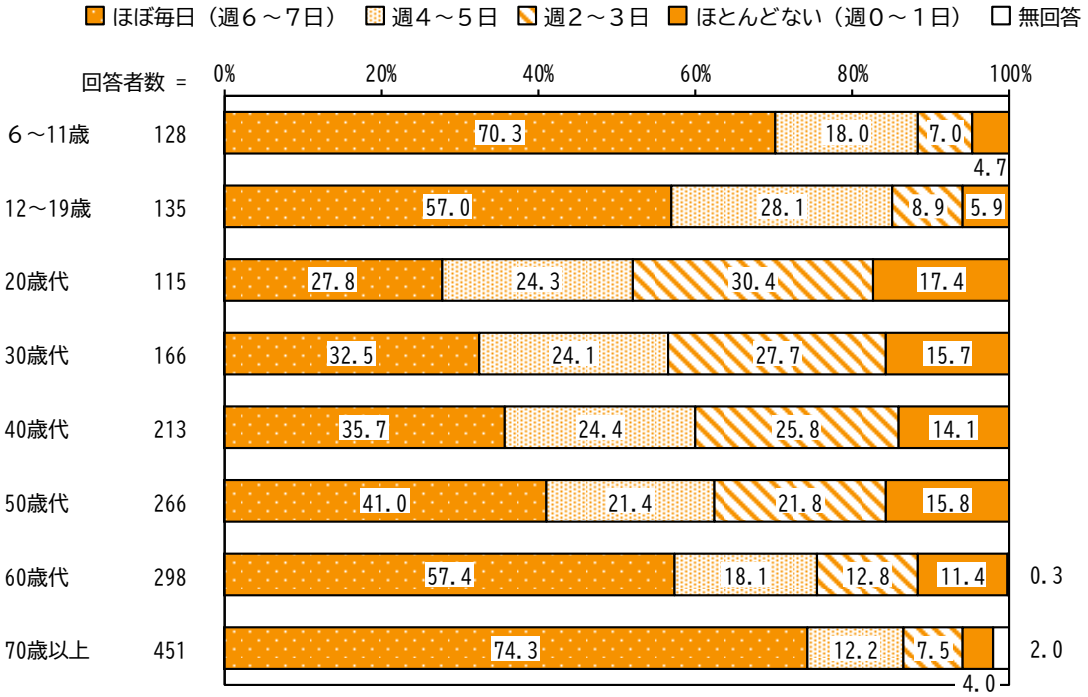
性別　栄養バランスへの意識（問 17）



【年代別】

栄養バランスへの意識について年代別でみると、「ほぼ毎日（週６～７日）」の割合は６～11 歳で 70.3%、70 歳以上で 74.3%と高くなっています。20 歳代では 27.8%と最も低く、20 歳代以降は年代が上がるにつれて高くなっています。

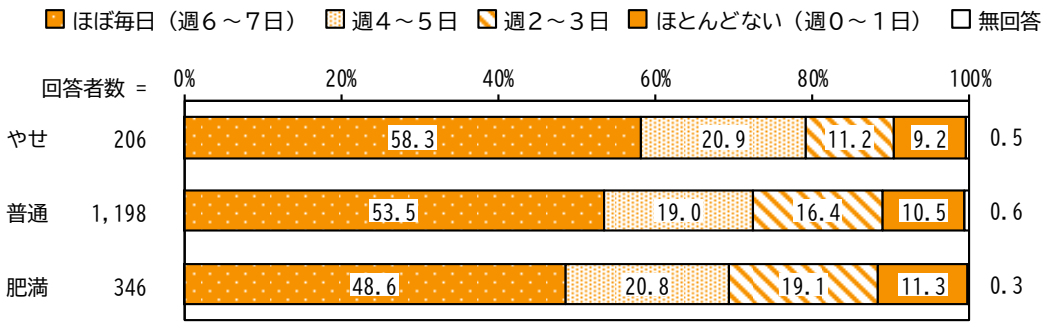
年代別　栄養バランスへの意識（問 17）



【肥満度別】

栄養バランスへの意識について肥満度別でみると、肥満度が上がるほど「週２～３日」の割合が高く、「ほぼ毎日（週６～７日）」の割合が低くなっています。

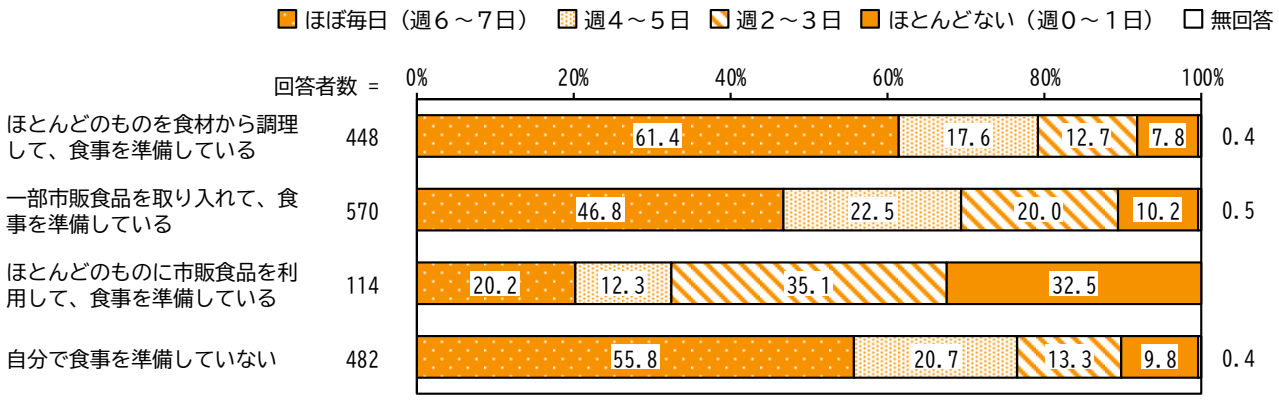
肥満度別　栄養バランスへの意識（問 17）



【自身の食事状況別】

栄養バランスへの意識について自身の食事状況別でみると、「ほとんどのものを食材から調理して、食事を準備している」で「ほぼ毎日（週６～７日）」の割合が最も高くなっています。一方、「ほとんどのものに市販食品を利用して、食事を準備している」では「週２～３日」「ほとんどない（週０～１日）」の割合が高くなっています。

自身の食事状況別　栄養バランスへの意識（問 17）



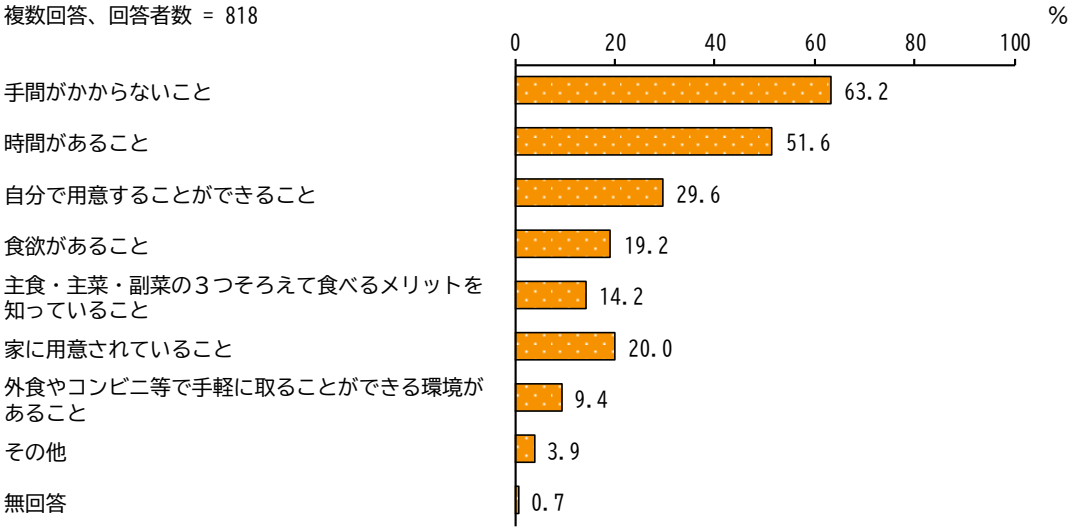
（４）主食、主菜、副菜を３つそろえて食べる回数を増やすために必要なこと

問 17 で、「週４～５日」「週２～３日」「ほとんどない（週０～１日）」と回答した方に伺います。

問 18　主食、主菜、副菜を３つそろえて食べる回数を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。（３つまでチェック）

「手間がかからないこと」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「時間があること」の割合が 51.6%、「自分で用意することができること」の割合が 29.6%となっています。

主食、主菜、副菜を３つそろえて食べる回数を増やすために必要なこと（問 18）



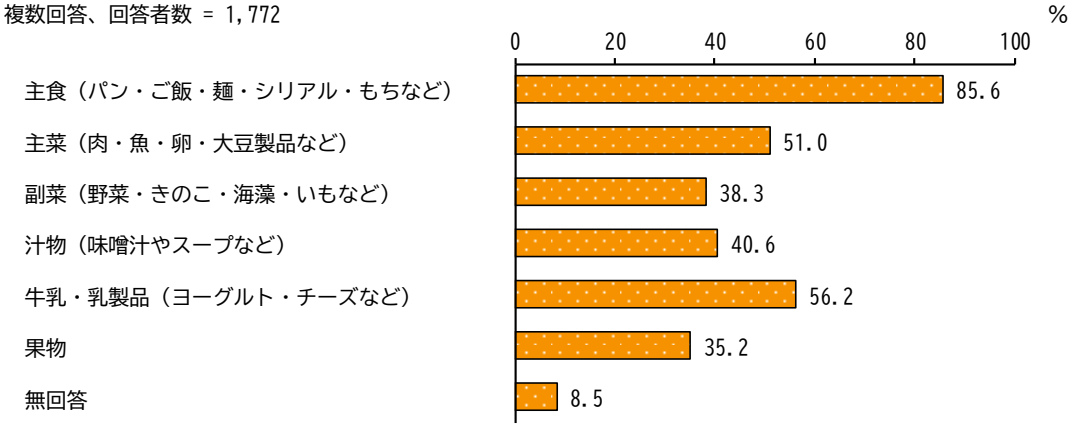
（５）普段食べているもの

問 19　あなたは、１週間のうち、朝食・昼食・夕食に、ふだんどのようなものを食べて（飲んで）いますか。
（朝食・昼食・夕食について、平均的にとっているものすべてにチェック）

朝食

普段食べているもの（朝食）について、「主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）」の割合が 85.6%と最も高く、次いで「牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）」56.2%、「主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）」51.0%となっています。一方、「副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）」は 38.3%、「果物」は 35.2%と低く、朝食では副菜や果物を食べている人が少ない状況がうかがえます。

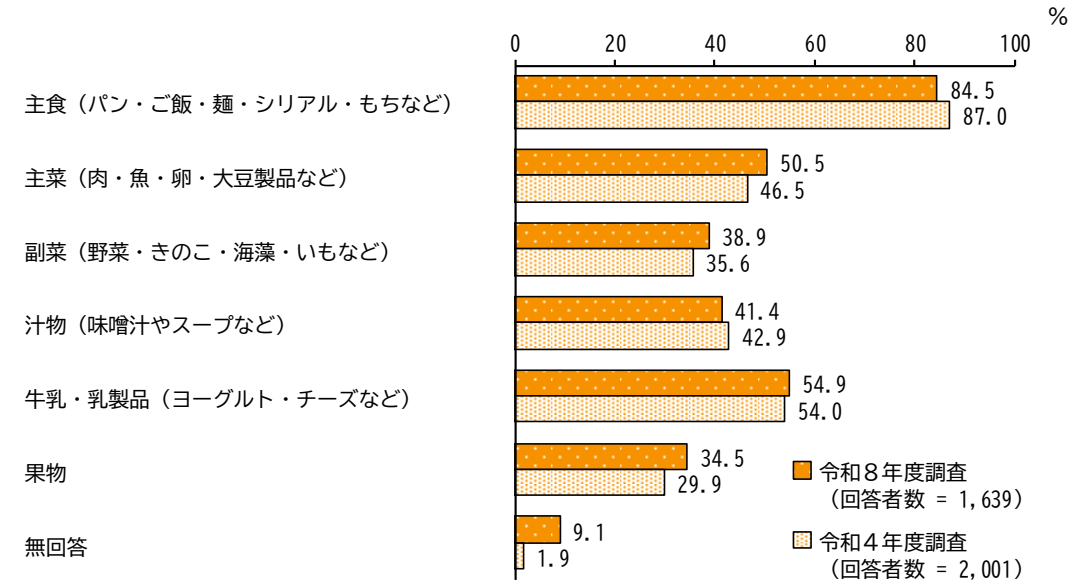
普段食べているもの（朝食）（問 19①）



【経年比較】

普段食べているもの（朝食）について、令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

経年比較　普段食べているもの（朝食）（問 19①）



【性別】

普段食べているもの（朝食）について性別でみると、女性は男性より「主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど)」「主菜（肉・魚・卵・大豆製品など)」「副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど)」「牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど)」「果物」の割合が高くなっています。

性別　普段食べているもの（朝食）（問 19①）

単位：%

区分	回答者数（件）	主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）	主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）	副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）	汁物（味噌汁やスープなど）	牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）	果物	無回答
全　体	1,772	85.6	51.0	38.3	40.6	56.2	35.2	8.5
男性	795	82.6	46.5	34.8	38.0	51.2	28.4	11.1
女性	968	88.0	54.2	41.1	42.8	60.4	40.9	6.3

【年代別】

普段食べているもの（朝食）について年代別でみると、20 歳代ではいずれの項目も割合が全体より低く、特に「副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど)」14.8%、「果物」18.3%が低くなっています。また、無回答が 26.1%と高く、朝食を食べていない人が多いことがうかがえます。一方、70 歳以上ではいずれの項目も割合が高くなっています。

年代別　普段食べているもの（朝食）（問 19①）

単位：%

区分	回答者数（件）	主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）	主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）	副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）	汁物（味噌汁やスープなど）	牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）	果物	無回答
全　体	1,772	85.6	51.0	38.3	40.6	56.2	35.2	8.5
６～11歳	128	99.2	55.5	28.9	28.9	71.9	43.8	0.8
12～19歳	135	91.9	52.6	33.3	41.5	45.9	40.0	3.7
20歳代	115	66.1	32.2	14.8	23.5	38.3	18.3	26.1
30歳代	166	80.1	39.2	21.7	24.7	51.2	24.7	12.7
40歳代	213	80.3	42.3	25.8	29.6	52.6	30.5	12.2
50歳代	266	78.6	42.9	29.3	36.5	52.3	31.2	11.7
60歳代	298	86.9	58.7	44.6	47.3	57.4	32.9	6.0
70歳以上	451	92.7	62.1	61.4	57.2	64.5	45.5	4.0

【肥満度別】

普段食べているもの（朝食）について肥満度別でみると、肥満度が下がるほど「汁物（味噌汁やスープなど）」「果物」の割合が高くなっています。また、「副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）」は肥満でやや低くなっています。

肥満度別　普段食べているもの（朝食）（問 19①）

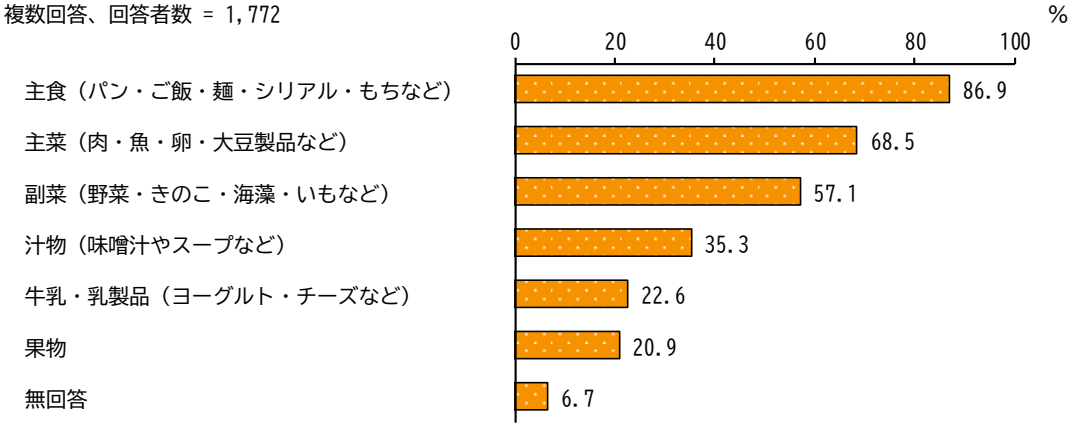
単位：％

区分	回答者数（件）	主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）	主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）	副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）	汁物（味噌汁やスープなど）	牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）	果物	無回答
全　体	1,772	85.6	51.0	38.3	40.6	56.2	35.2	8.5
やせ	206	85.9	51.0	35.0	42.7	52.4	38.8	7.8
普通	1,198	86.1	51.9	40.0	41.2	57.7	36.3	7.8
肥満	346	83.5	47.7	33.5	36.7	54.0	28.9	11.0

昼食

普段食べているもの（昼食）について、「主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）」の割合が 86.9%と最も高く、次いで「主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）」の割合が 68.5%、「副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）」の割合が 57.1%となっています。

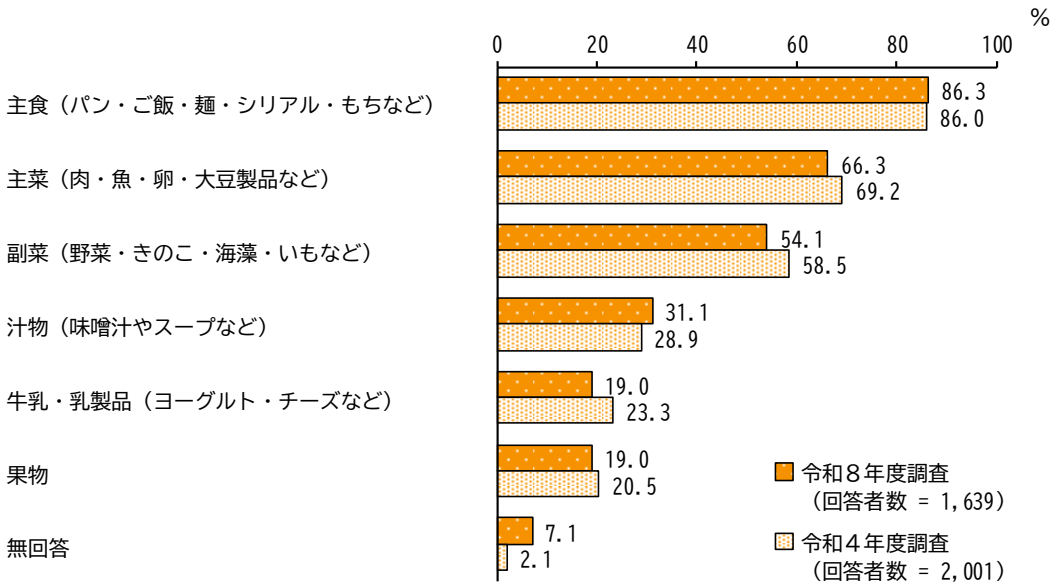
普段食べているもの（昼食）（問 19②）



【経年比較】

普段食べているもの（昼食）について令和４年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

経年比較　普段食べているもの（昼食）（問 19②）



【性別】

普段食べているもの（昼食）について性別でみると、女性で「副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）」「牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）」「果物」の割合が高くなっています。

性別　普段食べているもの（昼食）（問 19②）

単位：%

区分	回答者数（件）	主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）	主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）	副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）	汁物（味噌汁やスープなど）	牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）	果物	無回答
全　体	1,772	86.9	68.5	57.1	35.3	22.6	20.9	6.7
男性	795	85.3	69.1	54.3	35.2	17.6	16.6	8.8
女性	968	88.3	68.2	59.3	35.7	26.9	24.7	4.9

【年代別】

普段食べているもの（昼食）について年代別でみると、６～11 歳ではいずれの項目も割合が最も高くなっています。12～19 歳でも「主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど)」「主菜（肉・魚・卵・大豆製品など)」「副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど)」の割合が高くなっています。一方、20 歳代以降は「副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど)」が５割台に下がっています。

年代別　普段食べているもの（昼食）（問 19②）

単位：％

区分	回答者数（件）	主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）	主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）	副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）	汁物（味噌汁やスープなど）	牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）	果物	無回答
全　体	1,772	86.9	68.5	57.1	35.3	22.6	20.9	6.7
６～11歳	128	95.3	96.9	95.3	88.3	68.8	45.3	0.8
12～19歳	135	93.3	93.3	76.3	40.0	31.1	26.7	0.7
20歳代	115	82.6	73.9	57.4	27.8	8.7	7.0	7.0
30歳代	166	88.6	66.3	52.4	28.3	8.4	6.0	8.4
40歳代	213	83.6	73.2	54.0	26.8	10.8	9.4	10.8
50歳代	266	86.8	66.2	54.1	31.6	15.8	9.4	8.3
60歳代	298	86.2	63.8	56.4	36.9	21.5	19.1	6.7
70歳以上	451	85.1	54.8	45.9	28.6	26.2	34.8	6.7

【肥満度別】

普段食べているもの（昼食）について肥満度別でみると、肥満度が下がるほど「主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど)」「主菜（肉・魚・卵・大豆製品など)」「副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど)」「汁物（味噌汁やスープなど)」「牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど)」「果物」の割合が高くなっています。

肥満度別　普段食べているもの（昼食）（問 19②）

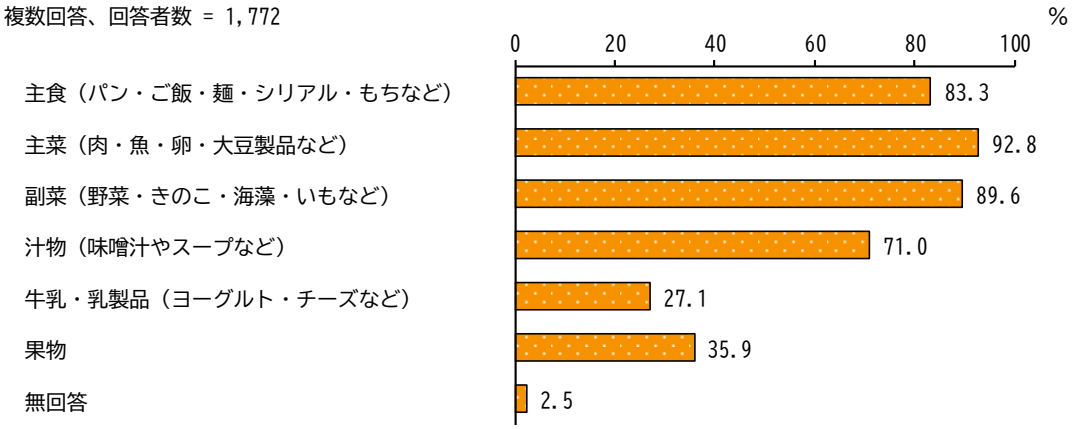
単位：％

区分	回答者数（件）	主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）	主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）	副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）	汁物（味噌汁やスープなど）	牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）	果物	無回答
全　体	1,772	86.9	68.5	57.1	35.3	22.6	20.9	6.7
やせ	206	89.3	74.8	65.5	38.3	26.7	24.3	4.4
普通	1,198	87.8	68.4	57.9	35.6	23.0	21.9	6.2
肥満	346	82.7	66.2	50.6	32.7	18.5	15.6	9.5

夕食

「主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）」の割合が 92.8%と最も高く、次いで「副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）」の割合が 89.6%、「主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）」の割合が 83.3%となっています。

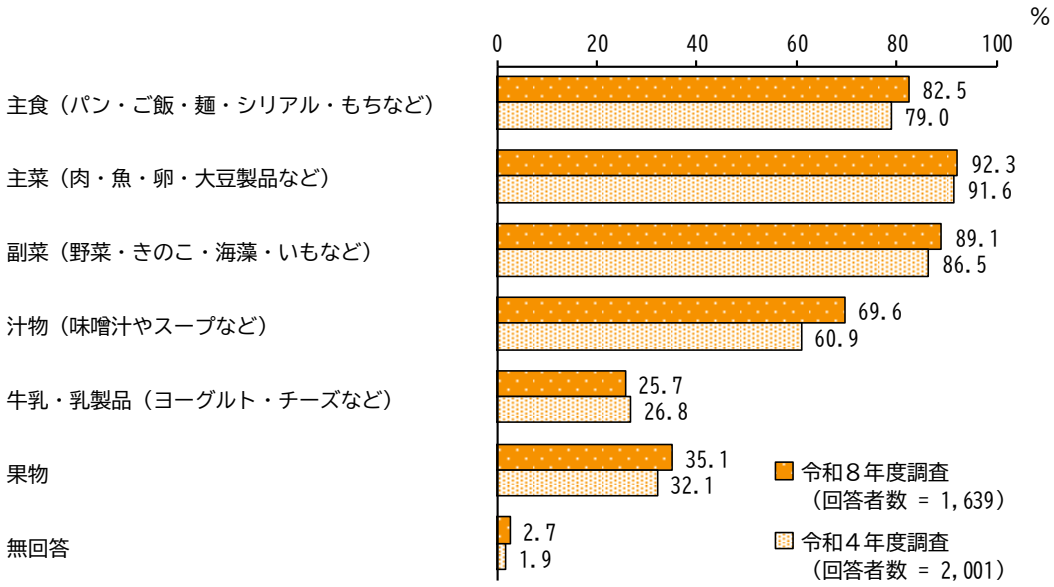
普段食べているもの（夕食）（問 19③）



【経年比較】

普段食べているもの（夕食）について令和４年度調査と比較すると、「汁物（味噌汁やスープなど）」の割合が増加しています。

経年比較　普段食べているもの（夕食）（問 19③）



【性別】

普段食べているもの（夕食）について性別でみると、女性で「汁物（味噌汁やスープなど)」「果物」の割合が高くなっています。

性別　普段食べているもの（夕食）（問 19③）

単位：%

区分	回答者数（件）	主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）	主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）	副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）	汁物（味噌汁やスープなど）	牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）	果物	無回答
全　体	1,772	83.3	92.8	89.6	71.0	27.1	35.9	2.5
男性	795	81.3	91.3	87.2	67.8	25.8	33.3	3.3
女性	968	84.9	94.1	91.5	73.7	28.3	38.3	1.9

【年代別】

普段食べているもの（夕食）について年代別でみると、「主菜（肉・魚・卵・大豆製品など)」「副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど)」はいずれの年代でも 80%以上と高くなっています。「主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど)」も 80～90%と高いものの、50 歳代以上では 80%を下回っています。牛乳・乳製品は、年代が上がるほど低くなり、特に 70 歳以上では 19.5%と最も低くなっています。

年代別　普段食べているもの（夕食）（問 19③）

単位：%

区分	回答者数（件）	主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）	主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）	副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）	汁物（味噌汁やスープなど）	牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）	果物	無回答
全　体	1,772	83.3	92.8	89.6	71.0	27.1	35.9	2.5
６～11歳	128	95.3	100.0	95.3	90.6	45.3	46.9	0.0
12～19歳	135	95.6	100.0	96.3	87.4	44.4	36.3	0.0
20歳代	115	84.3	93.0	84.3	80.9	30.4	28.7	3.5
30歳代	166	86.7	97.0	92.2	83.1	28.9	32.5	1.8
40歳代	213	84.5	94.4	93.9	77.0	24.9	36.6	1.4
50歳代	266	79.7	92.9	94.0	68.0	22.2	35.3	2.3
60歳代	298	77.9	91.3	86.9	62.4	26.8	36.2	2.3
70歳以上	451	79.8	87.4	83.4	58.1	19.5	35.5	4.9

【肥満度別】

普段食べているもの（夕食）について肥満度別でみると、肥満度が下がるほど「主菜（肉・魚・卵・大豆製品など)」「汁物（味噌汁やスープなど)」「果物」の割合が高くなっています。特に、やせでは「主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど)」「汁物（味噌汁やスープなど)」の割合が高くなっています。

肥満度別　普段食べているもの（夕食）（問 19③）

単位：％

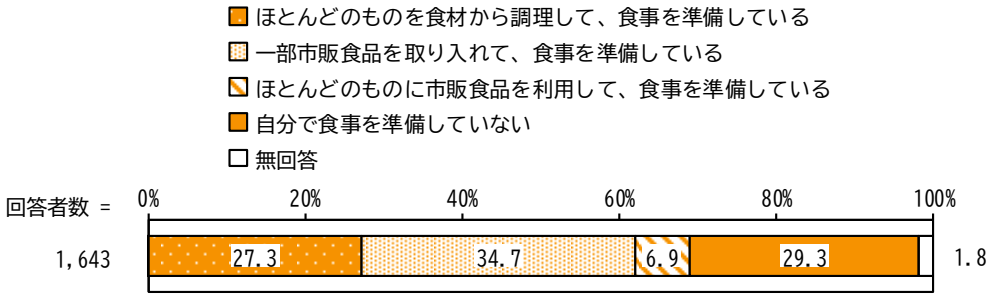
区分	回答者数（件）	主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）	主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）	副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）	汁物（味噌汁やスープなど）	牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）	果物	無回答
全　体	1,772	83.3	92.8	89.6	71.0	27.1	35.9	2.5
やせ	206	90.3	97.6	91.3	78.6	24.8	40.3	1.9
普通	1,198	82.4	92.6	89.7	71.5	28.8	35.6	2.6
肥満	346	82.7	91.0	88.4	65.9	23.4	35.0	2.6

（６）食事の準備状況

問 20　あなたは、ふだんの食事を自分で準備していますか。（１つにチェック）

「一部市販食品を取り入れて、食事を準備している」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「自分で食事を準備していない」の割合が 29.3%、「ほとんどのものを食材から調理して、食事を準備している」の割合が 27.3%となっています。

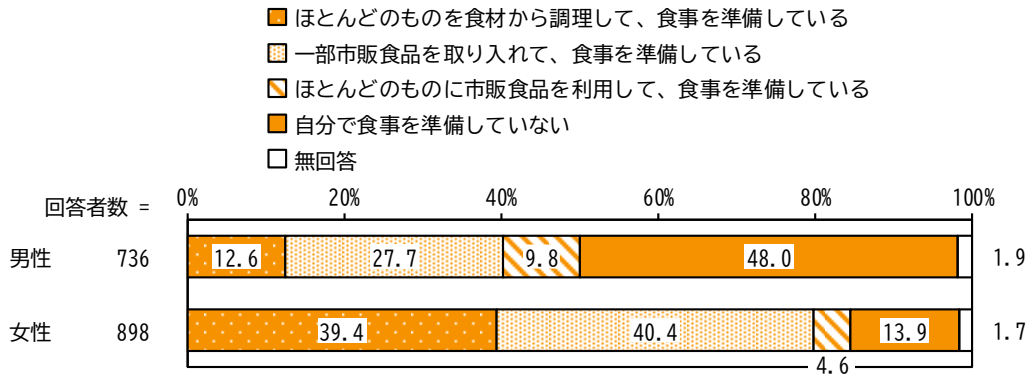
食事の準備状況（問 20）



【性別】

食事の準備状況について性別でみると、男性で「ほとんどのものに市販食品を利用して、食事を準備している」「自分で食事を準備していない」の割合が高く、女性で「ほとんどのものを食材から調理して、食事を準備している」「一部市販食品を取り入れて、食事を準備している」の割合が高くなっています。

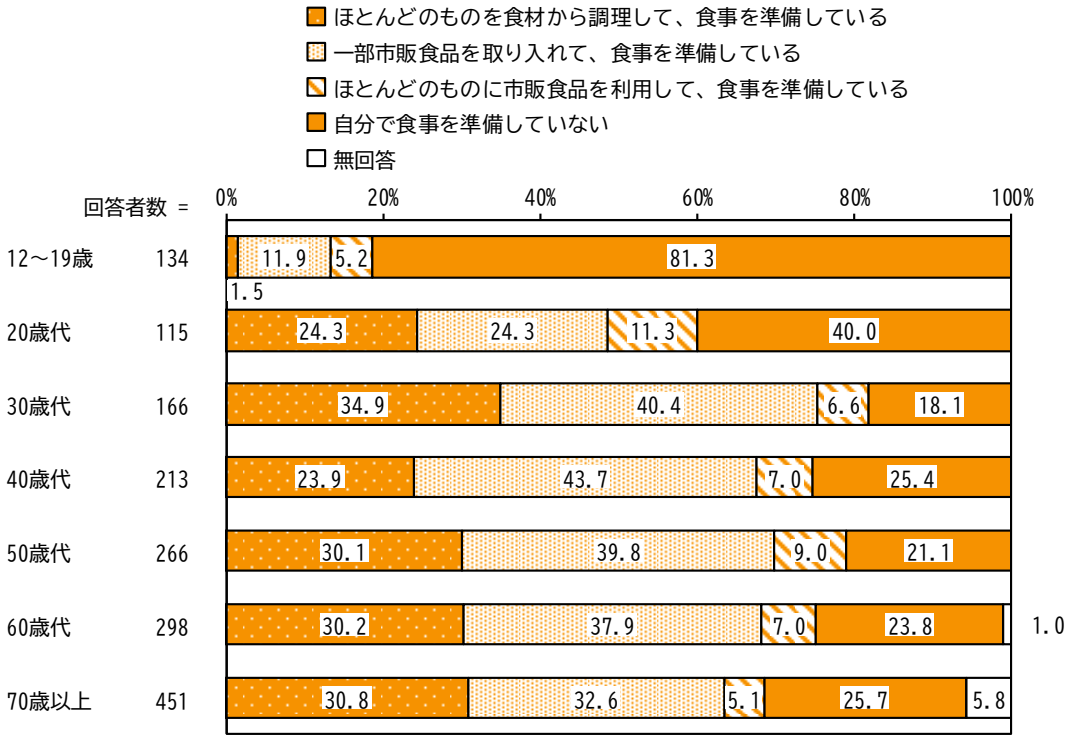
性別　食事の準備状況（問 20）



【年代別】

食事の準備状況について年代別でみると、「一部市販食品を取り入れて、食事を準備している」の割合は 30 歳代から 50 歳代で 40%前後となり、年代が上がるにつれて低下し、70 歳以上では 32.6%となっています。一方、20 歳代では「自分で食事を準備していない」の割合が 40.0%と高くなっています。

年代別　食事の準備状況（問 20）

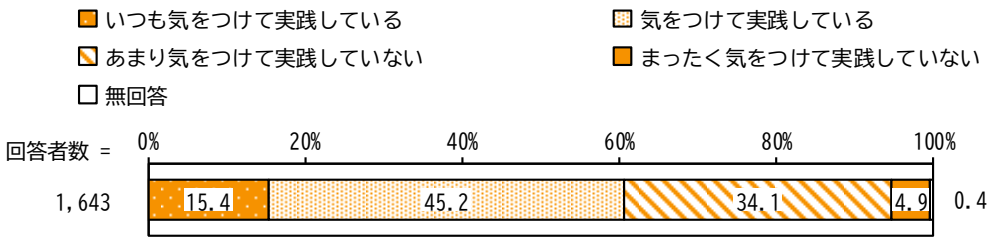


（７）生活習慣病予防行動

問 21　生活習慣病の予防や改善のために、あなたは、適切な食事（減塩や栄養バランス）や定期的な運動を継続して実践していますか。（１つにチェック）

「気をつけて実践している」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「あまり気をつけて実践していない」の割合が 34.1%、「いつも気をつけて実践している」の割合が 15.4%となっています。

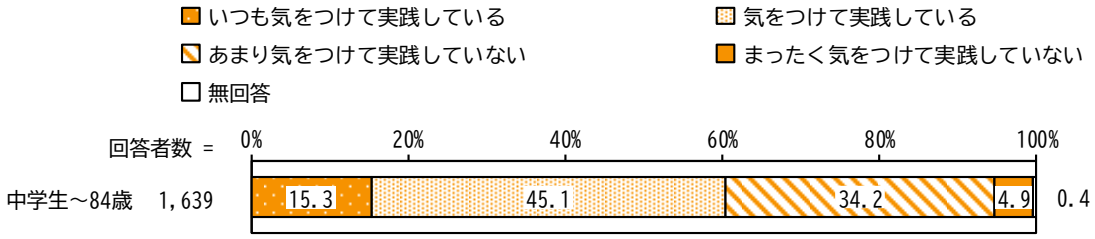
生活習慣病予防行動（問 21）



◆評価指標に基づく結果　（対象：中学生～84 歳）

生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合（「いつも気をつけて実践している」と「気をつけて実践している」を合わせた割合）は 60.5%となっています。生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合について令和４年度調査（参考）と比較すると、減少しています。

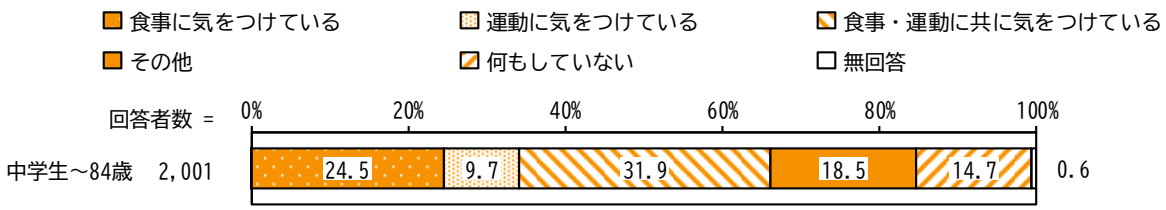
生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合（問 21）



※評価指標では、「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」の件数を足し合わせてから割合を算出（60.5%）しているため、グラフ上の割合を足し上げた数値とは一致しない場合があります。

＜参考　令和４年度評価指標＞（生活習慣病の予防や改善のために取り組んでいることはありますか）

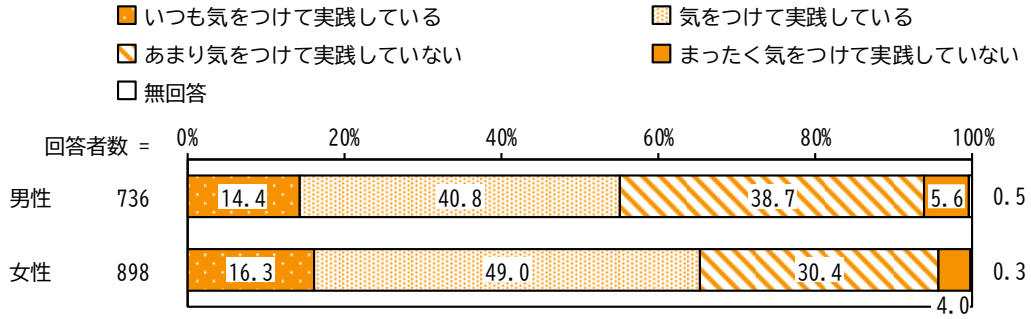
生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合



【性別】

生活習慣病予防行動について性別でみると、男性で「あまり気をつけて実践していない」の割合が高く、女性で「気をつけて実践している」の割合が高くなっています。

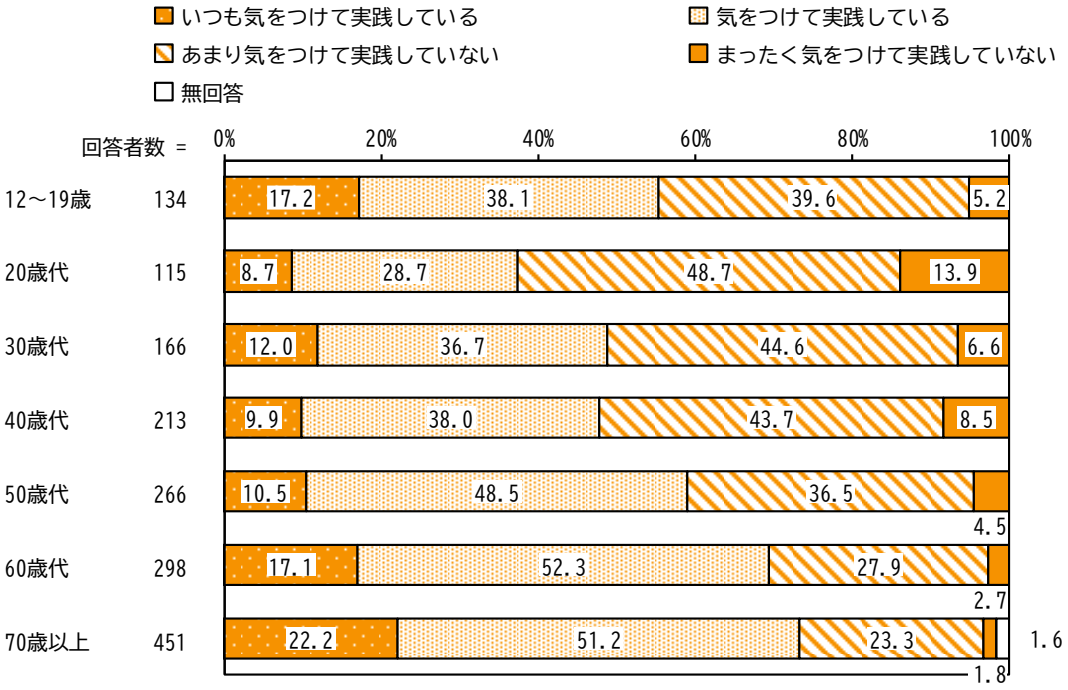
性別　生活習慣病予防行動（問 21）



【年代別】

生活習慣病予防行動について年代別でみると、「いつも気をつけて実践している」と「気をつけて実践している」を合わせた割合は、20 歳代で 37.4%と最も低くなっています。その後は年代が上がるにつれて高まり、50 歳代以上では５割を超えています。

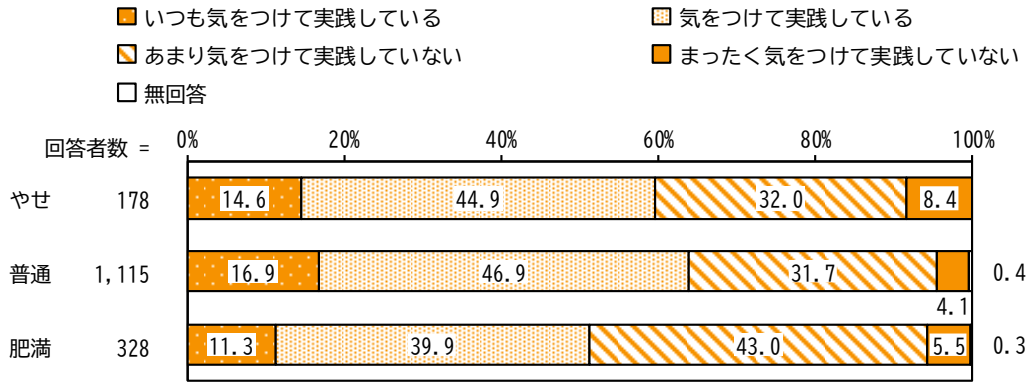
年代別　生活習慣病予防行動（問 21）



【肥満度別】

生活習慣病予防行動について肥満度別でみると、肥満で「あまり気をつけて実践していない」の割合が高く、「気をつけて実践している」の割合が低くなっています。

肥満度別　生活習慣病予防行動（問 21）

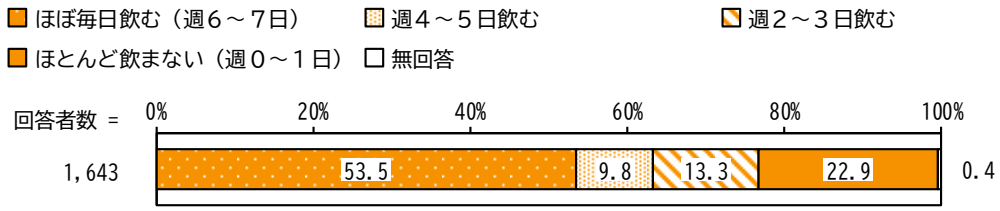


（８）緑茶の飲用頻度

問 22　あなたは、ふだんどのくらいの頻度で緑茶を飲みますか。（１つにチェック）

「ほぼ毎日飲む（週６～７日）」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない（週０～１日）」の割合が 22.9%、「週２～３日飲む」の割合が 13.3%となっています。

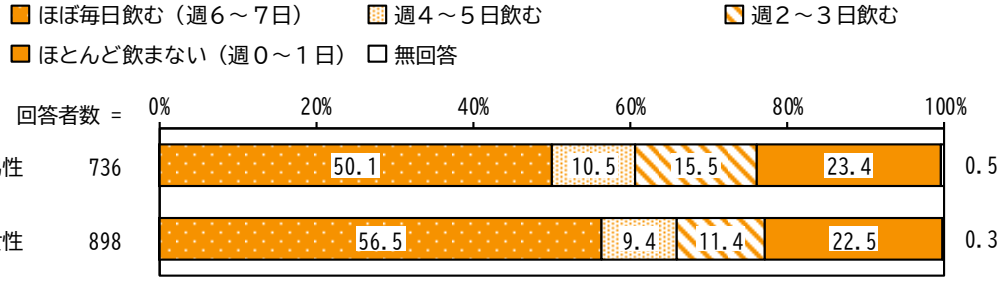
緑茶の飲用頻度（問 22）



【性別】

緑茶の飲用頻度について性別でみると、女性で「ほぼ毎日飲む（週６～７日）」の割合が高くなっています。

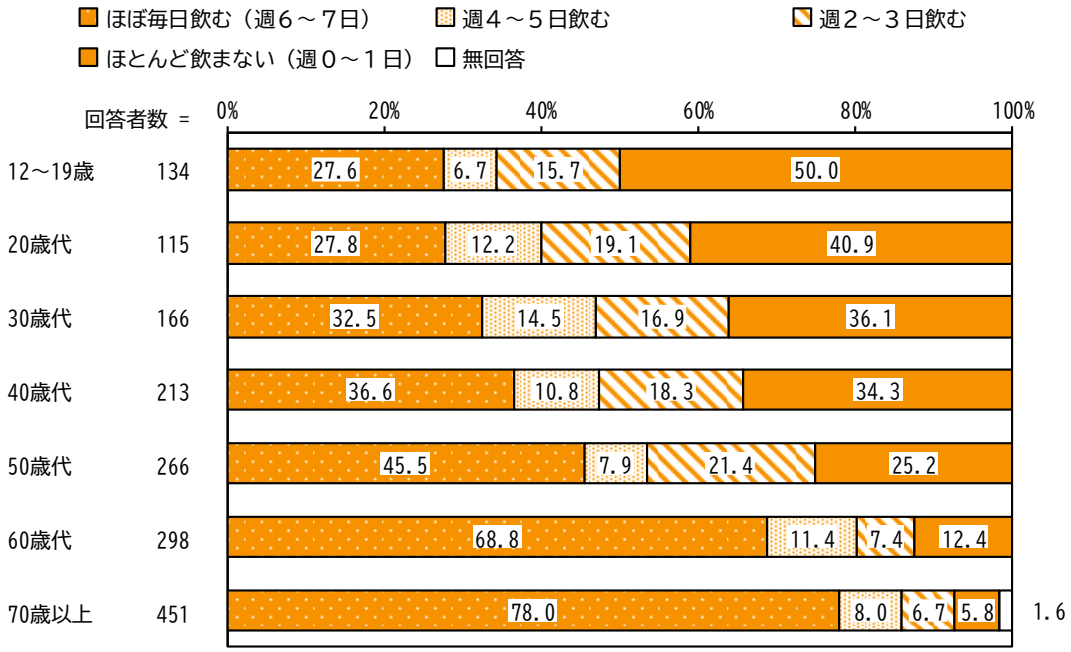
性別　緑茶の飲用頻度（問 22）



【年代別】

緑茶の飲用頻度について年代別でみると、年代が上がるほど「ほぼ毎日飲む（週６～７日）」の割合が高く、「ほとんど飲まない（週０～１日）」の割合が低くなっています。

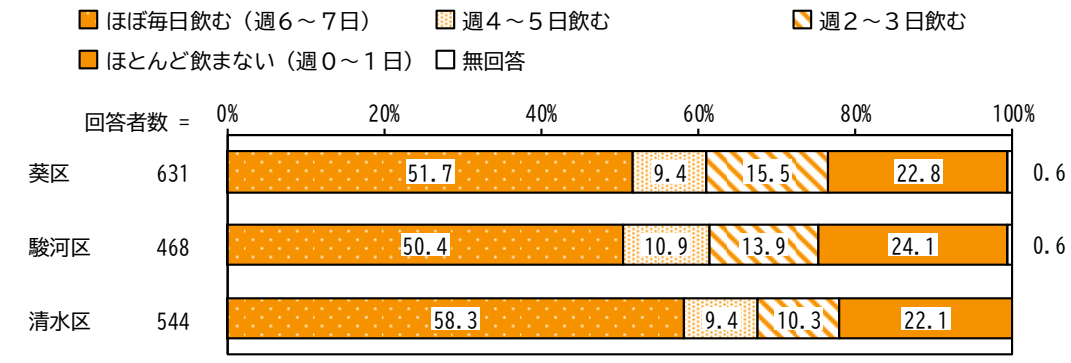
年代別　緑茶の飲用頻度（問 22）



【居住地区別】

緑茶の飲用頻度について居住地区別でみると、清水区で「ほぼ毎日飲む（週６～７日）」の割合がやや高くなっています。

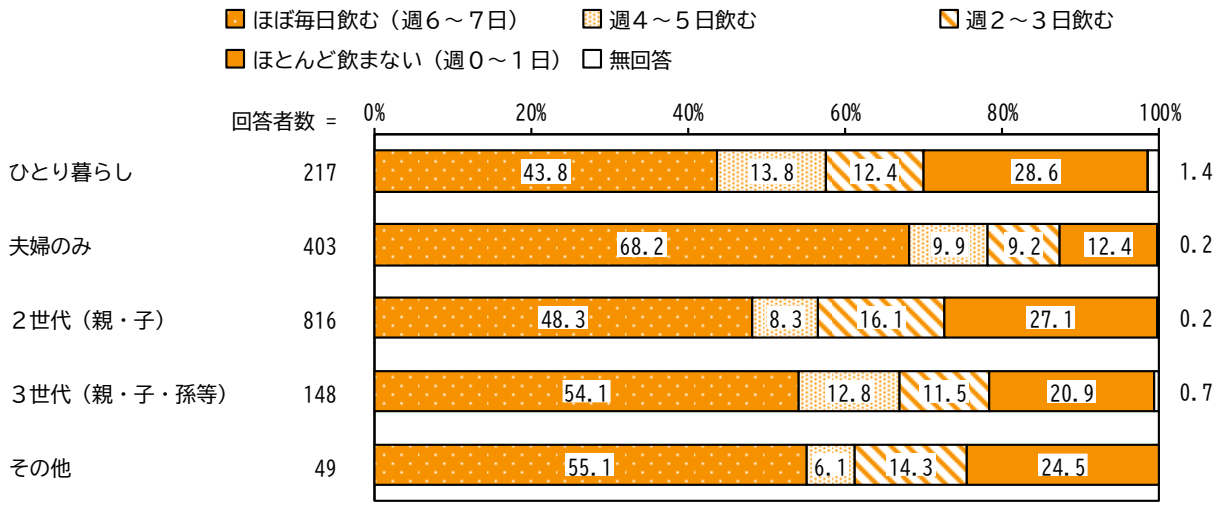
居住地区別　緑茶の飲用頻度（問 22）



【世帯構成別】

緑茶の飲用頻度について世帯構成別でみると、夫婦のみで「ほぼ毎日飲む（週６～７日）」の割合が高く、「ほとんど飲まない（週０～１日）」の割合が低くなっています。

世帯構成別　緑茶の飲用頻度（問 22）



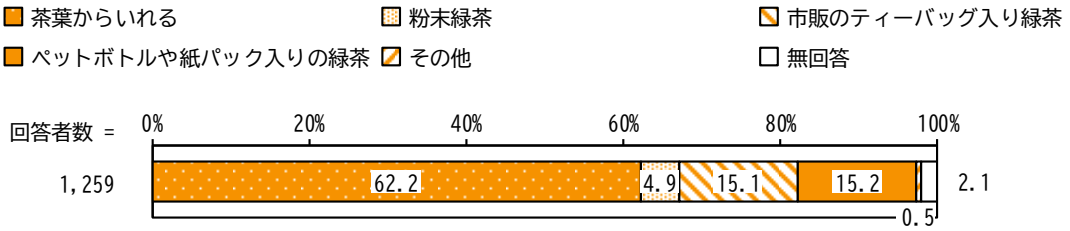
（９）緑茶の飲用方法

問 22 で「ほぼ毎日飲む（週６～７日）」「週４～５日飲む」「週２～３日飲む」と回答した方に伺います。

問 23　どのような方法で緑茶を飲むことが多いですか。（主なもの１つチェック）

「茶葉からいれる」の割合が 62.2%と最も高く、次いで「ペットボトルや紙パック入りの緑茶」の割合が 15.2%、「市販のティーバッグ入り緑茶」の割合が 15.1%となっています。

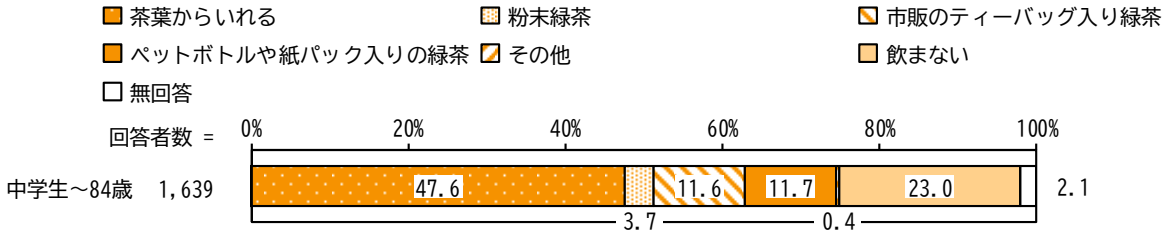
緑茶の飲用方法（問 23）



◆評価指標に基づく結果　（対象：中学生～84 歳）

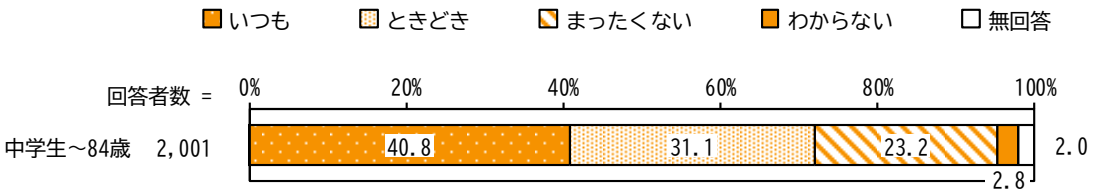
茶葉からいれた緑茶を飲む市民の割合は 47.6%となっています。茶葉からいれた緑茶を飲む市民の割合について令和４年度調査（参考）と比較すると、増加しています。

茶葉からいれた緑茶を飲む市民の割合（問 23）



＜参考　令和４年度評価指標＞　（茶葉からいれた緑茶を飲みますか）

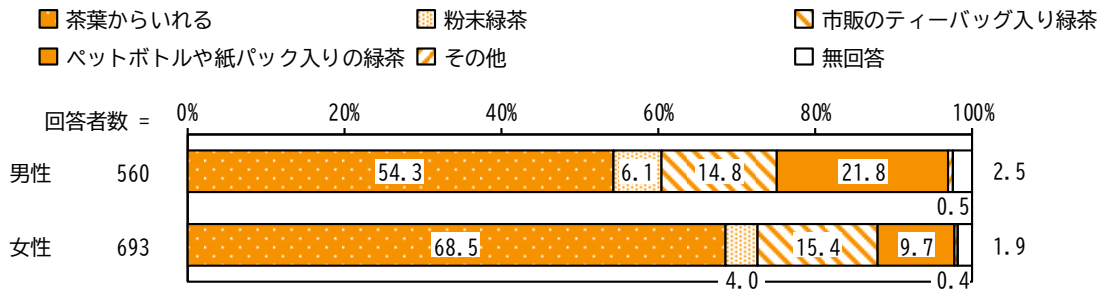
茶葉からいれた緑茶を飲む市民の割合



【性別】

緑茶の飲用方法について性別でみると、男女とも「茶葉からいれる」の割合が最も高く、特に女性で68.5%と高くなっています。一方、男性では「ペットボトルや紙パック入りの緑茶」の割合が女性より高くなっています。

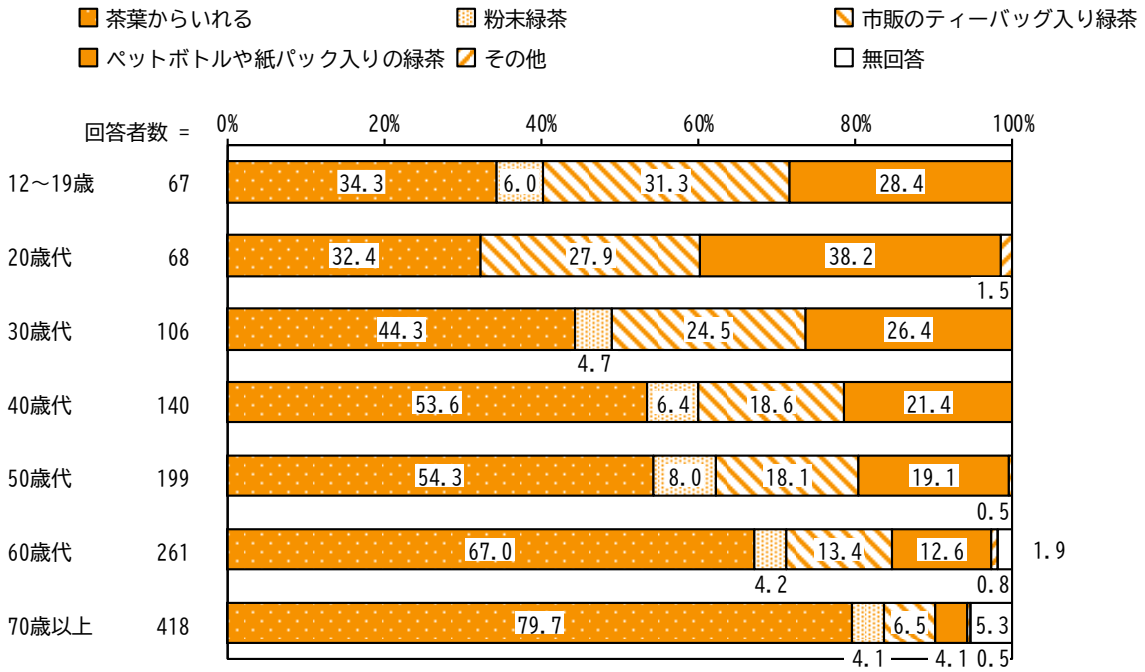
性別　緑茶の飲用方法（問 23）



【年代別】

緑茶の飲用方法について年代別でみると、年代が下がるほど「市販のティーバッグ入り緑茶」の割合が高く、20 歳代から 70 歳以上まで年代が上がるほど「茶葉からいれる」の割合が高く、「ペットボトルや紙パック入りの緑茶」の割合が低くなっています。

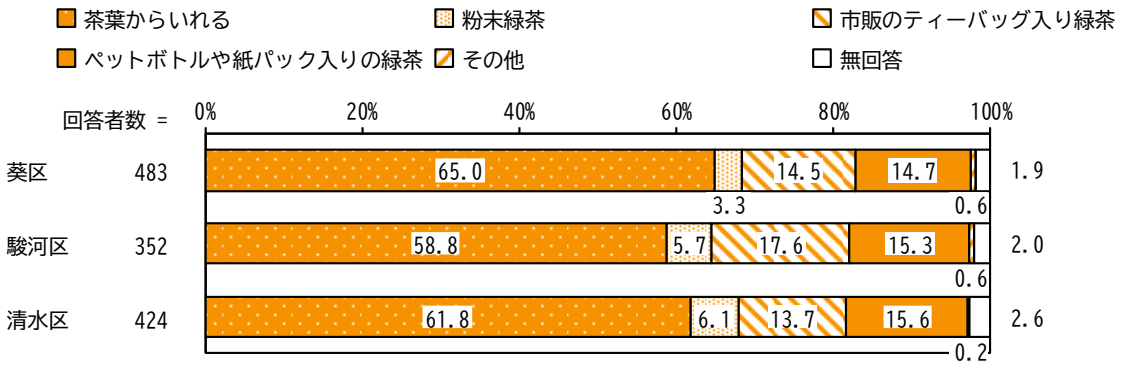
年代別　緑茶の飲用方法（問 23）



【居住地区別】

緑茶の飲用方法について居住地区別でみると、大きな差はみられません。

居住地区別　緑茶の飲用方法（問 23）

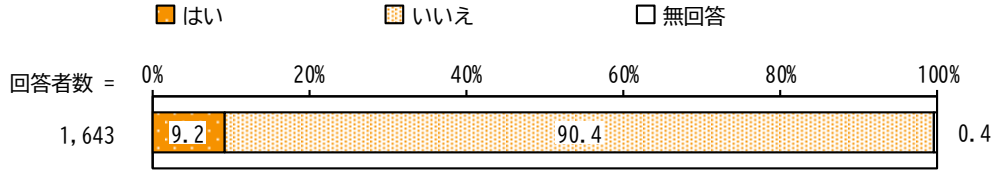


（10）経済的理由の欠食

問 24　あなたの世帯では、過去１年の間に、家族が必要とする食料（菓子などの嗜好品は除く）を経済的な理由で購入できないことがありましたか。（１つにチェック）

「はい」の割合が 9.2%、「いいえ」の割合が 90.4%となっています。

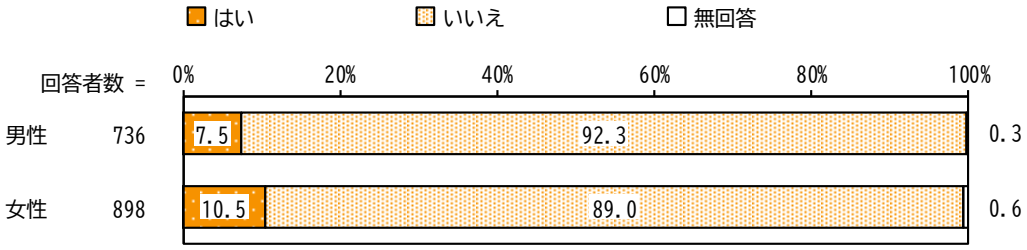
経済的理由の欠食（問 24）



【性別】

経済的理由の欠食について性別でみると、大きな差はみられません。

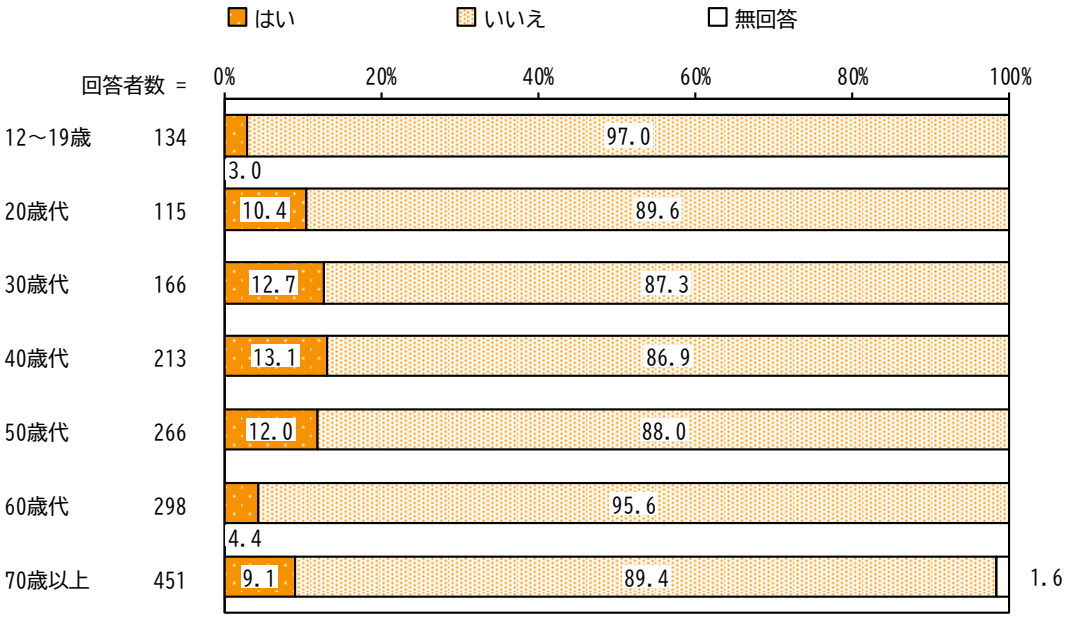
性別　経済的理由の欠食（問 24）



【年代別】

経済的理由の欠食について年代別でみると、「はい」の割合は 30 歳代で 12.7%、40 歳代で 13.1%、50 歳代で 12.0%と、他の年代より高くなっています。

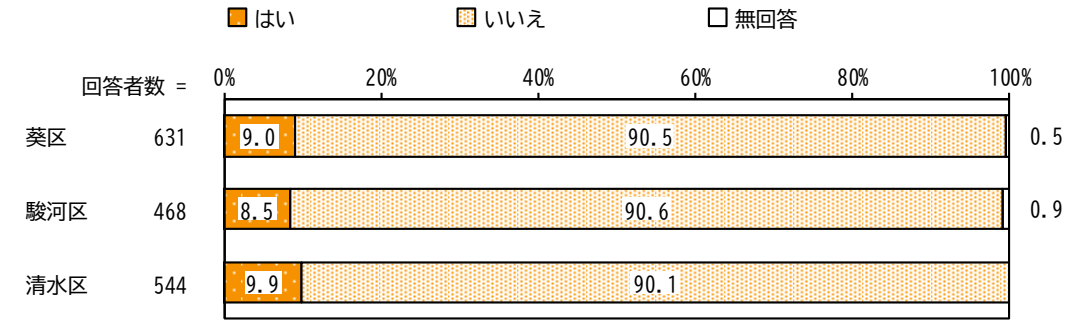
年代別　経済的理由の欠食（問 24）



【居住地区別】

経済的理由の欠食について居住地区別でみると、大きな差はみられません。

居住地区別　経済的理由の欠食（問 24）



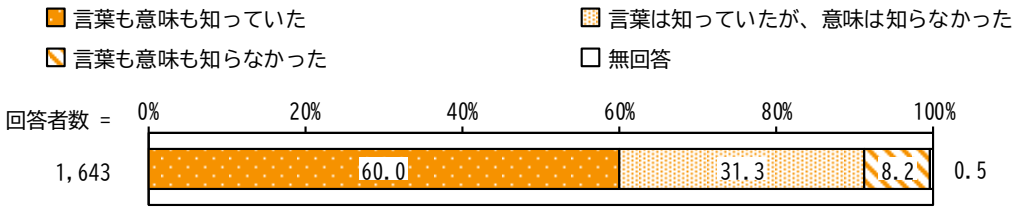
3　食や食育への関心について

（1）食育の認知

問 25　あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていますか。（1つにチェック）

「言葉も意味も知っていた」の割合が 60.0%、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」の割合が 31.3%、「言葉も意味も知らなかった」の割合が 8.2%となっています。

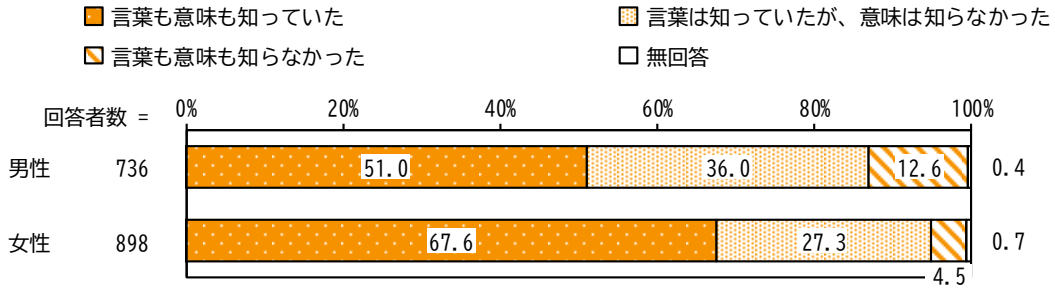
食育の認知（問 25）



【性別】

食育の認知について性別でみると、男性で「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」「言葉も意味も知らなかった」の割合が高く、女性で「言葉も意味も知っていた」の割合が高くなっています。

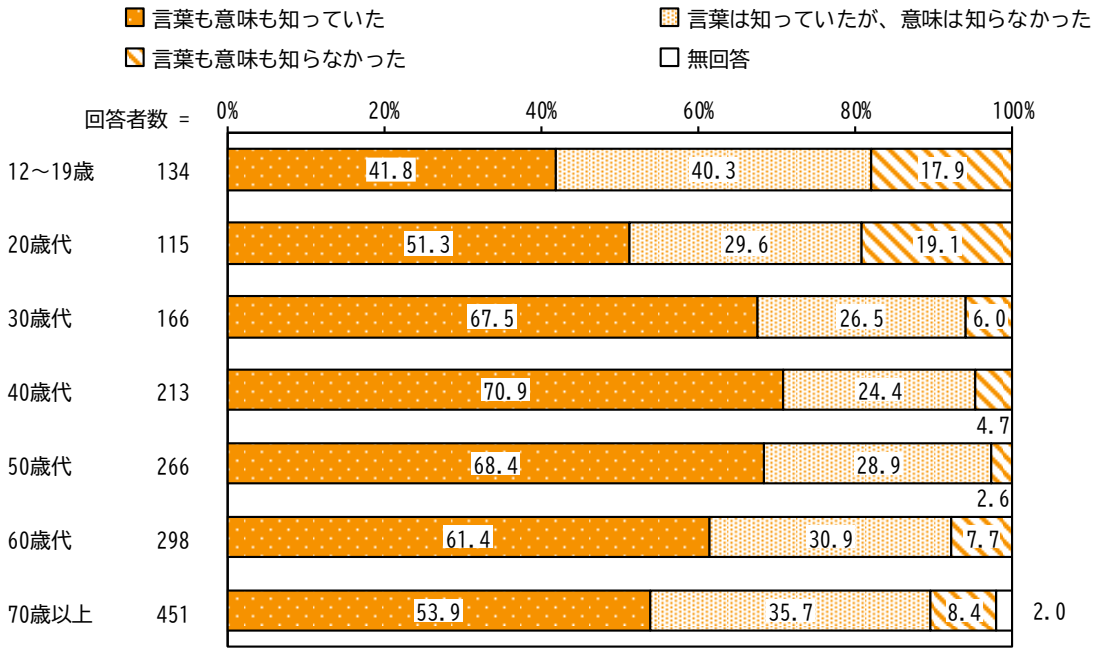
性別　食育の認知（問 25）



【年代別】

食育の認知について年代別でみると、「言葉も意味も知っていた」の割合は 30 歳代から 60 歳代で高く、12～19 歳で 41.8%と最も低くなっています。20 歳代で 51.3%、70 歳以上で 53.9%とやや低くなっています。

年代別　食育の認知（問 25）



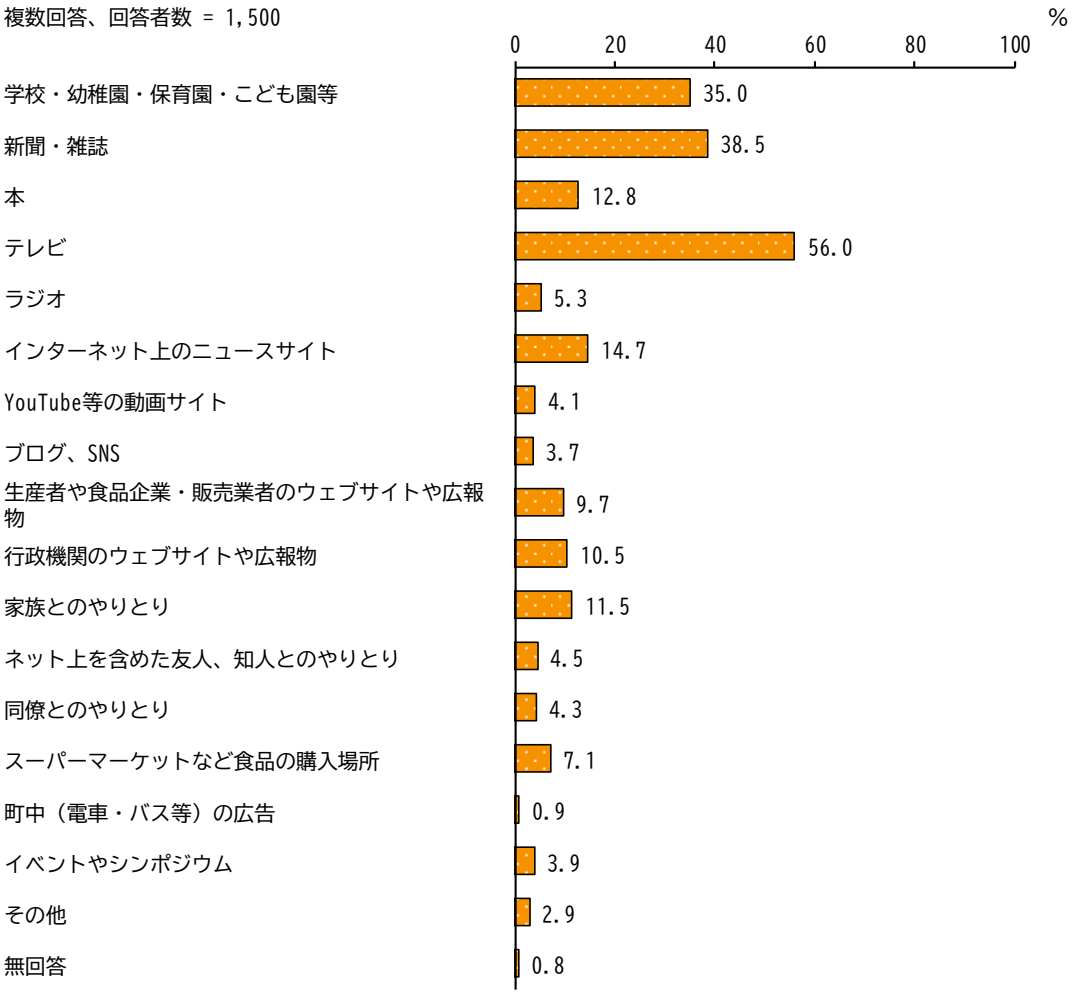
（２）食育の認知経路

問 25 で「言葉も意味も知っていた」「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」と回答した方に伺います。

問 26　「食育」という言葉をどこで知りましたか。（いくつでもチェック）

「テレビ」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「新聞・雑誌」の割合が 38.5%、「学校・幼稚園・保育園・こども園等」の割合が 35.0%となっています。

食育の認知経路（問 26）

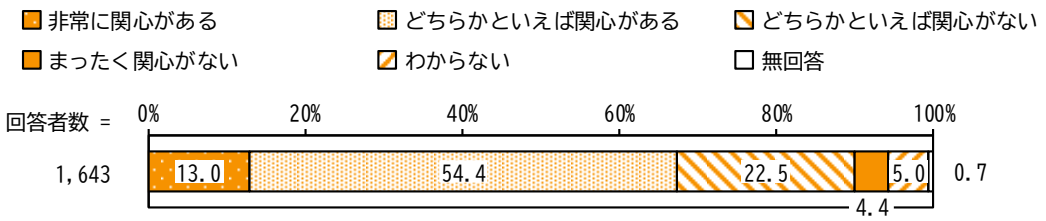


（３）食育への関心

問 27　あなたは、「食育」に関心がありますか。（１つにチェック）

「非常に関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が 67.4%、「どちらかといえば関心がない」「まったく関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が 26.9%となっています。

食育への関心（問 27）

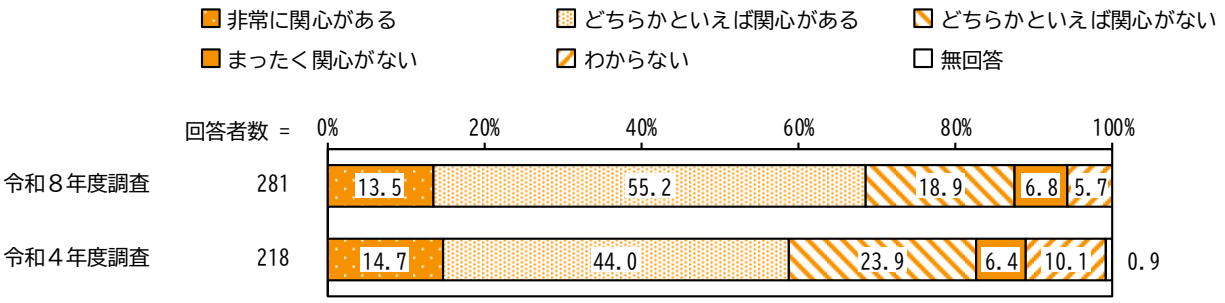


◆評価指標に基づく結果（対象：20～30 歳代）

食育に関心を持つ若い世代の割合（「非常に関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合）は 68.7%となっています。

食育に関心を持つ若い世代の割合について令和４年度調査と比較すると、増加しています。

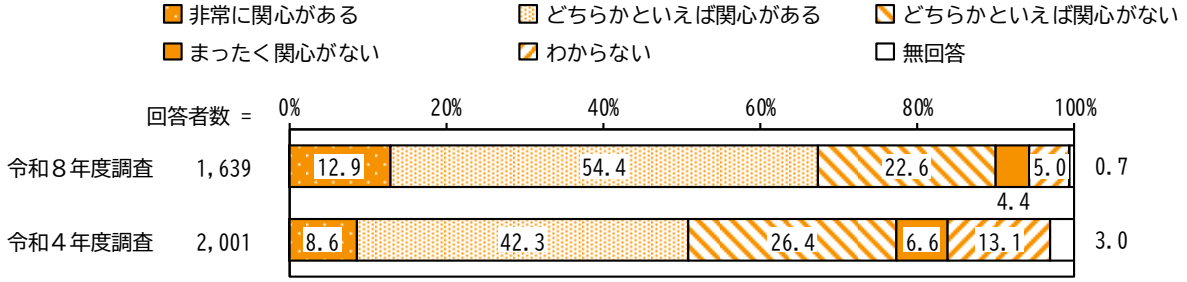
食育に関心を持つ若い世代の割合（問 27）



【経年比較】

食育への関心について令和４年度調査と比較すると、「非常に関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が増加しています。

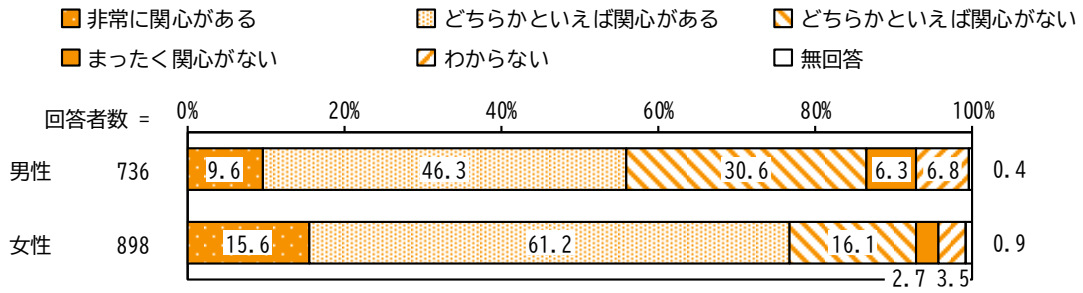
経年比較　食育への関心（問 27）



【性別】

食育への関心について性別でみると、女性で「非常に関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が高くなっています。

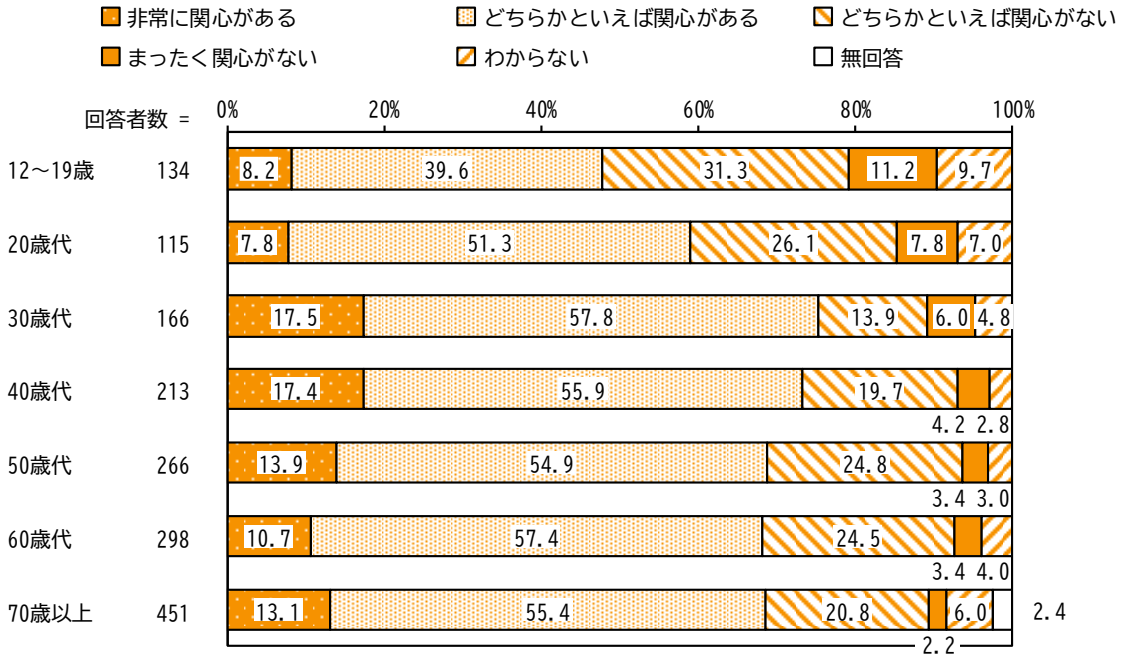
性別　食育への関心（問 27）



【年代別】

食育への関心について年代別でみると、「非常に関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”の割合は、30 歳代・40 歳代で最も高く、12～19 歳・20 歳代では他の年代に比べて低くなっています。

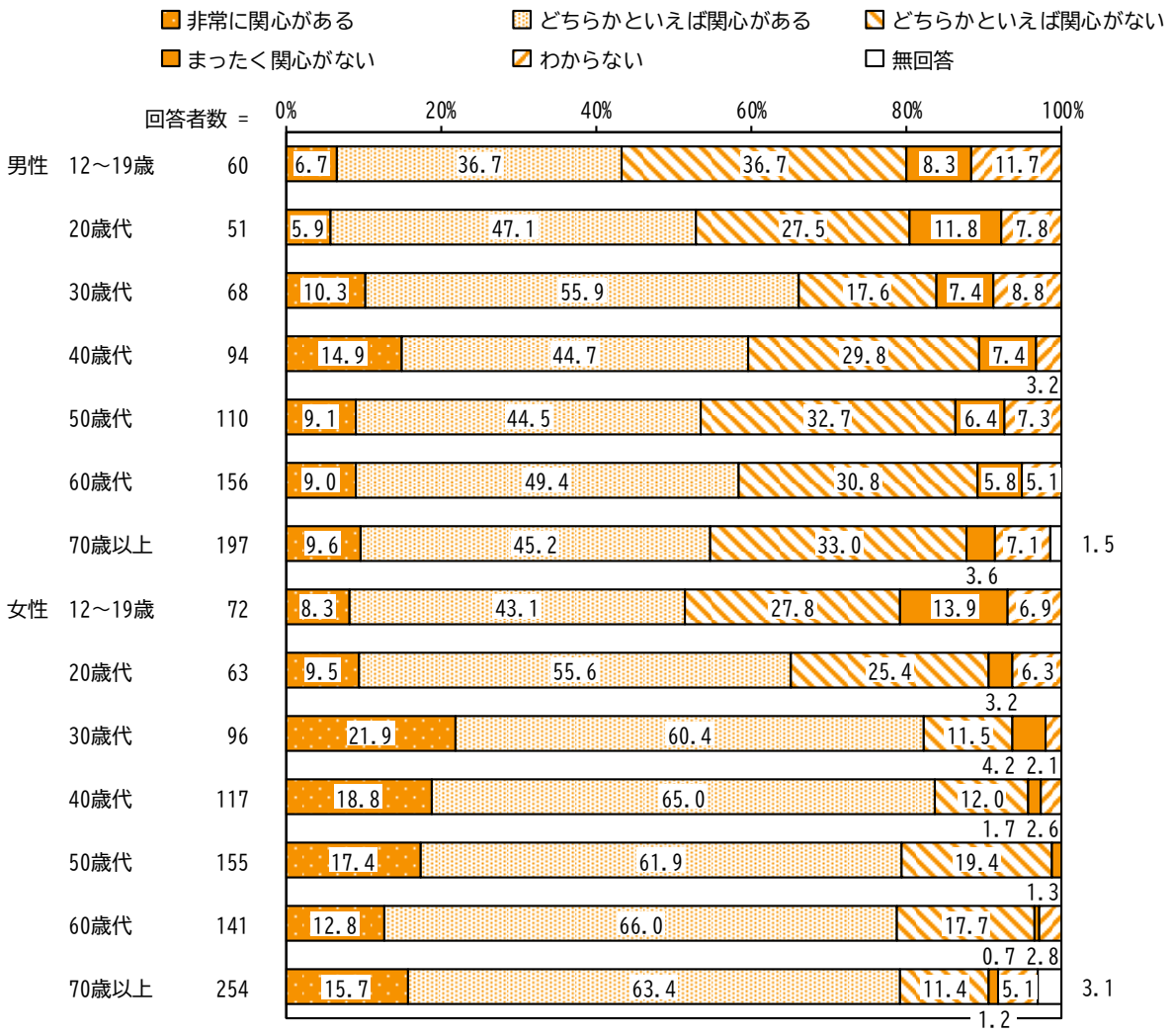
年代別　食育への関心（問 27）



【性年代別】

食育への関心について性年代別でみると、女性の 30 歳代・40 歳代・50 歳代で「非常に関心がある」の割合が高くなっています。男性では、30 歳代で「非常に関心がある」「どちらかといえば関心がある」の割合が他の年代より高いものの、同年代の女性より低くなっています。

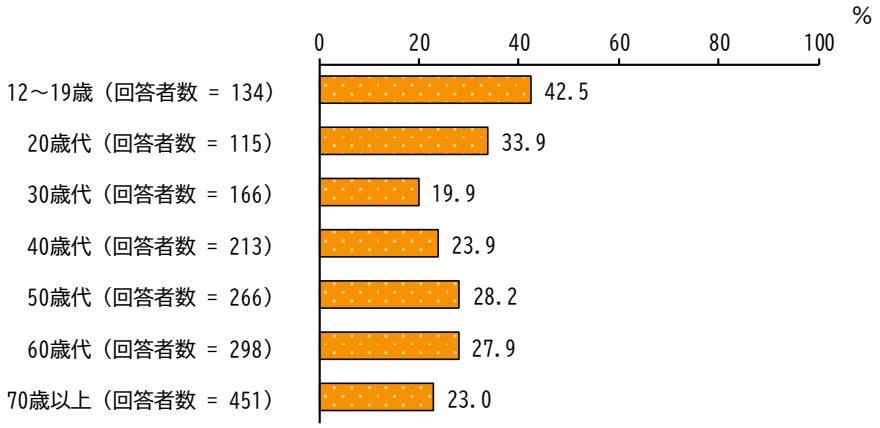
性年代別　食育への関心（問 27）



【関心なし×年代】

食育への関心について「どちらかといえば関心がない」「まったく関心がない」を合わせた“関心がない”の割合を年代別でみると、12～19 歳が 42.5%と最も高くなっています。

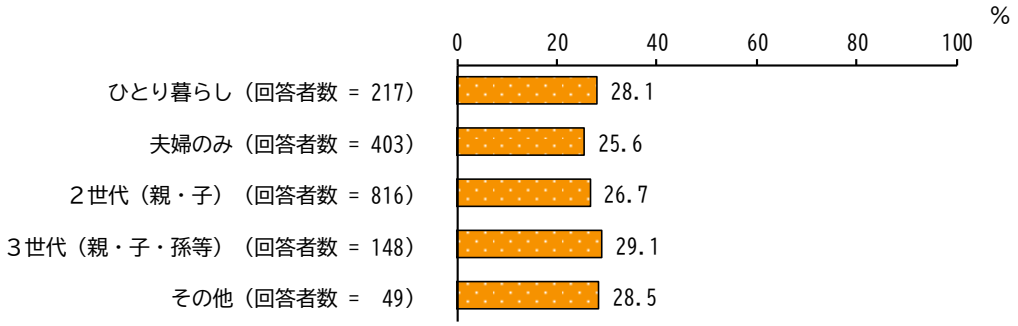
年代別　食育への関心なし（問 27）



【関心なし×世帯構成】

食育への関心について「どちらかといえば関心がない」「まったく関心がない」を合わせた“関心がない”の割合を世帯構成別でみると、大きな差はみられないものの、３世代（親・子・孫等）が 29.1%と最も高くなっています。

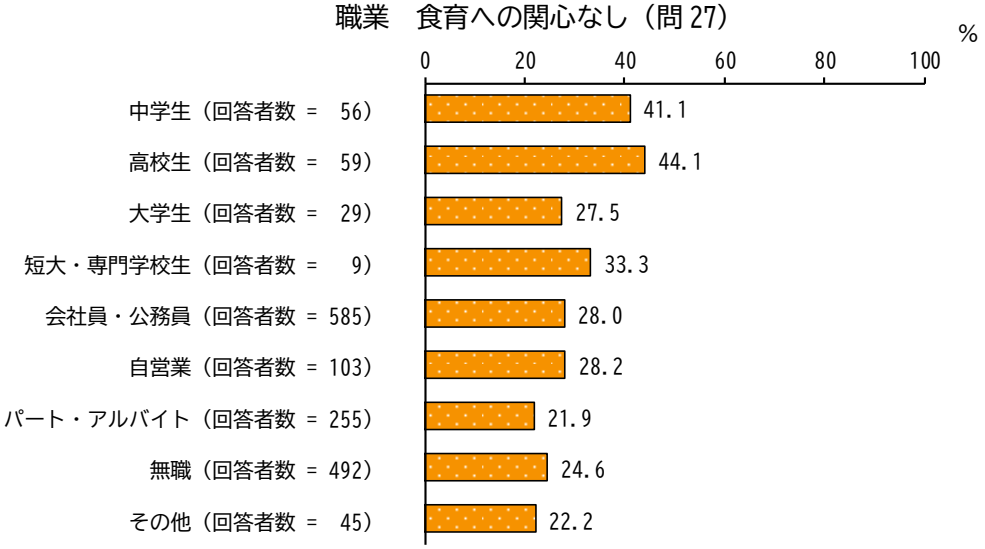
世帯構成　食育への関心なし（問 27）



【関心なし×職業】

食育への関心について「どちらかといえば関心がない」「まったく関心がない」を合わせた“関心がない”の割合を職業別でみると、高校生 44.1%、中学生 41.1%と、中学生・高校生で高くなっています。

職業　食育への関心なし（問 27）



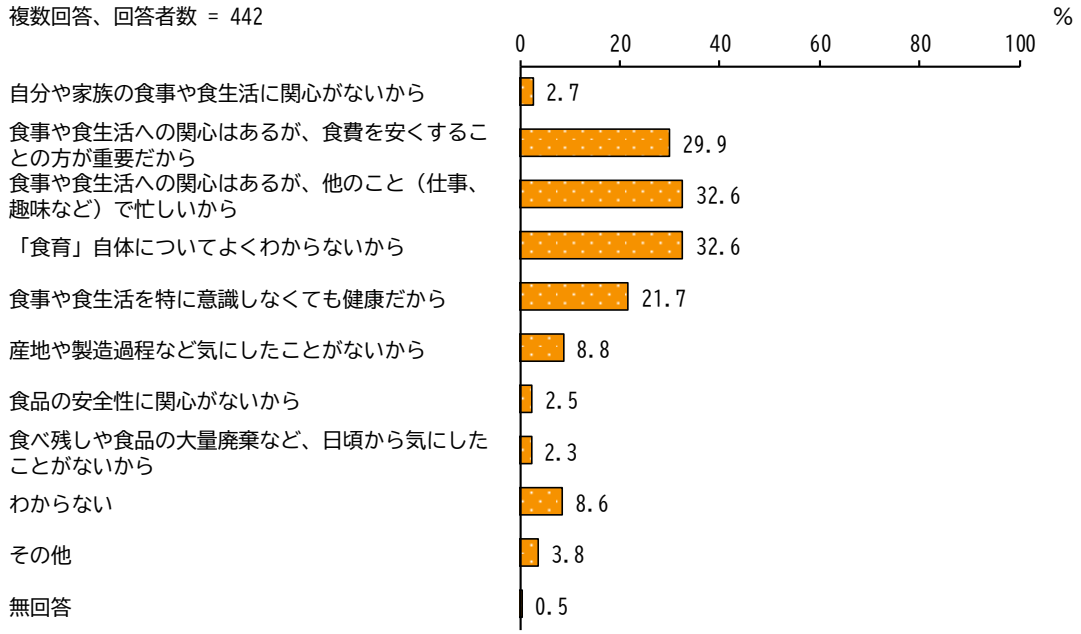
（４）食育への関心がない理由

問 27 で、食育への関心が「どちらかといえば関心がない」「まったく関心がない」を選んだ方に伺います。

問 28　あなたが「食育」に関心がない理由はなんですか。（３つまでチェック）

「食事や食生活への関心はあるが、他のこと（仕事、趣味など）で忙しいから」「「食育」自体についてよくわからないから」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「食事や食生活への関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから」の割合が 29.9%、「食事や食生活を特に意識しなくても健康だから」の割合が 21.7%となっています。

食育への関心がない理由（問 28）



【年代別】

食育に関心がない理由について年代別でみると、年代によって上位の理由が異なります。12～19 歳・70 歳以上では「「食育」自体についてよくわからないから」が最も高くなっています。20 歳代から 50 歳代では「食事や食生活への関心はあるが、他のこと（仕事、趣味など）で忙しいから」が上位となっています。また、30 歳代・50 歳代・60 歳代では「食事や食生活への関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから」も高くなっています。

年代別　食育への関心がない理由（問 28）

単位：%

区分	回答者数（件）	自分や家族の食事や食生活に関心がないから	食事や食生活への関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから	食事や食生活への関心はあるが、他のこと（仕事、趣味など）で忙しいから	「食育」自体についてよくわからないから	食事や食生活を特に意識しなくても健康だから	産地や製造過程など気にしたことがないから	食品の安全性に関心がないから	食べ残しや食品の大量廃棄など、日頃から気にしたことがないから	わからない	その他	無回答
全　体	442	2.7	29.9	32.6	32.6	21.7	8.8	2.5	2.3	8.6	3.8	0.5
12～19歳	57	0.0	8.8	28.1	43.9	33.3	10.5	1.8	3.5	10.5	1.8	0.0
20歳代	39	0.0	25.6	41.0	28.2	23.1	2.6	0.0	0.0	10.3	2.6	0.0
30歳代	33	0.0	48.5	54.5	9.1	9.1	6.1	9.1	6.1	15.2	3.0	0.0
40歳代	51	0.0	25.5	35.3	31.4	21.6	5.9	3.9	2.0	7.8	3.9	0.0
50歳代	75	0.0	30.7	41.3	24.0	14.7	9.3	1.3	2.7	8.0	4.0	0.0
60歳代	83	2.4	42.2	32.5	38.6	14.5	8.4	3.6	1.2	7.2	6.0	0.0
70歳以上	104	9.6	28.8	17.3	37.5	29.8	12.5	1.0	1.9	6.7	3.8	1.9

【肥満度別】

食育に関心がない理由について肥満度別でみると、いずれの区分でも「食事や食生活への関心はあるが、他のこと（仕事、趣味など）で忙しいから」「「食育」自体についてよくわからないから」が上位となっています。普通では「食事や食生活への関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから」も高くなっています。

肥満度別　食育への関心がない理由（問 28）

単位：%

区分	回答者数（件）	自分や家族の食事や食生活に関心がないから	食事や食生活への関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから	食事や食生活への関心はあるが、他のこと（仕事、趣味など）で忙しいから	「食育」自体についてよくわからないから	食事や食生活を特に意識しなくても健康だから	産地や製造過程など気にしたことがないから	食品の安全性に関心がないから	食べ残しや食品の大量廃棄など、日頃から気にしたことがないから	わからない	その他	無回答
全　体	442	2.7	29.9	32.6	32.6	21.7	8.8	2.5	2.3	8.6	3.8	0.5
やせ	58	3.4	20.7	29.3	32.8	22.4	8.6	1.7	0.0	10.3	5.2	0.0
普通	278	3.2	32.0	33.5	32.0	22.7	6.8	1.8	2.9	9.0	4.3	0.4
肥満	103	1.0	29.1	33.0	33.0	19.4	14.6	4.9	1.9	6.8	1.9	1.0

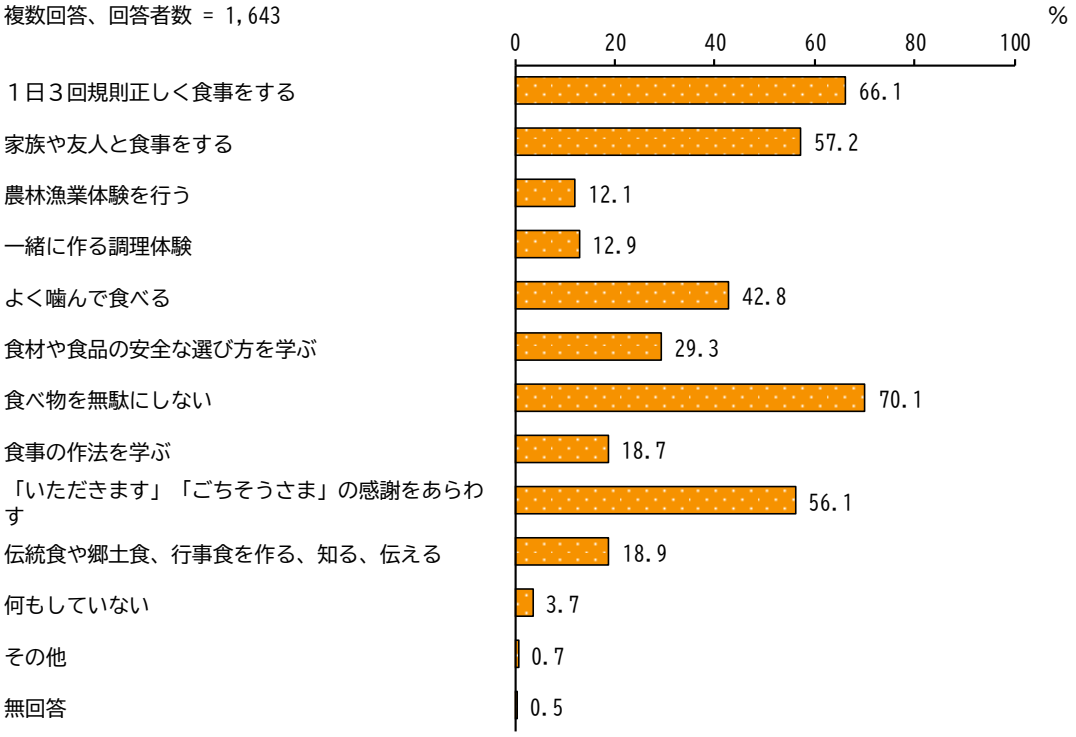
（５）食育の実践内容

問 29　次のようなことも「食育」ですが、あなたが行っていることはありますか。
（いくつでもチェック）

※この設問でお聞きする「農林漁業体験」は、家庭菜園や学校での栽培体験、釣りなどの身近な体験を含みます。

「食べ物を無駄にしない」の割合が 70.1%と最も高く、次いで「１日３回規則正しく食事をする」の割合が 66.1%、「家族や友人と食事をする」の割合が 57.2%となっています。

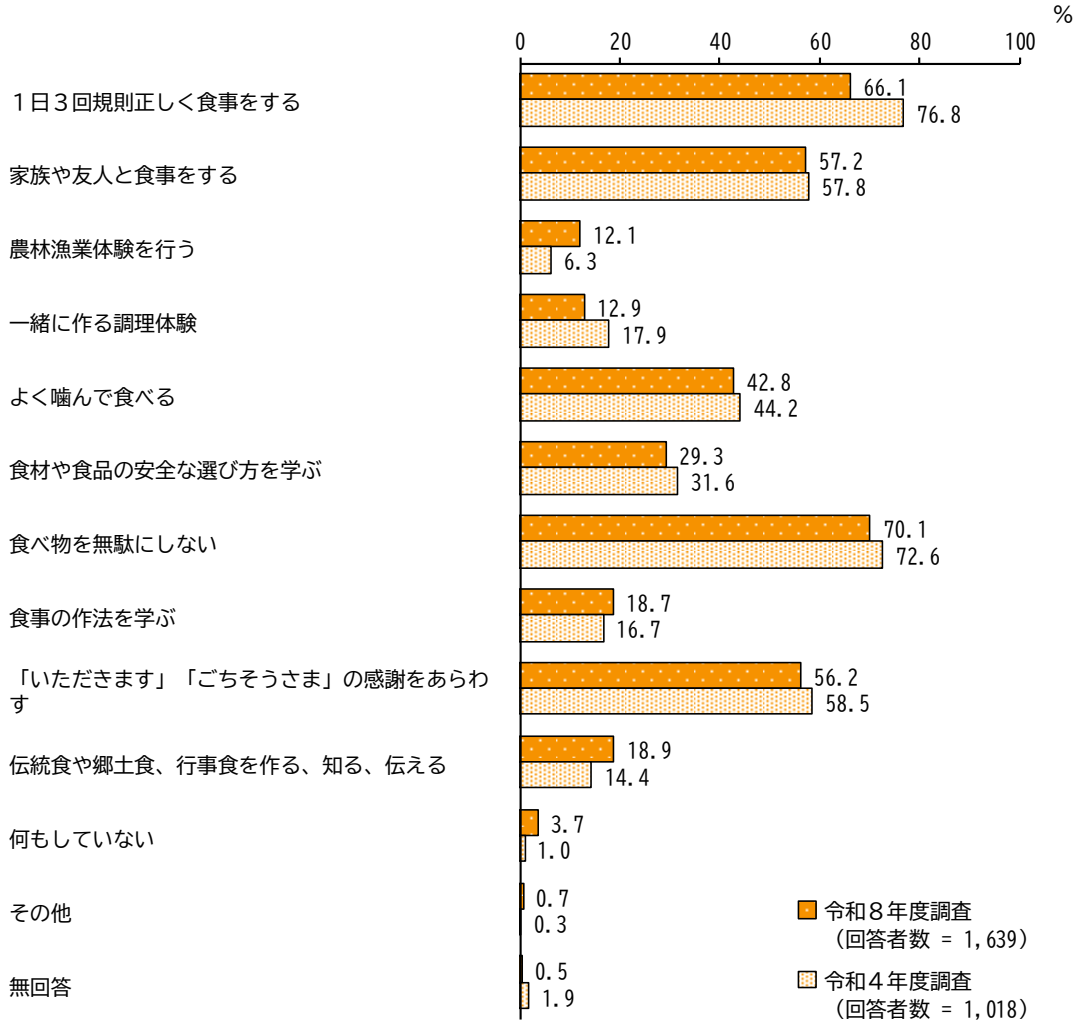
食育の実践内容（問 29）



【経年比較】

食育の実践内容について令和４年度調査と比較すると、「農林漁業体験を行う」の割合が増加しています。一方、「１日３回規則正しく食事をする」「一緒に作る調理体験」の割合が減少しています。

経年比較　食育の実践内容（問 29）



【性別】

食育の実践内容について性別でみると、女性は多くの項目で実践の割合が高くなっています。男性でも「食べ物を無駄にしない」「１日３回規則正しく食事をする」は比較的高いものの、女性より低くなっています。一方、「農林漁業体験を行う」については、男女で大きな差はみられません。

性別　食育の実践内容（問 29）

単位：％

区分	回答者数（件）	１日3回規則正しく食事をする	家族や友人と食事をする	農林漁業体験を行う	一緒に作る調理体験	よく噛んで食べる	食材や食品の安全な選び方を学ぶ	食べ物を無駄にしない	食事の作法を学ぶ	「いただきます」「ごちそうさま」の感謝をあらわす	伝統食や郷土食、行事食を作る、知る、伝える	何もしていない	その他	無回答
全　体	1,643	66.1	57.2	12.1	12.9	42.8	29.3	70.1	18.7	56.1	18.9	3.7	0.7	0.5
男性	736	62.5	47.3	12.6	8.0	35.5	21.1	66.8	13.6	45.8	10.2	6.3	0.1	0.5
女性	898	69.0	65.3	11.6	16.7	49.0	36.2	72.7	23.1	64.7	26.1	1.7	1.1	0.6

【年代別】

食育の実践内容について年代別でみると、20 歳代から 60 歳代では「食べ物を無駄にしない」が最も高くなっています。一方、12～19 歳では「家族や友人と食事をする」、70 歳以上では「１日３回規則正しく食事をする」が最も高くなっています。

年代別　食育の実践内容（問 29）

単位：％

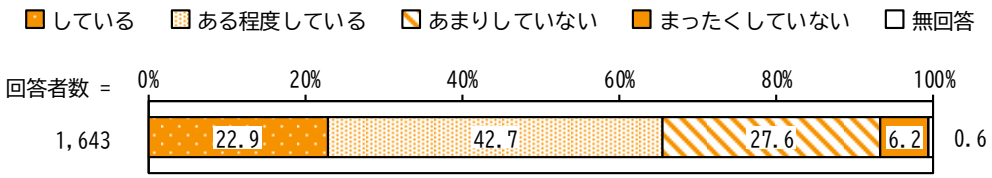
区分	回答者数（件）	１日3回規則正しく食事をする	家族や友人と食事をする	農林漁業体験を行う	一緒に作る調理体験	よく噛んで食べる	食材や食品の安全な選び方を学ぶ	食べ物を無駄にしない	食事の作法を学ぶ	「いただきます」「ごちそうさま」の感謝をあらわす	伝統食や郷土食、行事食を作る、知る、伝える	何もしていない	その他	無回答
全　体	1,643	66.1	57.2	12.1	12.9	42.8	29.3	70.1	18.7	56.1	18.9	3.7	0.7	0.5
12～19歳	134	72.4	74.6	12.7	19.4	44.0	23.9	55.2	18.7	61.9	9.7	3.7	1.5	0.0
20歳代	115	40.0	47.0	3.5	7.0	30.4	7.0	59.1	13.0	52.2	7.0	8.7	0.0	0.0
30歳代	166	57.8	59.6	13.9	22.9	40.4	20.5	63.3	27.7	62.0	12.7	5.4	0.0	0.0
40歳代	213	56.8	61.5	13.6	22.1	35.7	27.7	72.3	24.9	61.0	20.7	3.8	0.5	0.0
50歳代	266	55.6	54.1	11.7	13.5	33.8	28.9	73.3	23.7	48.5	20.3	4.1	0.4	0.0
60歳代	298	70.1	58.1	7.4	7.0	43.6	38.9	74.8	13.4	52.7	17.1	2.7	0.7	0.3
70歳以上	451	81.8	52.8	16.2	8.0	54.5	34.6	73.8	14.6	57.6	26.4	2.2	1.1	1.8

（６）地元産品の購入意識

問 30　あなたは、地元（静岡市）で生産されたものを日頃から購入するようにしていますか。（１つにチェック）

「している」「ある程度している」を合わせた“購入している”の割合が 65.6%、「あまりしていない」「まったくしていない」を合わせた“購入していない”の割合が 33.8%となっています。

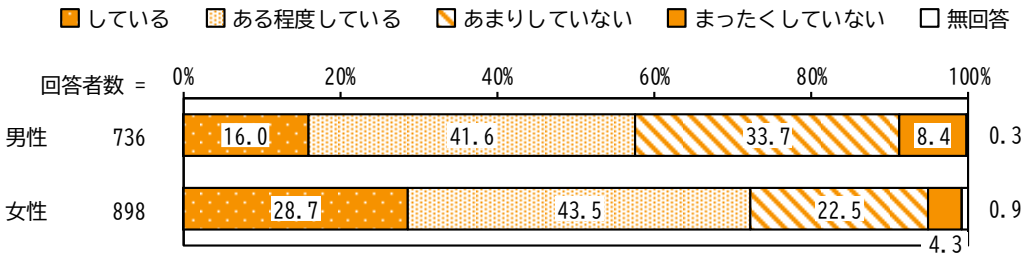
地元産品の購入意識（問 30）



【性別】

地元産品の購入意識について性別でみると、男性で“購入していない”の割合が高くなっています。

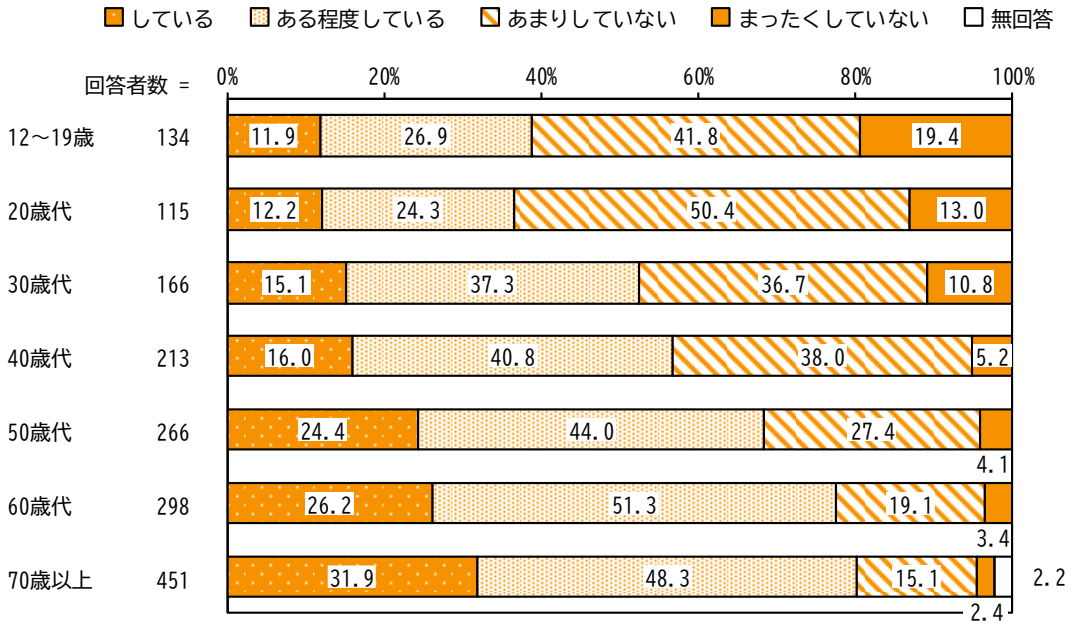
性別　地元産品の購入意識（問 30）



【年代別】

地元産品の購入意識について年代別でみると、20 歳代から 70 歳以上まで年代が上がるほど“購入している”の割合が高くなっています。

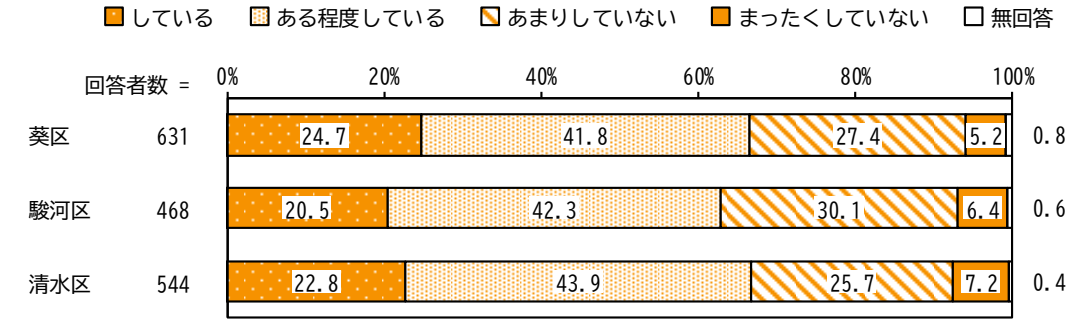
年代別　地元産品の購入意識（問 30）



【居住地区別】

地元産品の購入意識について居住地区別でみると、いずれの地区でも“購入している”の割合が６割を超えています。

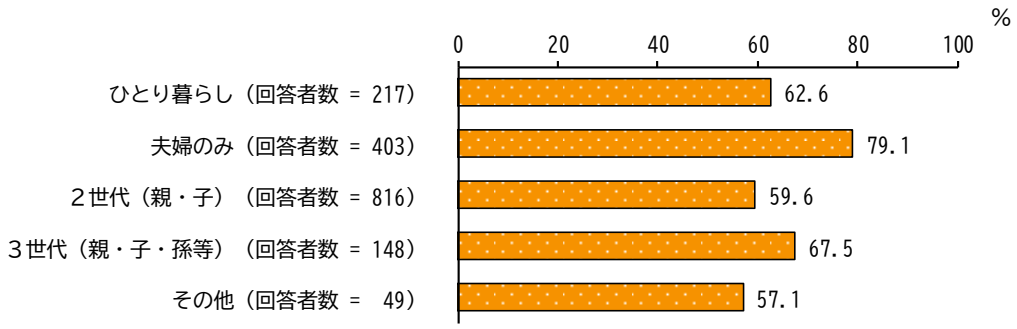
居住地区別　地元産品の購入意識（問 30）



【購入している×世帯構成】

「している」「ある程度している」を合わせた“購入している”の割合を世帯構成別でみると、夫婦のみが 79.1%と最も高くなっています。

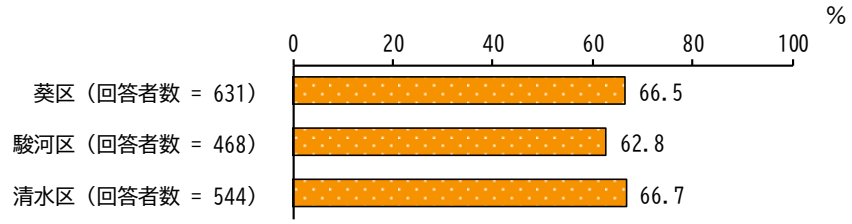
世帯構成別　地元産品を購入している（問 30）



【購入している×居住地区】

「している」「ある程度している」を合わせた“購入している”の割合を居住地区別でみると、大きな差はみられません。

居住地区別　地元産品を購入している（問 30）



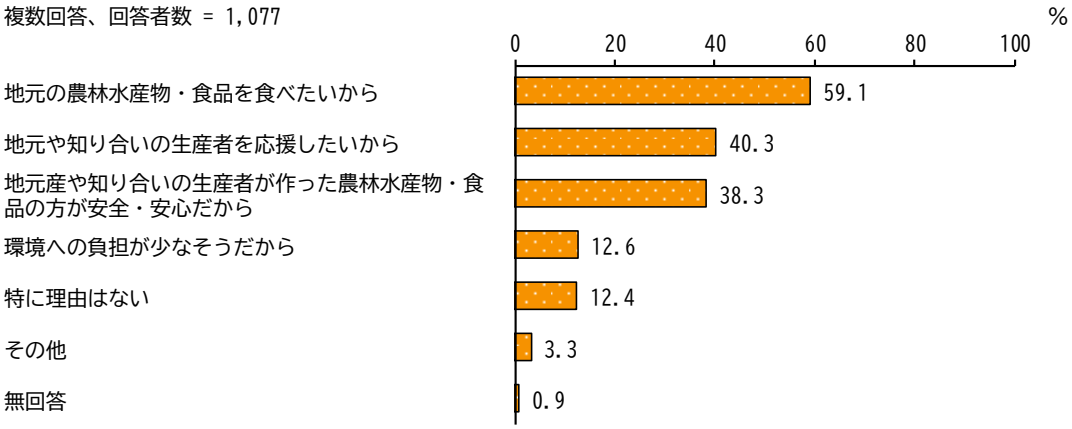
（7）地元産品購入理由

問 30 で「している」「ある程度している」を選んだ方に伺います。

問 31　あなたが、地元（静岡市）で生産されたものを日頃から購入するようになったきっかけはなんですか。（いくつでもチェック）

「地元の農林水産物・食品を食べたいから」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「地元や知り合いの生産者を応援したいから」の割合が 40.3%、「地元産や知り合いの生産者が作った農林水産物・食品の方が安全・安心だから」の割合が 38.3%となっています。

地元産品購入理由（問 31）

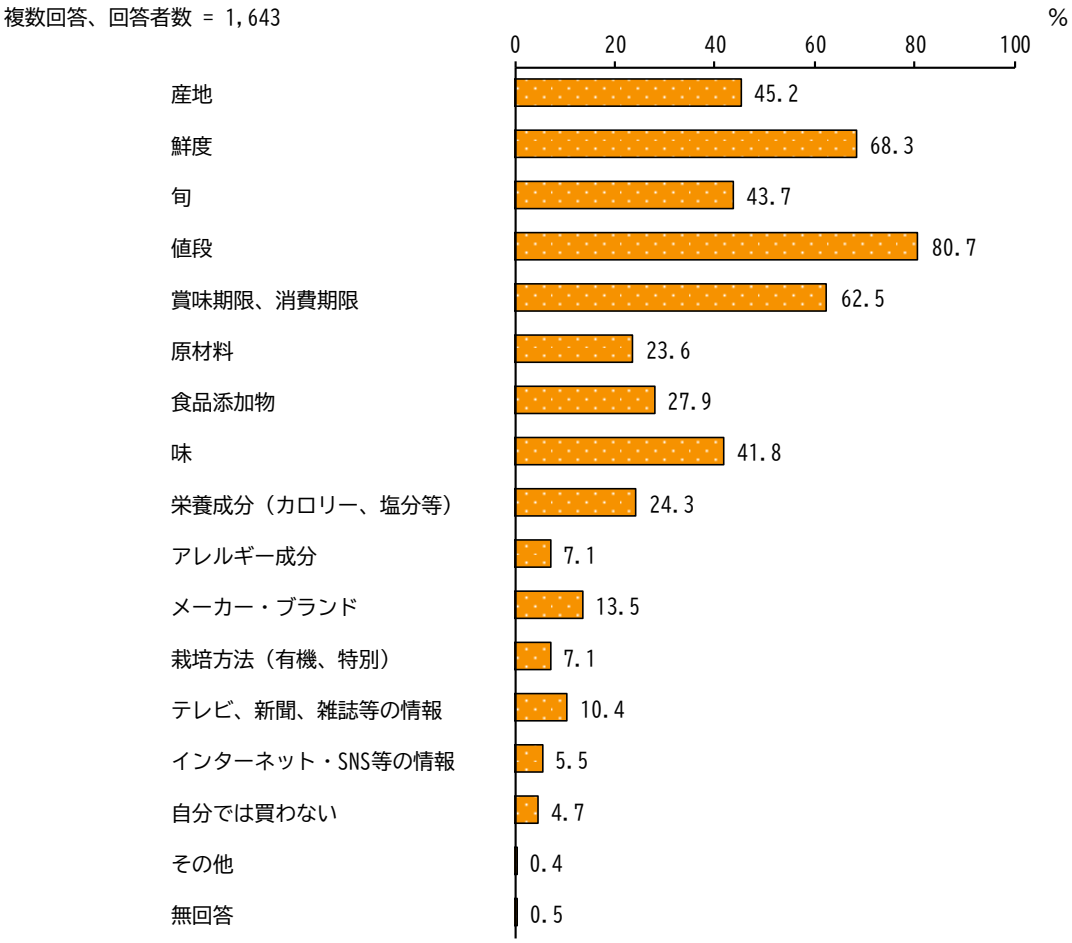


（８）食品購入時の意識

問 32　あなたは、ふだん何を意識して食品を購入していますか。（いくつでもチェック）

「値段」の割合が 80.7%と最も高く、次いで「鮮度」の割合が 68.3%、「賞味期限、消費期限」の割合が 62.5%となっています。

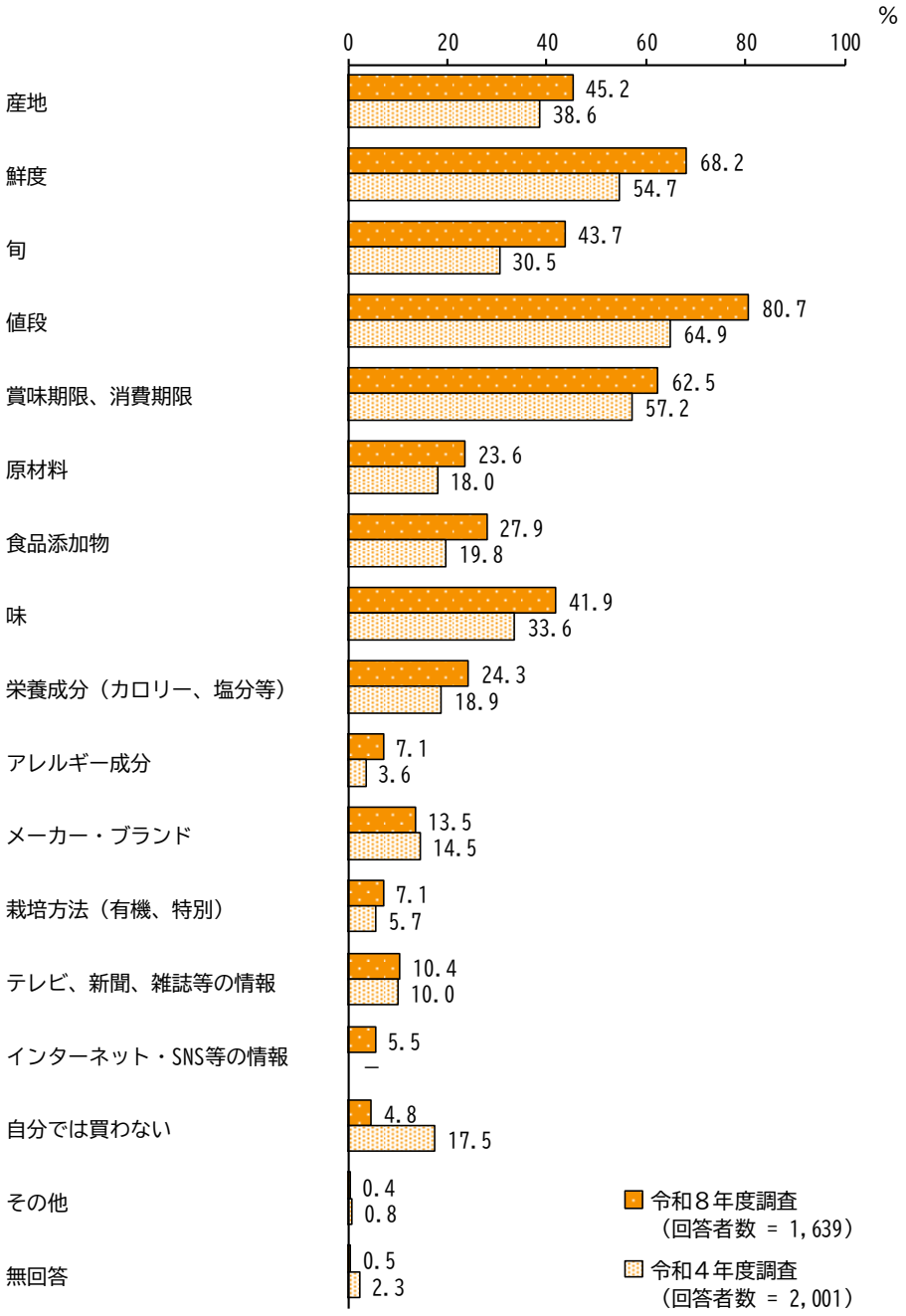
食品購入時の意識（問 32）



【経年比較】

食品購入時の意識について令和４年度調査と比較すると、「産地」「鮮度」「旬」「値段」「賞味期限、消費期限」「原材料」「食品添加物」「味」「栄養成分（カロリー、塩分等）」の割合が増加しています。

経年比較　食品購入時の意識（問 32）



※令和４年度調査では、「インターネット・SNS 等の情報」がありませんでした。

【性別】

食品購入時の意識について性別でみると、男性に比べ女性で「自分では買わない」「その他」を除いたすべての項目で高くなっています。

性別　食品購入時の意識（問 32）

単位：％

区分	回答者数（件）	産地	鮮度	旬	値段	賞味期限、消費期限	原材料	食品添加物	味
全　体	1,643	45.2	68.3	43.7	80.7	62.5	23.6	27.9	41.8
男性	736	34.8	58.3	33.3	76.5	59.0	16.0	18.6	39.1
女性	898	54.2	76.5	52.4	84.2	65.4	29.8	35.5	44.1

区分	栄養成分（カロリー、塩分等）	アレルギー成分	メーカー・ブランド	栽培方法（有機、特別）	テレビ、新聞、雑誌等の情報	インターネット・SNS 等の情報	自分では買わない	その他	無回答
全　体	24.3	7.1	13.5	7.1	10.4	5.5	4.7	0.4	0.5
男性	18.9	4.5	13.0	4.6	8.0	4.2	5.3	0.7	0.7
女性	28.7	9.0	13.8	9.1	12.4	6.5	4.2	0.2	0.4

【年代別】

食品購入時の意識について年代別でみると、多くの年代で「値段」の割合が最も高くなっています。「鮮度」は年代が上がるほど高くなり、70 歳以上では「鮮度」が「値段」を上回っています。

年代別　食品購入時の意識（問 32）

単位：％

区分	回答者数（件）	産地	鮮度	旬	値段	賞味期限、消費期限	原材料	食品添加物	味
全　体	1,643	45.2	68.3	43.7	80.7	62.5	23.6	27.9	41.8
12～19歳	134	20.9	31.3	12.7	59.0	36.6	9.0	8.2	34.3
20歳代	115	21.7	36.5	17.4	76.5	51.3	2.6	7.0	38.3
30歳代	166	37.3	59.6	40.4	86.7	59.0	17.5	25.9	44.0
40歳代	213	43.7	69.5	48.8	85.9	55.4	22.5	22.5	35.7
50歳代	266	46.6	71.1	39.5	85.0	62.4	23.3	24.4	38.0
60歳代	298	54.7	78.9	54.4	84.9	70.5	32.9	33.6	47.7
70歳以上	451	55.0	81.4	53.9	78.3	72.5	29.9	40.6	45.5

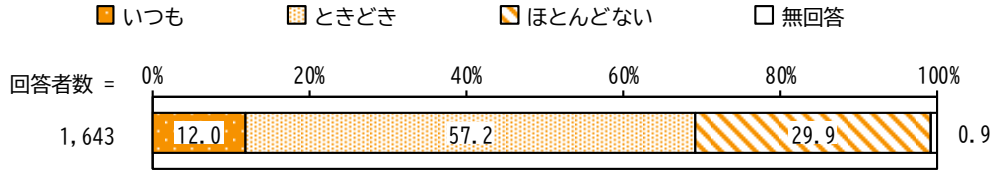
区分	栄養成分（カロリー、塩分等）	アレルギー成分	メーカー・ブランド	栽培方法（有機、特別）	テレビ、新聞、雑誌等の情報	インターネット・SNS 等の情報	自分では買わない	その他	無回答
全　体	24.3	7.1	13.5	7.1	10.4	5.5	4.7	0.4	0.5
12～19歳	14.9	3.0	8.2	1.5	7.5	13.4	30.6	0.0	0.0
20歳代	20.0	5.2	11.3	0.0	5.2	11.3	12.2	0.0	0.0
30歳代	18.7	5.4	12.0	4.2	0.6	6.0	2.4	0.6	0.0
40歳代	20.2	7.5	11.7	5.2	2.8	4.2	0.5	0.5	0.0
50歳代	13.5	7.5	10.9	5.6	6.4	5.3	2.3	1.1	0.0
60歳代	25.5	8.4	18.5	9.1	12.8	3.7	1.3	0.3	0.0
70歳以上	37.7	8.0	15.1	12.0	20.6	3.3	1.8	0.2	2.0

（９）「食」に関する情報収集の行動

問 33　あなたは「食」に関する情報を得るために行動していますか。（１つにチェック）

「いつも」の割合が 12.0%、「ときどき」の割合が 57.2%、「ほとんどない」の割合が 29.9%となっています。

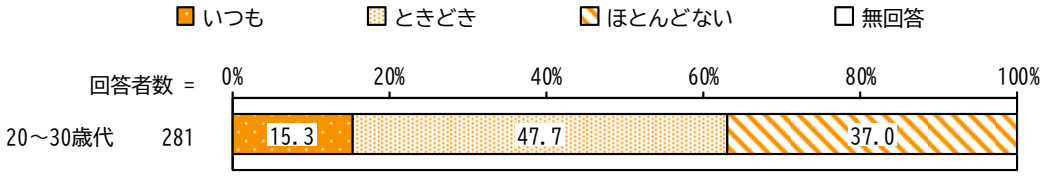
「食」に関する情報収集の行動（問 33）



◆評価指標に基づく結果　（対象：20～30 歳代）

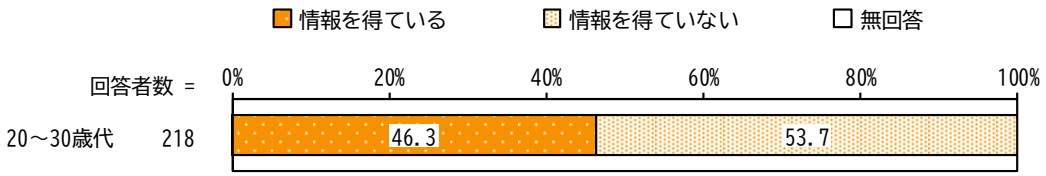
食に関する情報を得るために行動をする若い世代の割合（「いつも」と「ときどき」を合わせた割合）は 63.0%となっています。食に関する情報を得るために行動をする若い世代の割合について令和４年度調査（参考）と比較すると、増加しています。

食に関する情報を得るために行動をする若い世代の割合（問 33）



＜参考　令和４年度評価指標＞

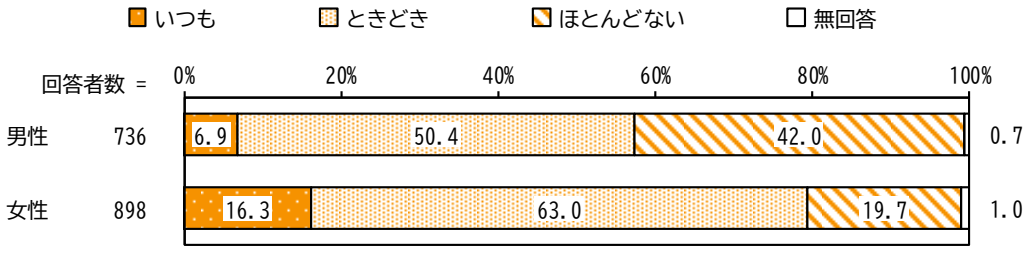
食に関する情報を得るために行動をする若い世代の割合



【性別】

「食」に関する情報収集の行動について性別でみると、男性で「ほとんどない」の割合が高く、女性で「いつも」「ときどき」の割合が高くなっています。

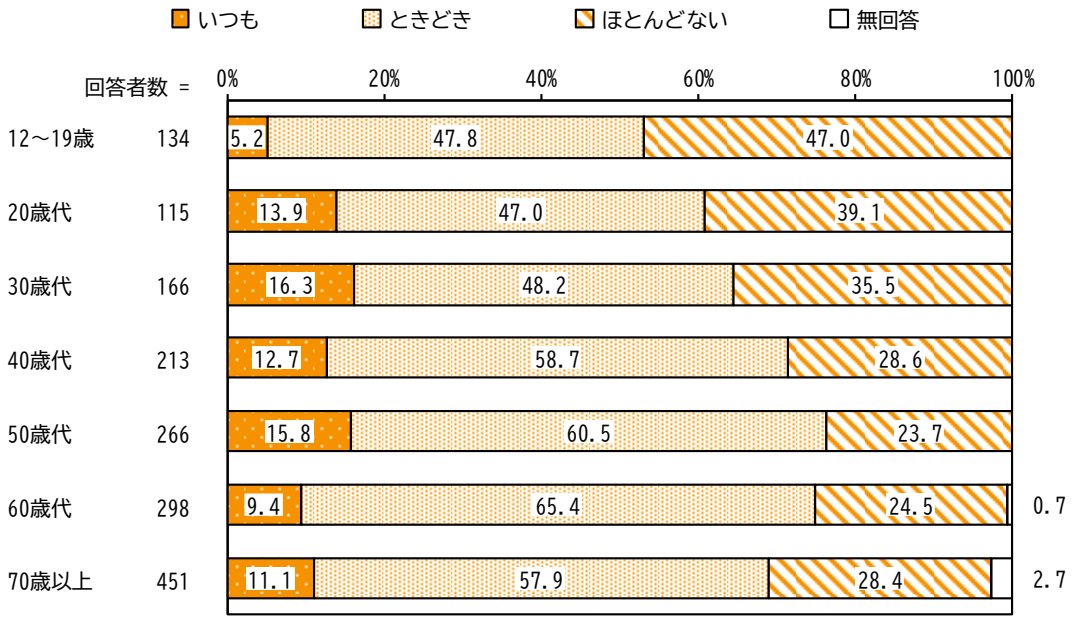
性別　「食」に関する情報収集の行動（問 33）



【年代別】

「食」に関する情報収集の行動について年代別でみると、「いつも」と「ときどき」を合わせた割合は、12～19 歳から 50 歳代まで年代が上がるにつれて高くなり、50 歳代で最も高くなっています。60 歳代・70 歳以上では低くなっています。

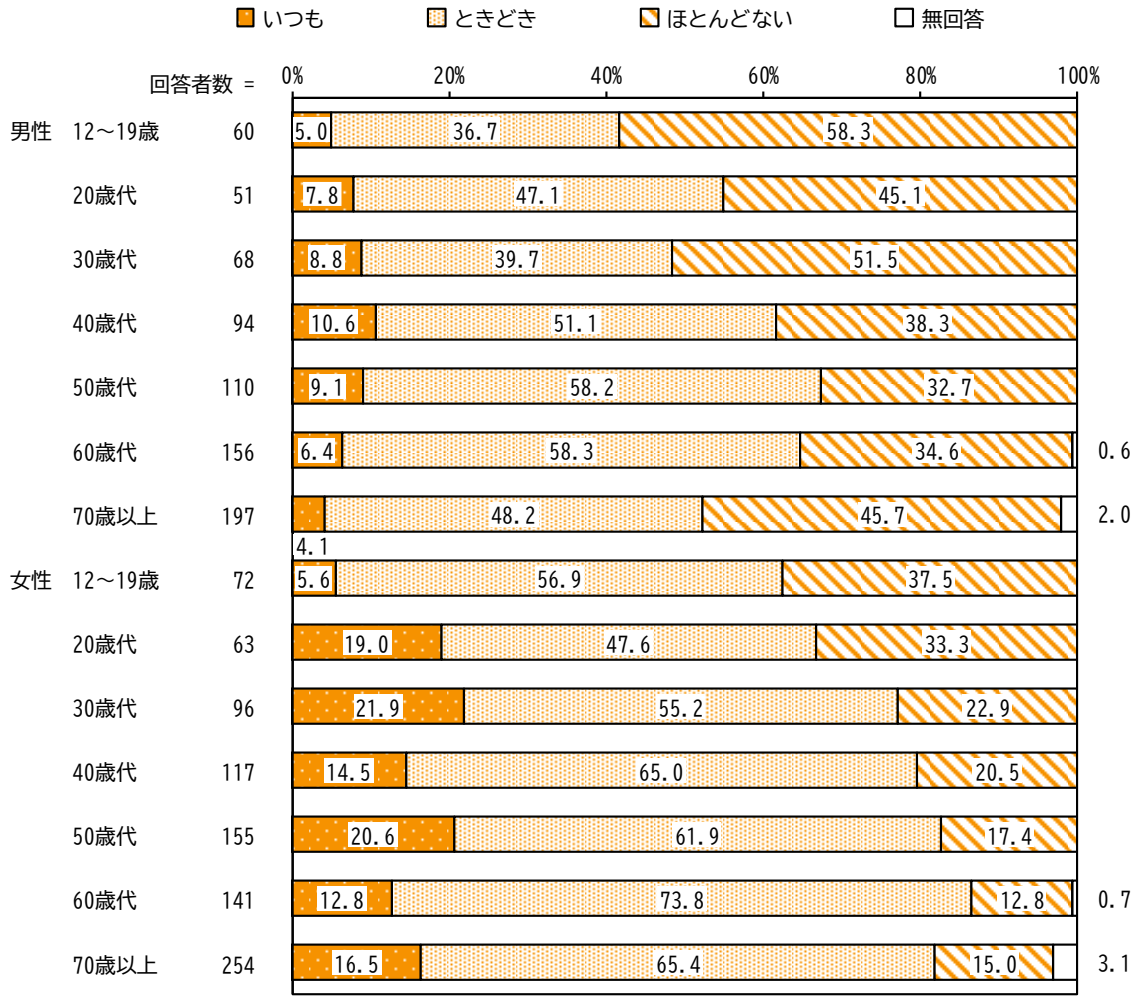
年代別　「食」に関する情報収集の行動（問 33）



【性年代別】

「食」に関する情報収集の行動について性年代別でみると、「いつも」の割合はすべての年代で女性が男性より高くなっています。

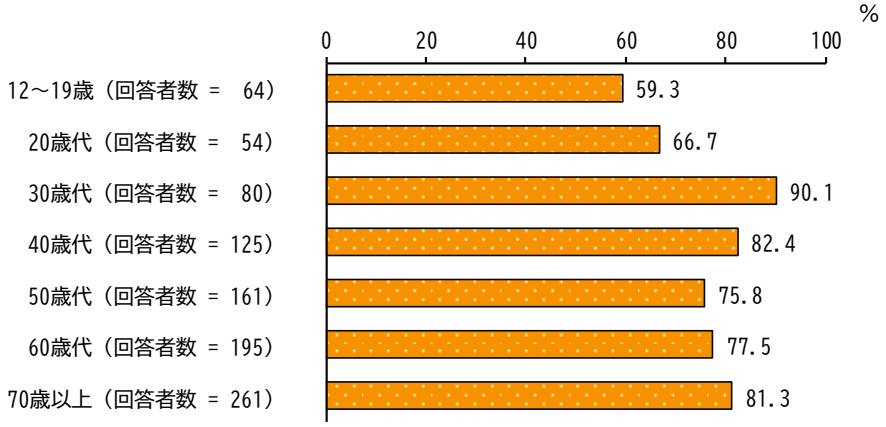
性年代別　「食」に関する情報収集の行動（問 33）



【問 27 食育に関心がある×問 33「食」に関する情報収集の行動なし×年代】

問 33 で「食」に関する情報収集の行動について「ほとんどない」と回答した人のうち、問 27 の食育に関心があると回答した割合を年代別でみると、30 歳代が 90.1%と最も高くなっています。

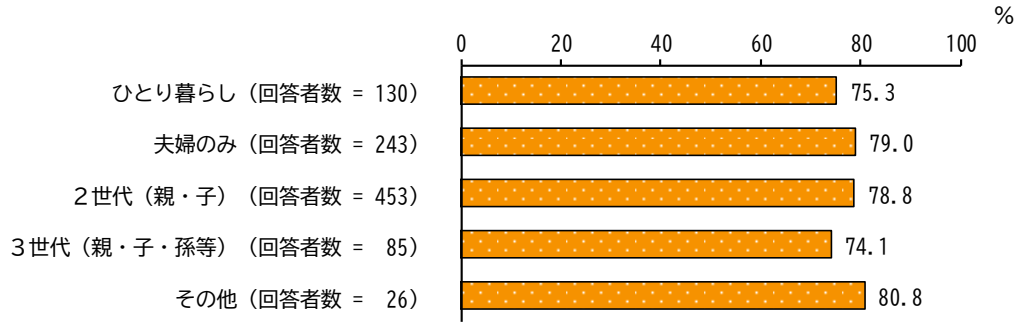
年代別　食育への関心あり×「食」に関する情報収集の行動なし（問 33）



【問 27 食育に関心がある×問 33「食」に関する情報収集の行動なし×世帯構成別】

問 33 で「食」に関する情報収集の行動について「ほとんどない」と回答した人のうち、問 27 の食育に関心があると回答した割合を世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

世帯構成別　食育への関心あり×「食」に関する情報収集の行動なし（問 33）



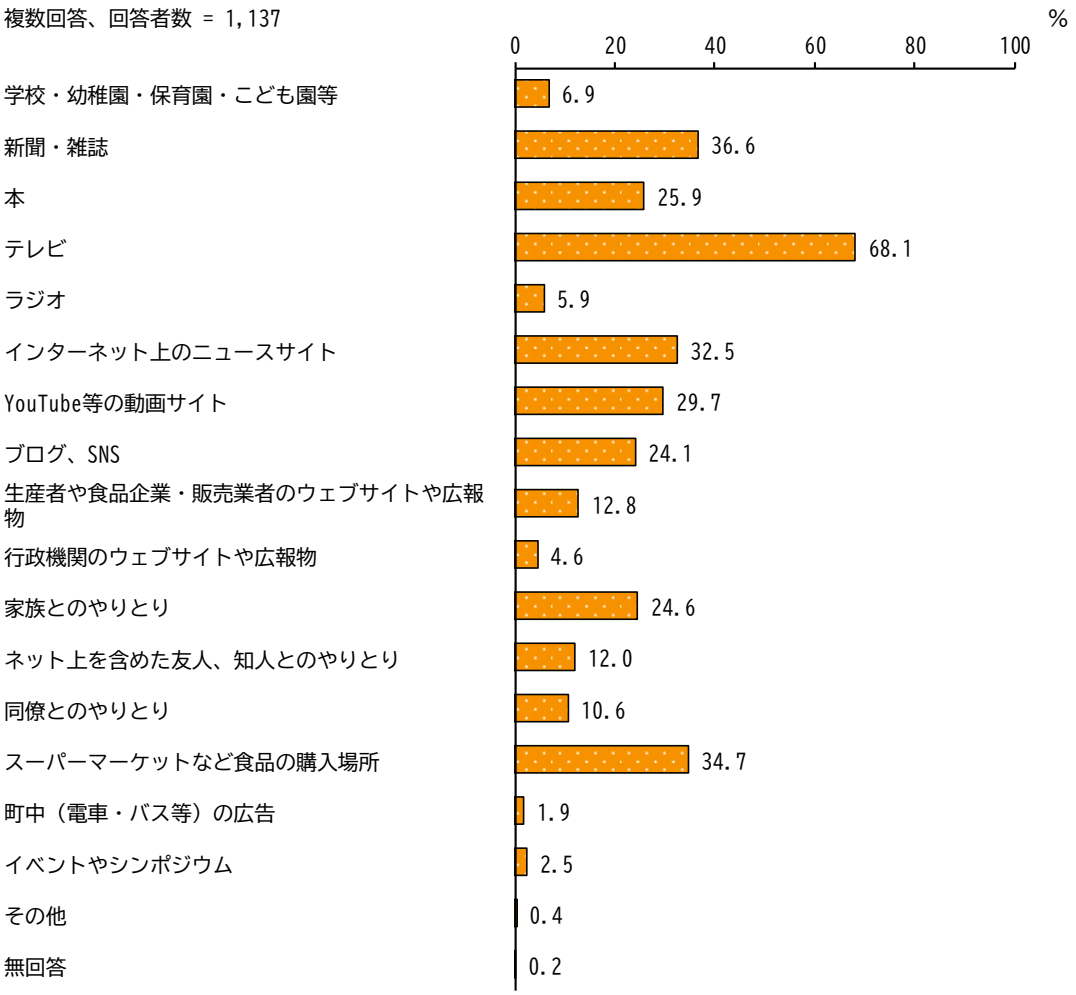
（10）「食」に関する情報収集先

問 33 で「いつも」「ときどき」を選んだ方に伺います。

問 34　あなたは、「食」に関する情報をどこで得ていますか。（いくつでもチェック）

「テレビ」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「新聞・雑誌」の割合が 36.6%、「スーパーマーケットなど食品の購入場所」の割合が 34.7%となっています。

「食」に関する情報収集先（問 34）



【性別】

「食」に関する情報収集先について性別でみると、男女とも「テレビ」が最も高くなっています。次いで、男性では「インターネット上のニュースサイト」「新聞・雑誌」、女性では「スーパーマーケットなど食品の購入場所」「新聞・雑誌」の割合が高くなっています。

性別　「食」に関する情報収集先（問 34）

単位：％

区分	回答者数（件）	学校・幼稚園・保育園・こども園等	新聞・雑誌	本	テレビ	ラジオ	インターネット上のニュースサイト	YouTube 等の動画サイト	ブログ、SNS	生産者や食品企業・販売業者のウェブサイトや広報物
全　体	1,137	6.9	36.6	25.9	68.1	5.9	32.5	29.7	24.1	12.8
男性	422	4.7	34.1	19.4	64.0	8.8	36.7	32.5	15.9	12.1
女性	712	8.1	37.9	29.6	70.4	4.2	30.2	28.1	29.1	13.3

区分	行政機関のウェブサイトや広報物	家族とのやりとり	ネット上を含めた友人、知人とのやりとり	同僚とのやりとり	スーパーマーケットなど食品の購入場所	町中（電車・バス等）の広告	イベントやシンポジウム	その他	無回答
全　体	4.6	24.6	12.0	10.6	34.7	1.9	2.5	0.4	0.2
男性	4.5	23.5	9.0	6.2	26.8	1.4	1.2	0.7	0.0
女性	4.6	25.3	13.8	13.2	39.3	2.2	3.2	0.3	0.3

【年代別】

「食」に関する情報収集先について年代別でみると、年代によって異なります。12～19 歳・20 歳代では「YouTube などの動画サイト」「ブログ・SNS」が上位となっています。30 歳代・40 歳代では「テレビ」とインターネット系の割合が高くなっています。50 歳代以上では「テレビ」が最も高く、70 歳以上では「新聞・雑誌」も高くなっています。また、60 歳代では「スーパーマーケットなどの食品の購入場所」も上位となっています。

年代別　「食」に関する情報収集先（問 34）

単位：％

区分	回答者数（件）	学校・幼稚園・保育園・こども園等	新聞・雑誌	本	テレビ	ラジオ	インターネット上のニュースサイト	YouTube 等の動画サイト	ブログ、SNS	生産者や食品企業・販売業者のウェブサイトや広報物
全　体	1,137	6.9	36.6	25.9	68.1	5.9	32.5	29.7	24.1	12.8
12～19歳	71	33.8	2.8	9.9	47.9	1.4	21.1	49.3	47.9	0.0
20歳代	70	12.9	8.6	14.3	37.1	2.9	18.6	50.0	52.9	2.9
30歳代	107	16.8	10.3	27.1	48.6	2.8	34.6	35.5	48.6	6.5
40歳代	152	8.6	17.8	21.7	50.0	2.6	49.3	34.9	37.5	13.2
50歳代	203	4.9	31.5	21.7	67.0	6.9	43.3	33.0	30.5	7.9
60歳代	223	0.9	42.6	24.7	76.7	8.5	41.7	25.1	9.4	16.1
70歳以上	311	1.0	67.8	37.3	89.7	7.7	15.8	17.4	3.5	20.9

区分	行政機関のウェブサイトや広報物	家族とのやりとり	ネット上を含めた友人、知人とのやりとり	同僚とのやりとり	スーパーマーケットなど食品の購入場所	町中（電車・バス等）の広告	イベントやシンポジウム	その他	無回答
全　体	4.6	24.6	12.0	10.6	34.7	1.9	2.5	0.4	0.2
12～19歳	0.0	29.6	12.7	1.4	12.7	1.4	0.0	0.0	0.0
20歳代	1.4	12.9	12.9	8.6	8.6	5.7	1.4	0.0	0.0
30歳代	3.7	30.8	4.7	8.4	22.4	0.0	0.0	0.0	0.0
40歳代	3.3	15.1	9.2	9.9	27.0	1.3	3.3	1.3	0.0
50歳代	2.0	20.2	12.3	12.3	29.6	0.5	3.0	1.0	0.0
60歳代	5.8	29.6	12.6	11.7	44.4	1.8	1.3	0.0	0.0
70歳以上	8.0	28.0	14.8	12.2	49.8	3.2	4.2	0.3	0.6

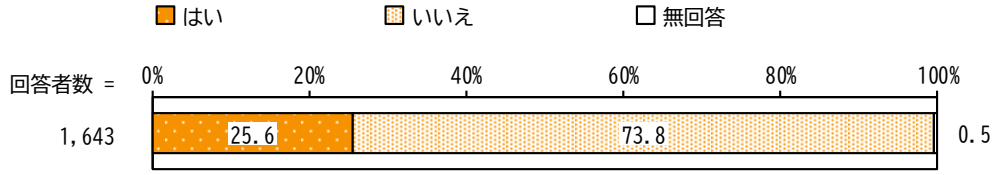
４　農林漁業体験について

（１）農林漁業体験の有無

問 35　あなたは、これまで農林漁業体験に参加したことがありますか。（１つにチェック）

農林漁業体験をしたことがある市民の割合は 25.6%、したことがない市民の割合は 73.8%となっています。

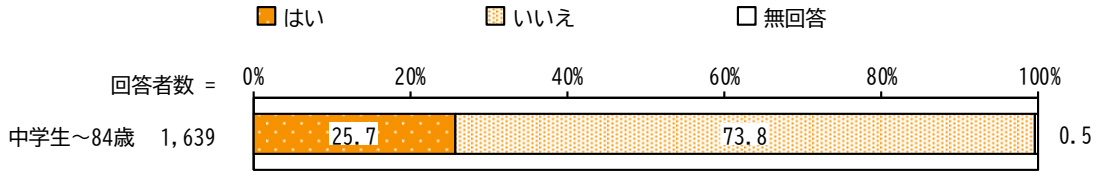
農林漁業体験の有無（問 35）



◆評価指標に基づく結果（対象：中学生～84 歳）

農林漁業体験をしたことがある市民の割合は 25.7%となっています。

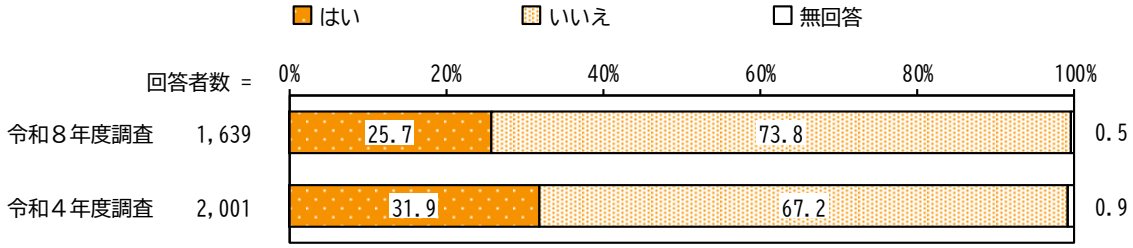
農林漁業体験をしたことがある市民の割合　農林漁業体験の有無（問 35）



【経年比較】

農林漁業体験の有無について令和４年度調査と比較すると、農林漁業体験をしたことがある割合が減少しています。

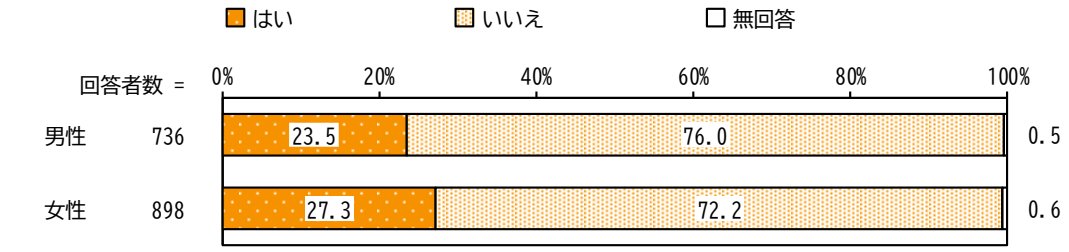
経年比較　農林漁業体験の有無（問 35）



【性別】

農林漁業体験の有無について性別でみると、男女ともに農林漁業体験を「したことがない」割合が７割を超えています。そのなかで、女性は「したことがある」割合が男性よりやや高くなっています。

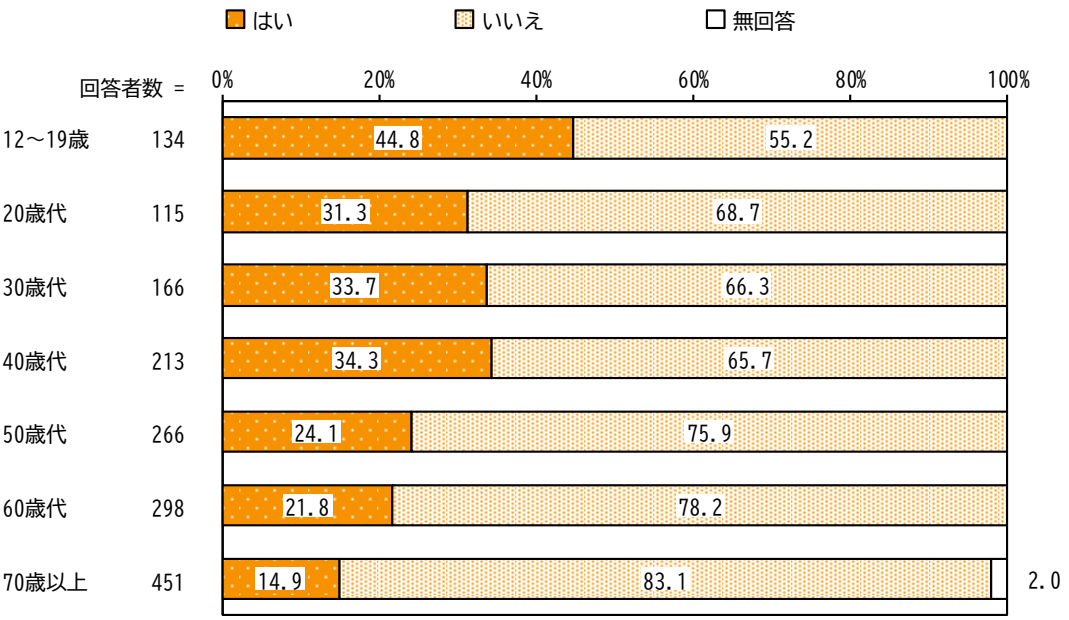
性別　農林漁業体験の有無（問 35）



【年代別】

農林漁業体験の有無について年代別でみると、農林漁業体験を「したことがある」割合は 12～19 歳で 44.8%と最も高く、70 歳以上で 14.9%と最も低くなっています。

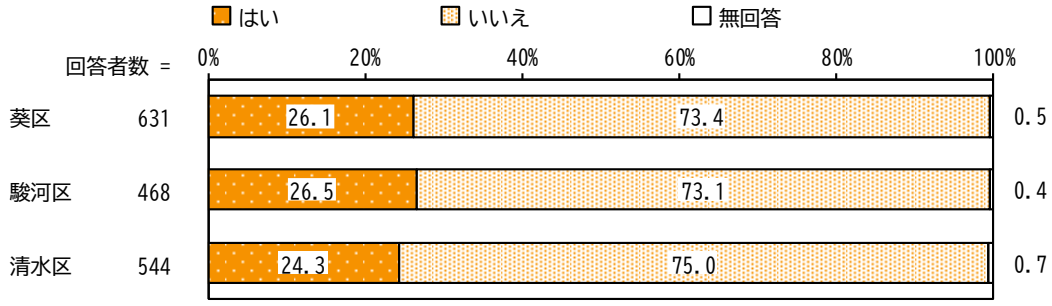
年代別　農林漁業体験の有無（問 35）



【居住地区別】

農林漁業体験の有無について居住地区別でみると、大きな差はみられません。

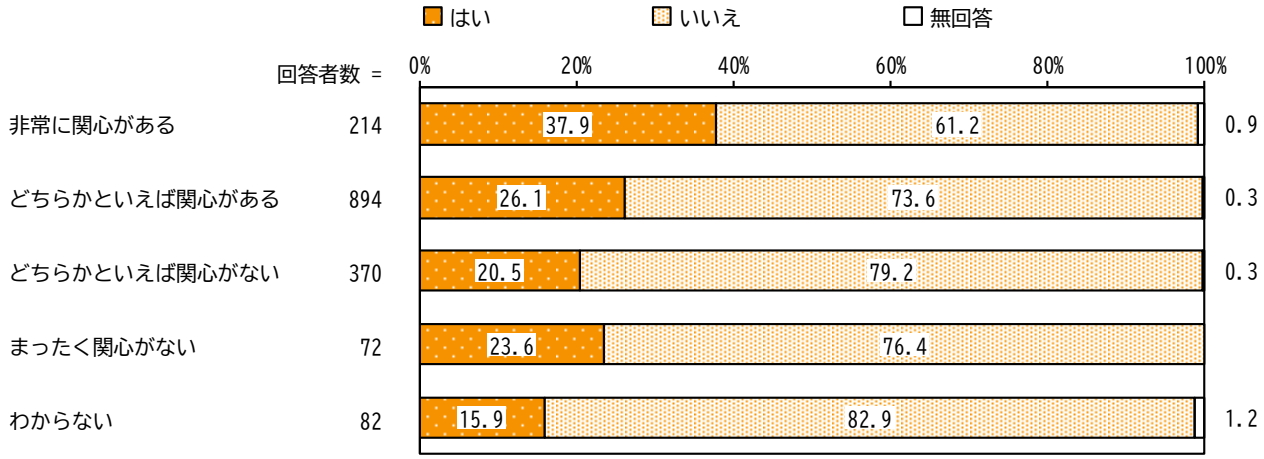
居住地区別　農林漁業体験の有無（問 35）



【食育の関心度別】

農林漁業体験の有無について食育の関心度別でみると、関心がある人ほど農林漁業体験をしたことがある割合が高くなっています。

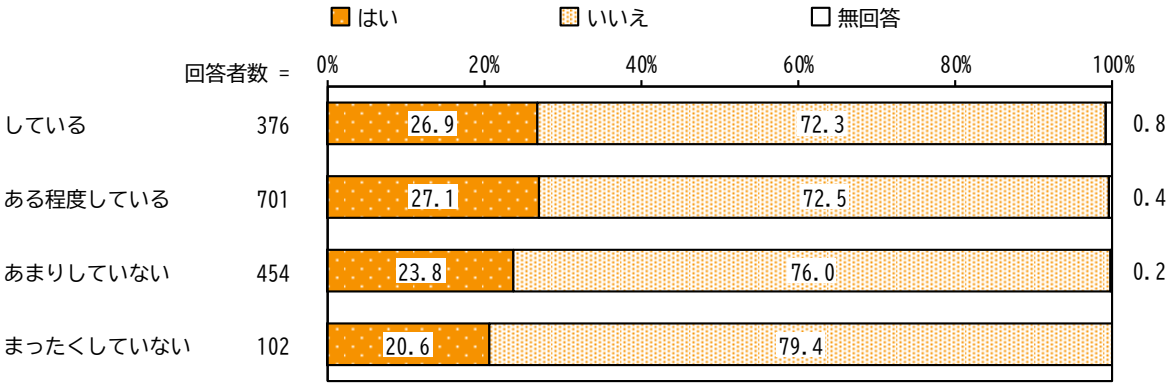
食育の関心度別　農林漁業体験の有無（問 35）



【地元産食品の購入状況別】

農林漁業体験の有無について地元産食品の購入状況別でみると、地元産食品を購入している人ほど農林漁業体験をしたことがある割合が高くなっています。

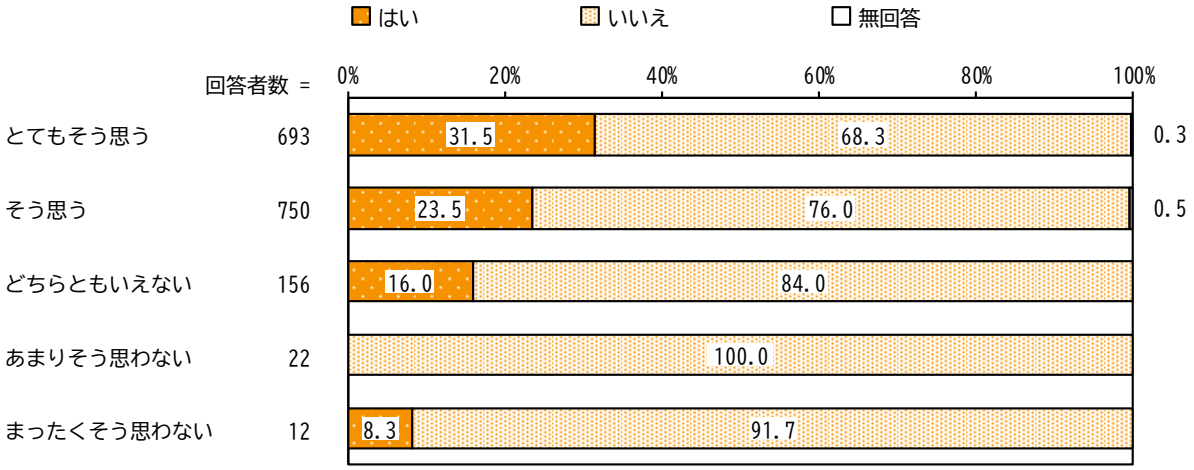
地元産食品の購入状況別　農林漁業体験の有無（問 35）



【地域や家庭で受け継いできた料理や味、作法を受け継ぐことが大切だと思うか別】

農林漁業体験の有無について地域や家庭で受け継いできた料理や味、作法を受け継ぐことが大切だと思うか別でみると、大切だと思う人ほど農林漁業体験をしたことがある割合が高くなっています。

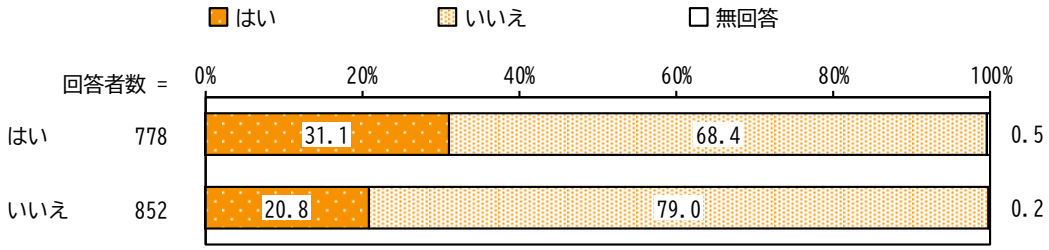
地域や家庭で受け継いできた料理や味、作法を受け継ぐことが大切だと思うか別
農林漁業体験の有無（問 35）



【地域や家庭で受け継いできた料理や味、作法を地域や次世代（子や孫含む）に対し伝えているか別】

農林漁業体験の有無について地域や家庭で受け継いできた料理や味、作法を地域や次世代（子や孫含む）に対し伝えているか別でみると、伝えていない市民に比べ、伝えている市民で農林漁業体験をしたことがある割合が高くなっています。

地域や家庭で受け継いできた料理や味、作法を地域や次世代（子や孫含む）に対し伝えているか別
農林漁業体験の有無（問 35）



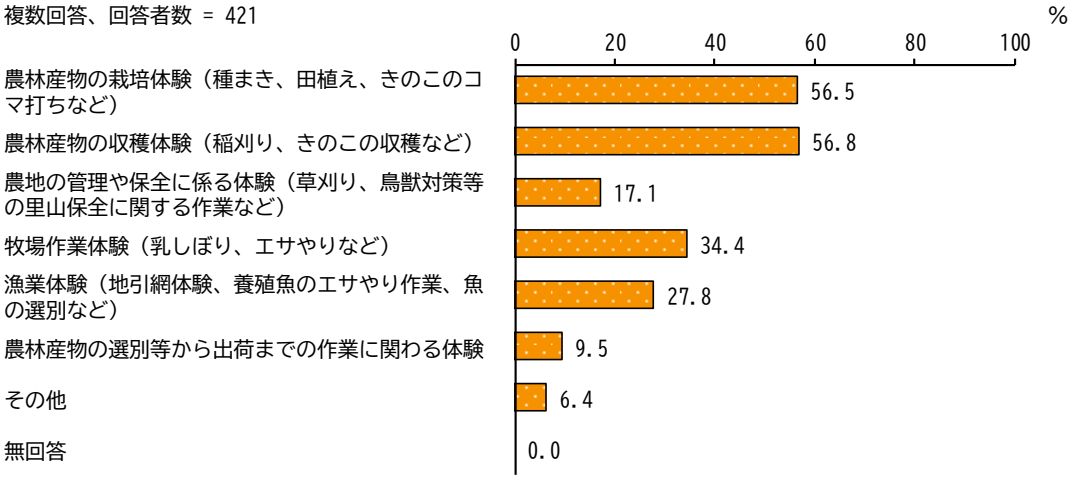
（２）農林漁業体験の内容

問 36 と問 37 は、これまで農林漁業体験に参加したことがある方に伺います。

問 36　参加された農林漁業体験は、どのようなものですか。（いくつでもチェック）

「農林産物の収穫体験（稲刈り、きのこの収穫など）」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「農林産物の栽培体験（種まき、田植え、きのこのコマ打ちなど）」の割合が 56.5%、「牧場作業体験（乳しぼり、エサやりなど）」の割合が 34.4%となっています。

農林漁業体験の内容（問 36）

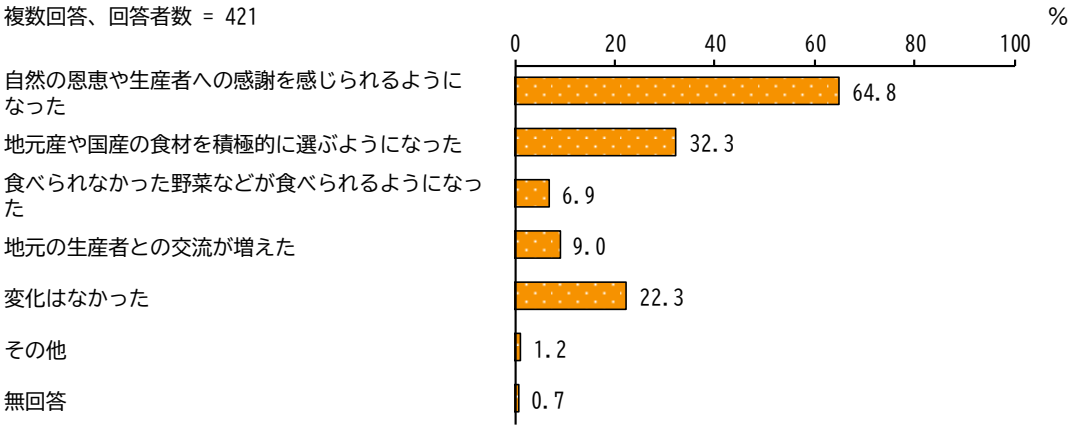


（３）農林漁業体験後に意識・行動が変化したこと

問 37　農林漁業体験に参加して変化したことがありますか。（いくつでもチェック）

「自然の恩恵や生産者への感謝を感じられるようになった」の割合が 64.8%と最も高く、次いで「地元産や国産の食材を積極的に選ぶようになった」の割合が 32.3%、「変化はなかった」の割合が 22.3%となっています。

農林漁業体験後に意識・行動が変化したこと（問 37）



【年代別】

農林漁業体験による変化について年代別でみると、どの年代でも「自然の恩恵や生産者への感謝を感じられるようになった」が最も高くなっています。12～19 歳・20 歳代では「変化はなかった」も高くなっていますが、30 歳代以降では「地元産や国産の食材を積極的に選ぶようになった」の割合が高くなっています。

年代別　農林漁業体験による変化（問 37）

単位：％

区分	回答者数（件）	自然の恩恵や生産者への感謝を感じられるようになった	地元産や国産の食材を積極的に選ぶようになった	食べられなかった野菜などが食べられるようになった	地元の生産者との交流が増えた	変化はなかった	その他	無回答
全　体	421	64.8	32.3	6.9	9.0	22.3	1.2	0.7
12～19歳	60	53.3	13.3	6.7	5.0	36.7	1.7	0.0
20歳代	36	63.9	2.8	2.8	0.0	36.1	0.0	0.0
30歳代	56	67.9	28.6	8.9	8.9	16.1	0.0	0.0
40歳代	73	65.8	43.8	13.7	8.2	15.1	0.0	0.0
50歳代	64	59.4	34.4	6.3	7.8	31.3	1.6	0.0
60歳代	65	75.4	46.2	1.5	7.7	13.8	3.1	0.0
70歳以上	67	67.2	40.3	6.0	20.9	14.9	1.5	4.5

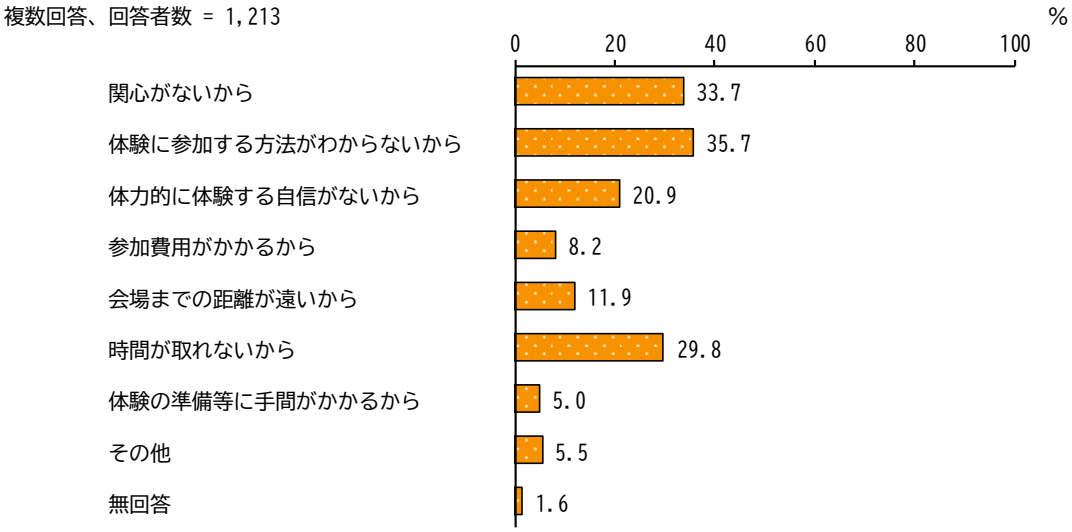
（４）農林漁業体験に参加していない理由

問 38 と問 39 は、これまで農林漁業体験に参加したことがない方に伺います。

問 38　これまで農林漁業体験に参加していない理由はなんですか。（いくつでもチェック）

「体験に参加する方法がわからないから」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「関心がないから」の割合が 33.7%、「時間が取れないから」の割合が 29.8%となっています。

農林漁業体験に参加していない理由（問 38）



【年代別】

農林漁業体験に参加していない理由について年代別でみると、年代によって最も高い理由が異なります。12～19 歳・20 歳代では「関心がないから」の割合が最も高くなっています。30 歳代から 60 歳代では「参加する方法がわからないから」「時間が取れないから」の割合が高くなっています。70 歳以上では「体力的に体験する自信がないから」の割合が最も高くなっています。

年代別　農林漁業体験に参加していない理由（問 38）

単位：％

区分	回答者数（件）	関心がないから	体験に参加する方法がわからないから	体力的に体験する自信がないから	参加費用がかかるから	会場までの距離が遠いから	時間が取れないから	体験の準備等に手間がかかるから	その他	無回答
全　体	1,213	33.7	35.7	20.9	8.2	11.9	29.8	5.0	5.5	1.6
12～19歳	74	55.4	27.0	5.4	9.5	6.8	40.5	6.8	2.7	0.0
20歳代	79	45.6	38.0	6.3	5.1	7.6	26.6	1.3	1.3	0.0
30歳代	110	33.6	34.5	6.4	12.7	12.7	40.0	8.2	1.8	0.0
40歳代	140	29.3	42.9	7.9	13.6	7.9	40.7	7.9	3.6	0.0
50歳代	202	36.6	34.7	10.9	8.4	9.9	36.1	5.4	3.0	0.0
60歳代	233	31.3	39.9	19.7	7.3	11.6	30.0	5.2	7.3	0.4
70歳以上	375	28.5	32.5	42.4	5.6	16.3	17.9	3.2	9.1	4.8

【居住地区別】

農林漁業体験に参加していない理由について居住地区別でみると、「体験に参加する方法がわからないから」の割合が、いずれの地区において最も高く３割を超えています。

居住地区別　農林漁業体験に参加していない理由（問 38）

単位：％

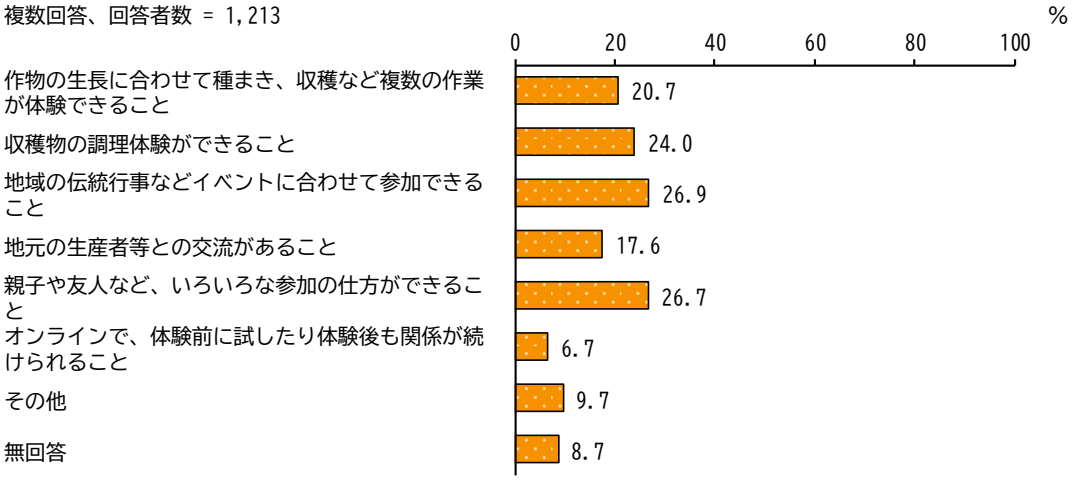
区分	回答者数（件）	関心がないから	体験に参加する方法がわからないから	体力的に体験する自信がないから	参加費用がかかるから	会場までの距離が遠いから	時間が取れないから	体験の準備等に手間がかかるから	その他	無回答
全　体	1,213	33.7	35.7	20.9	8.2	11.9	29.8	5.0	5.5	1.6
葵区	463	30.5	35.2	21.8	8.0	13.4	30.2	4.5	7.6	0.4
駿河区	342	37.1	37.4	21.6	8.5	12.9	30.1	7.0	3.5	1.2
清水区	408	34.6	34.8	19.4	8.1	9.3	29.2	3.9	4.9	3.2

（５）農林漁業体験に参加したいと思う条件

問 39　具体的に、どのような工夫があれば参加したいと思いますか。（いくつでもチェック）

「地域の伝統行事などイベントに合わせて参加できること」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「親子や友人など、いろいろな参加の仕方ができること」の割合が 26.7%、「収穫物の調理体験ができること」の割合が 24.0%となっています。

農林漁業体験に参加したいと思う条件（問 39）



【年代別】

農林漁業体験に参加したいと思う条件について年代別でみると、年代によって異なります。12～19 歳・20 歳代・30 歳代・40 歳代では「親子や友人など、いろいろな参加の仕方ができること」の割合が高くなっています。一方、50 歳代から 70 歳以上では「地域の伝統行事などイベントに合わせて参加できること」の割合が高くなっています。

年代別　農林漁業体験に参加したいと思う条件（問 39）

単位：%

区分	回答者数（件）	作物の生長に合わせて種まき、収穫など複数の作業が体験できること	収穫物の調理体験ができること	地域の伝統行事などイベントに合わせて参加できること	地元の生産者等との交流があること	親子や友人など、いろいろな参加の仕方ができること	オンラインで、体験前に試したり体験後も関係が続けられること	その他	無回答
全　体	1,213	20.7	24.0	26.9	17.6	26.7	6.7	9.7	8.7
12～19歳	74	20.3	21.6	24.3	10.8	47.3	10.8	9.5	0.0
20歳代	79	17.7	21.5	29.1	10.1	39.2	12.7	3.8	0.0
30歳代	110	22.7	30.0	21.8	10.9	46.4	8.2	7.3	0.0
40歳代	140	27.9	22.1	27.1	11.4	45.0	13.6	7.1	0.0
50歳代	202	22.8	23.8	30.2	15.3	23.8	8.9	11.4	0.0
60歳代	233	23.6	25.3	26.2	25.8	22.7	5.2	9.9	8.6
70歳以上	375	15.2	23.2	26.9	21.1	11.5	1.3	11.7	22.9

【居住地区別】

農林漁業体験に参加したいと思う条件について居住地区別でみると、駿河区で「親子や友人など、いろいろな参加の仕方ができること」の割合が 32.2%と高くなっています。

居住地区別　農林漁業体験に参加したいと思う条件（問 39）

単位：%

区分	回答者数（件）	作物の生長に合わせて種まき、収穫など複数の作業が体験できること	収穫物の調理体験ができること	地域の伝統行事などイベントに合わせて参加できること	地元の生産者等との交流があること	親子や友人など、いろいろな参加の仕方ができること	オンラインで、体験前に試したり体験後も関係が続けられること	その他	無回答
全　体	1,213	20.7	24.0	26.9	17.6	26.7	6.7	9.7	8.7
葵区	463	20.3	25.5	24.2	17.3	27.2	8.2	11.0	6.5
駿河区	342	22.2	21.9	31.0	18.1	32.2	7.3	8.8	9.1
清水区	408	19.9	24.0	26.5	17.6	21.6	4.4	9.1	11.0

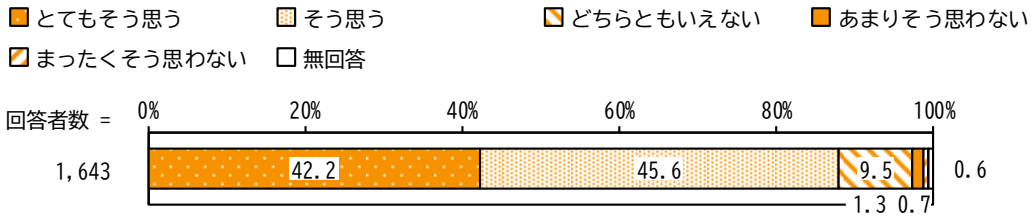
5　食文化について

（１）伝統の重要性

問 40　郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、作法を受け継ぐことは大切だと思いますか。（１つにチェック）

「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 87.8%、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が 2.0%となっています。

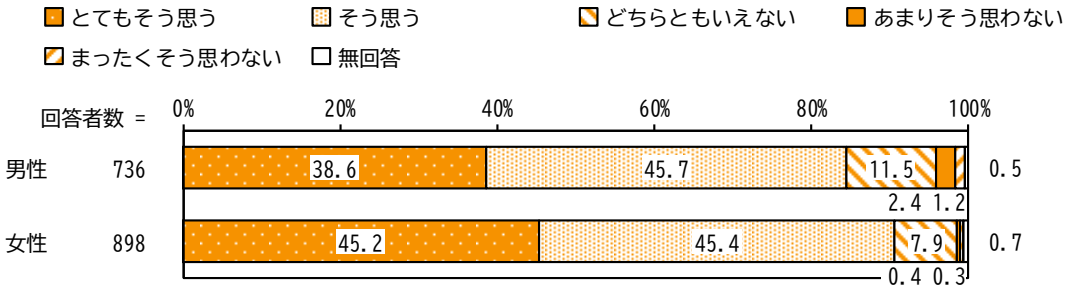
伝統の重要性（問 40）



【性別】

伝統の重要性について性別でみると、女性で“そう思う”の割合が高くなっています。

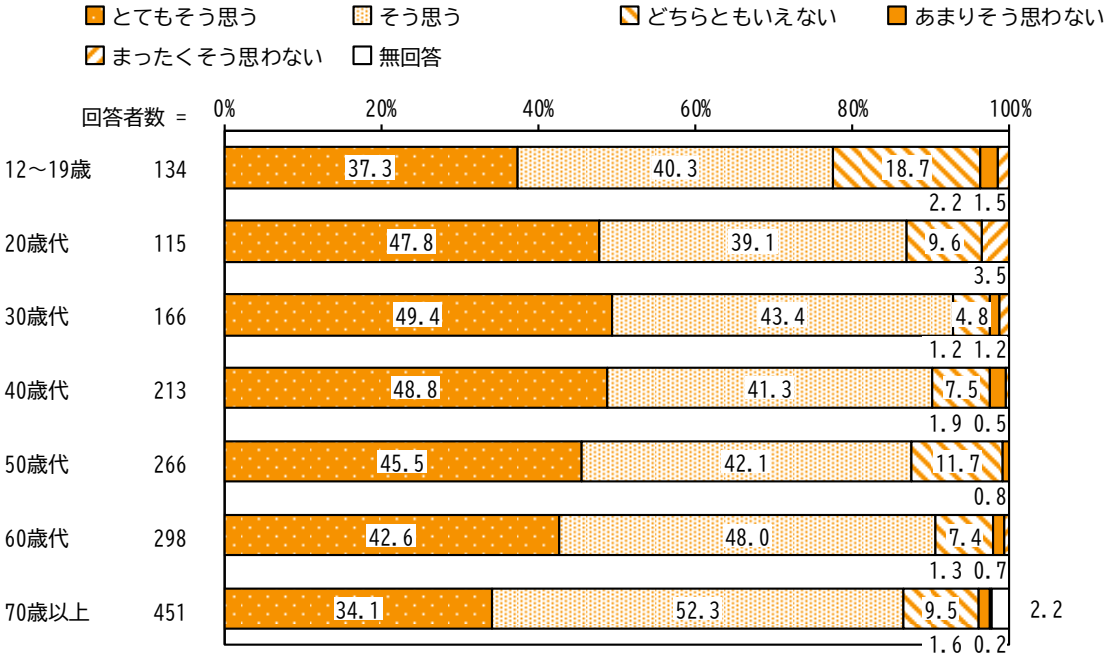
性別　伝統の重要性（問 40）



【年代別】

伝統の重要性について年代別でみると、「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた“そう思う”の割合は、12～19 歳を除くすべての年代で 80%を超えています。12～19 歳でも 77.6%と高くなっています。

年代別　伝統の重要性（問 40）

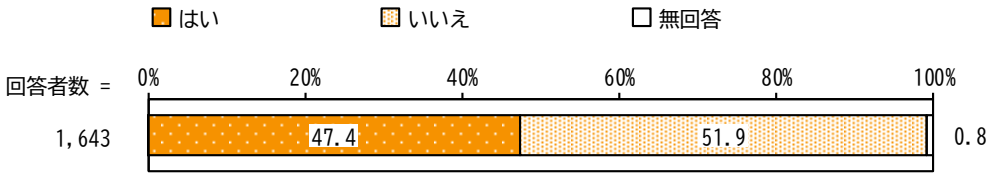


（２）郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況

問 41　あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継いできた料理や味、箸づかいなどの食べ方、作法を地域や次世代（子や孫含む）に対し伝えていますか。（１つにチェック）

「はい」の割合が 47.4%、「いいえ」の割合が 51.9%となっています。

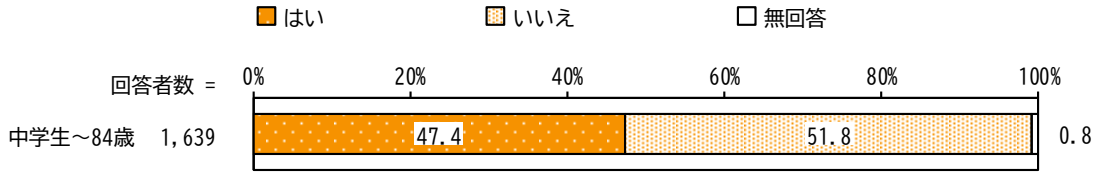
郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況（問 41）



◆評価指標に基づく結果（対象：中学生～84 歳）

地域や家庭で受け継がれた伝統的な料理や作法などを継承している市民の割合は 47.4%となっています。

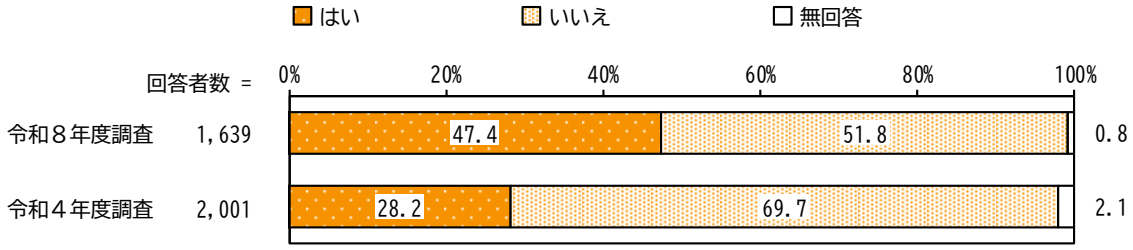
地域や家庭で受け継がれた伝統的な料理や作法などを継承している市民の割合（問 41）



【経年比較】

郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況について令和４年度調査と比較すると、継承している市民の割合が増加しています。

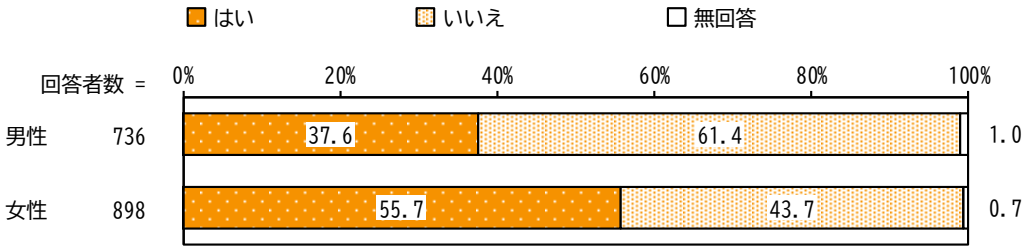
経年比較　郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況（問 41）



【性別】

郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況について性別でみると、女性で「はい」の割合が高くなっています。

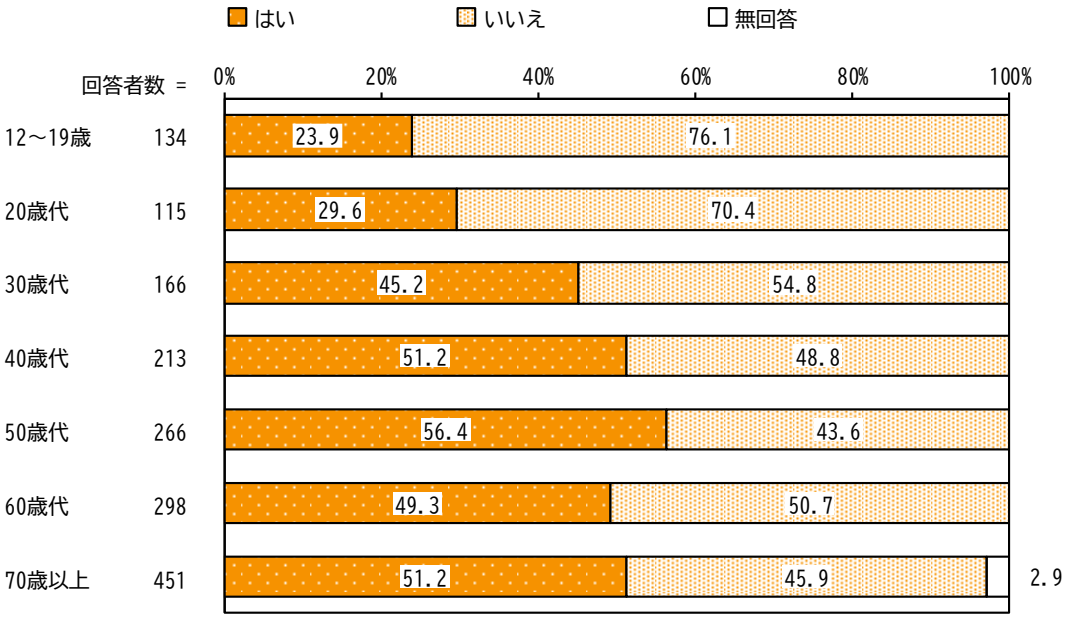
性別　郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況（問 41）



【年代別】

郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況について年代別でみると、「はい」の割合は 12～19 歳・20 歳代で低く、30 歳代から高くなっています。特に 50 歳代で 56.4%と最も高くなっています。

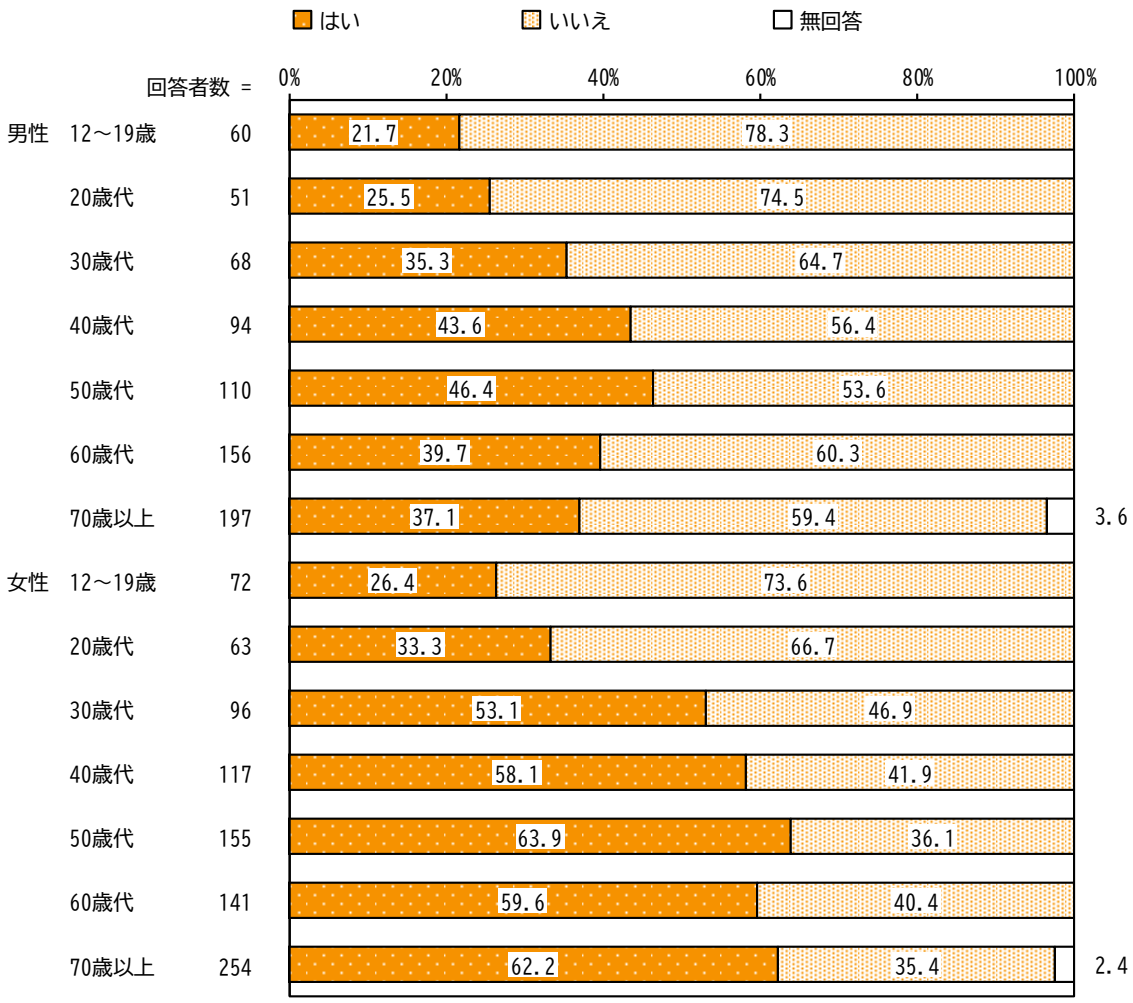
年代別　郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況（問 41）



【性年代別】

郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況について性年代別でみると、いずれの年代でも女性が男性より「はい」の割合が高くなっています。特に 30 歳代以上の女性で高くなっています。

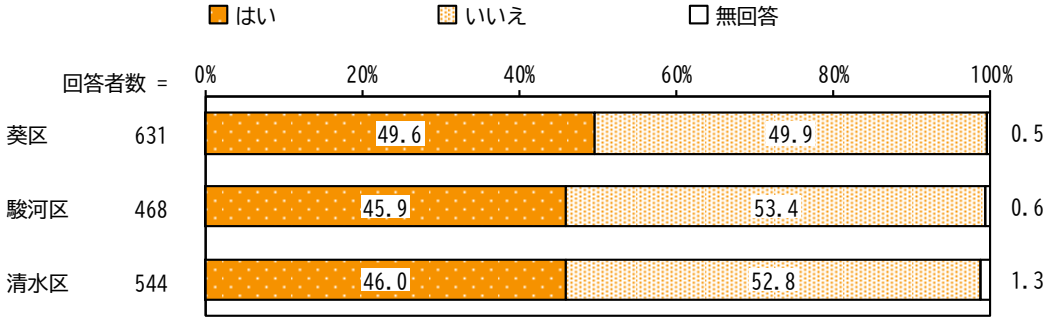
性年代別　郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況（問 41）



【居住地区別】

郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況について居住地区別でみると、地区による大きな差はみられません。

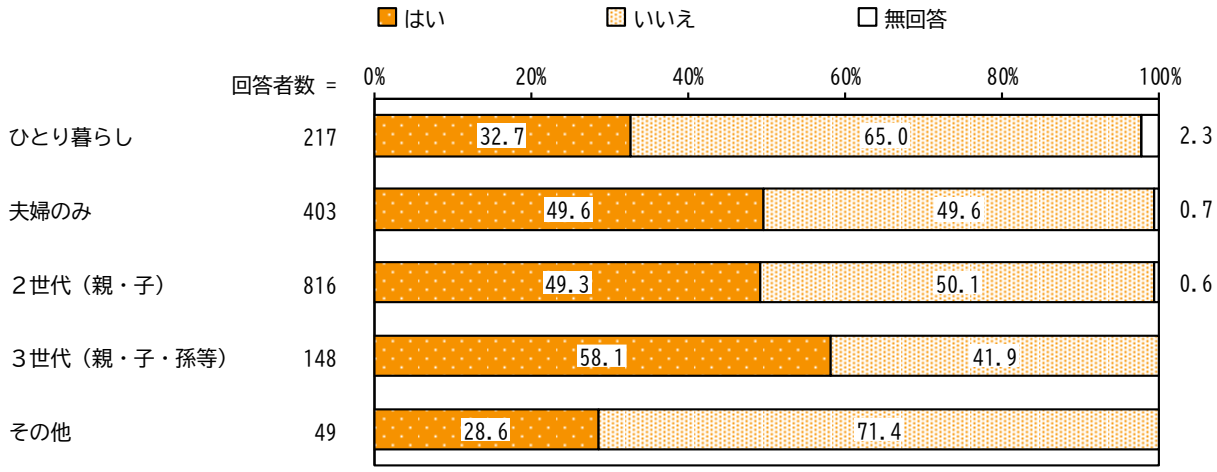
居住地区別　郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況（問 41）



【世帯構成別】

郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況について世帯構成別でみると、３世代（親・子・孫等）で継承している市民の割合が高く、約６割となっています。

世帯構成別　郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況（問 41）



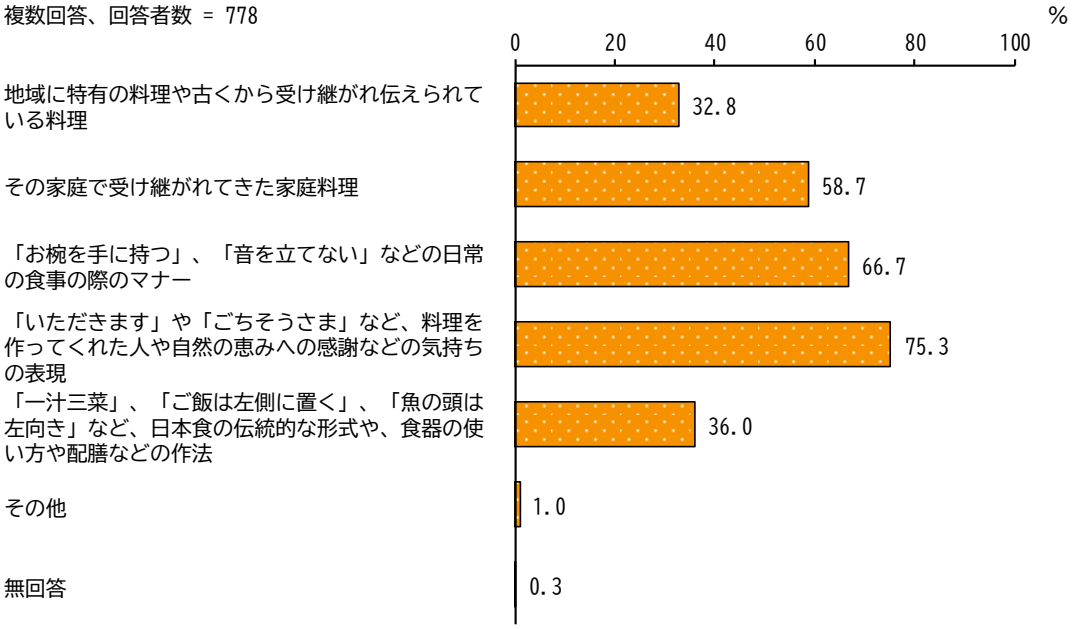
（3）郷土料理や伝統料理に関して伝えている内容

問 42 は、問 41 で「はい」と回答した方に伺います。

問 42　あなたは、郷土料理や伝統料理、食べ方、作法に関して、どのようなことを伝えていますか。（いくつでもチェック）

「「いただきます」や「ごちそうさま」など、料理を作ってくれた人や自然の恵みへの感謝などの気持ちの表現」の割合が 75.3%と最も高く、次いで「「お椀を手に持つ」、「音を立てない」などの日常の食事の際のマナー」の割合が 66.7%、「その家庭で受け継がれてきた家庭料理」の割合が 58.7%となっています。

郷土料理や伝統料理に関して伝えている内容（問 42）

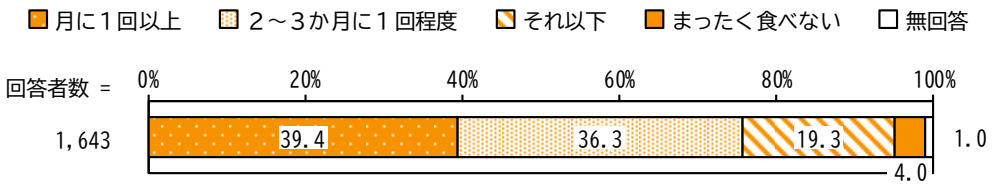


（４）郷土料理や伝統料理の頻度

問 43　あなたは、郷土料理や伝統料理をどのくらいの頻度で食べていますか。
（１つにチェック）

「月に１回以上」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「２～３か月に１回程度」の割合が 36.3%、「それ以下」の割合が 19.3%となっています。

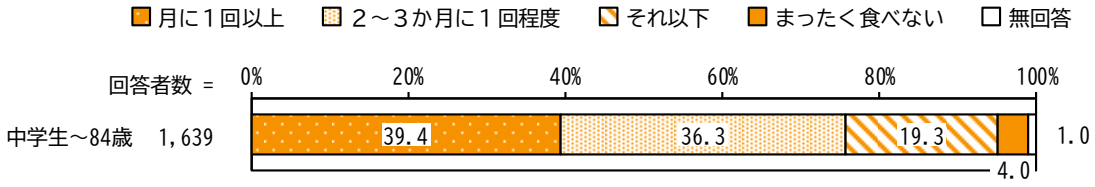
郷土料理や伝統料理の頻度（問 43）



◆評価指標に基づく結果（対象：中学生～84 歳）

郷土食・伝統料理を月１回以上食べている市民の割合は 39.4%となっています。

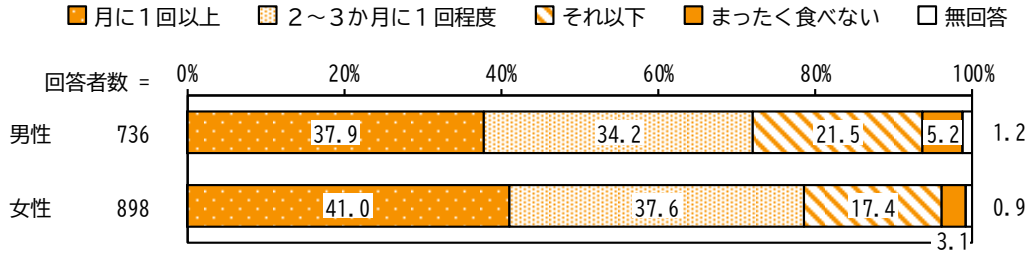
郷土食・伝統料理を月１回以上食べている市民の割合（問 43）



【性別】

郷土料理や伝統料理の頻度について性別でみると、大きな差はみられません。

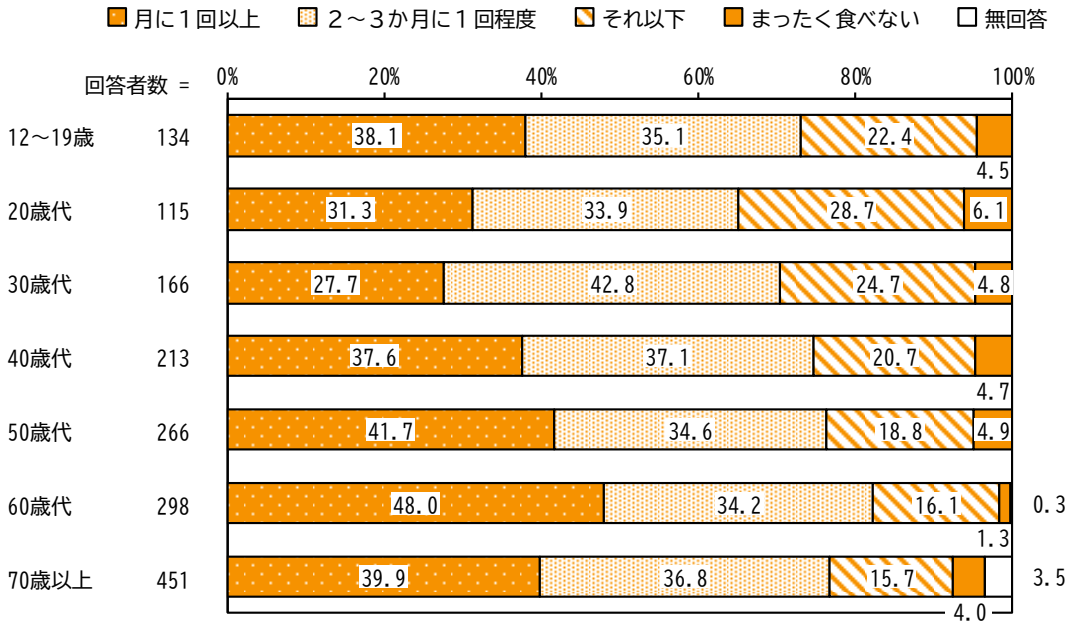
性別　郷土料理や伝統料理の頻度（問 43）



【年代別】

郷土料理や伝統料理を食べる頻度について年代別でみると、「月に１回以上」と「２～３か月に１回程度」を合わせた割合は、20 歳代で最も低く、60 歳代で最も高くなっています。

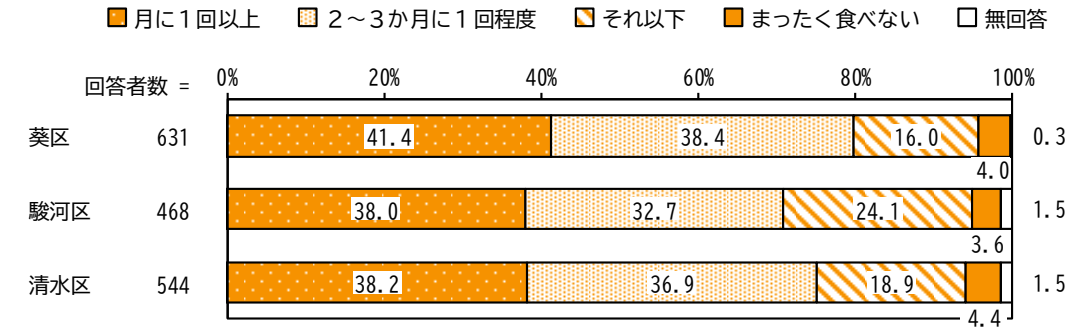
年代別　郷土料理や伝統料理の頻度（問 43）



【居住地区別】

郷土料理や伝統料理の頻度について居住地区別でみると、「月に１回以上」の割合は、いずれの地区でも 40%前後となっています。一方、「まったく食べない」の割合はいずれの地区でも 4.0%前後となっています。

居住地区別　郷土料理や伝統料理の頻度（問 43）



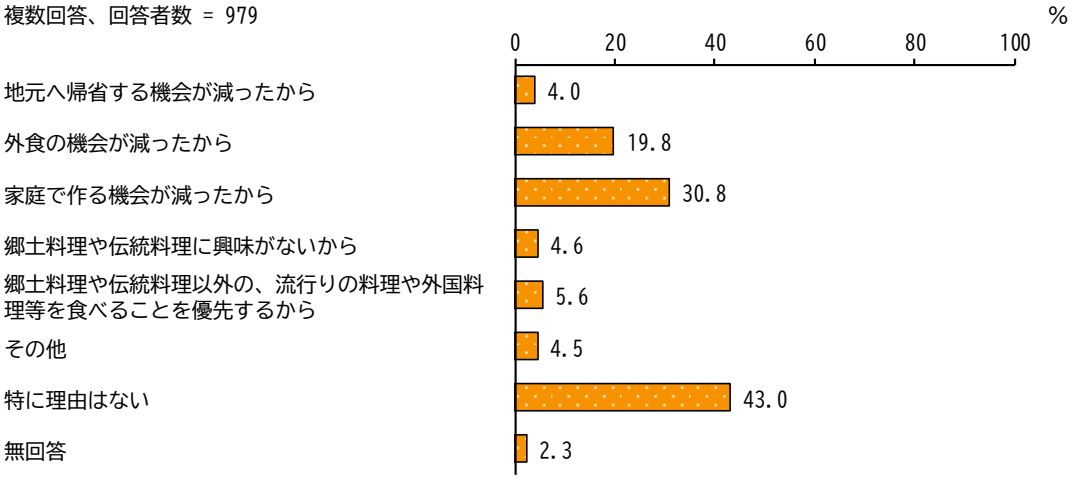
（５）郷土料理や伝統料理を食べない理由

問 44 は、問 43 で郷土料理や伝統料理の頻度について「２～３か月に１回程度」「それ以下」「まったく食べない」と回答した方に伺います。

問 44　あなたが、郷土料理や伝統料理を食べない理由はなんですか。（いくつでもチェック）

「特に理由はない」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「家庭で作る機会が減ったから」の割合が 30.8%、「外食の機会が減ったから」の割合が 19.8%となっています。

郷土料理や伝統料理を食べない理由（問 44）



【年代別】

郷土料理や伝統料理を食べない理由について年代別でみると、多くの年代で「特に理由はない」の割合が高く、特に 12～19 歳で 71.1%となっています。「家庭で作る機会が減ったから」の割合は、若い年代では低く、70 歳以上では 45.9%と最も高くなっています。

年代別　郷土料理や伝統料理を食べない理由（問 44）

単位：%

区分	回答者数（件）	地元へ帰省する機会が減ったから	外食の機会が減ったから	家庭で作る機会が減ったから	郷土料理や伝統料理に興味がないから	郷土料理や伝統料理以外の、流行りの料理や外国料理等を食べることを優先するから	その他	特に理由はない	無回答
全　体	979	4.0	19.8	30.8	4.6	5.6	4.5	43.0	2.3
12～19歳	83	3.6	4.8	19.3	2.4	1.2	2.4	71.1	0.0
20歳代	79	10.1	17.7	16.5	2.5	3.8	6.3	45.6	3.8
30歳代	120	5.0	17.5	29.2	6.7	5.8	4.2	46.7	0.0
40歳代	133	6.0	14.3	30.1	5.3	8.3	5.3	42.1	0.0
50歳代	155	3.2	21.9	21.9	2.6	7.1	1.9	51.0	1.9
60歳代	154	2.6	22.1	30.5	5.8	5.8	1.3	44.8	3.2
70歳以上	255	2.0	26.7	45.9	5.1	5.1	7.8	25.9	4.7

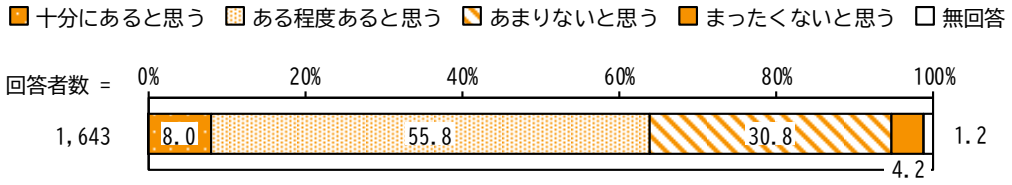
6　食品の安全性、環境への配慮について

（１）安全な食生活を送るための基礎知識

問 45　あなたは、安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識があると思いますか。（１つにチェック）

「ある程度あると思う」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「あまりないと思う」の割合が 30.8%となっています。

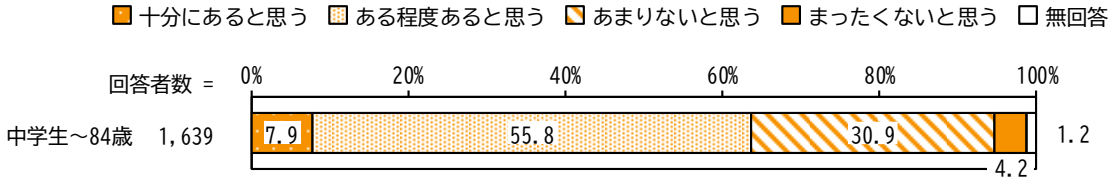
安全な食生活を送るための基礎知識（問 45）



◆評価指標に基づく結果（対象：中学生～84 歳）

食品の安全性について基礎的知識を持つ市民の割合（「十分にあると思う」と「ある程度あると思う」を合わせた割合）は 63.7%となっています。

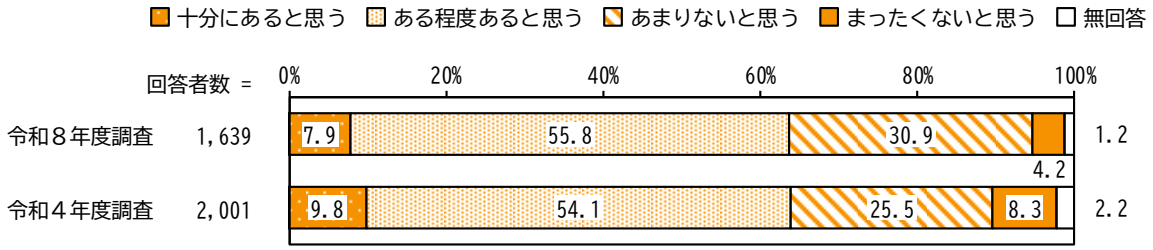
食品の安全性について基礎的知識を持つ市民の割合（問 45）



【経年比較】

安全な食生活を送るための基礎知識について令和４年度調査と比較すると、基礎的な知識を持つ市民の割合に大きな変化はないものの、「あまりないと思う」の割合が増加しています。

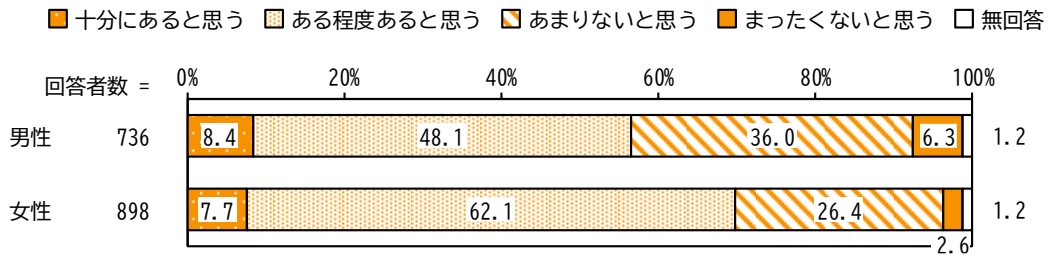
経年比較　安全な食生活を送るための基礎知識（問 45）



【性別】

安全な食生活を送るための基礎知識について性別でみると、男性に比べ女性で「十分にあると思う」「ある程度あると思う」を合わせた割合が高くなっています。

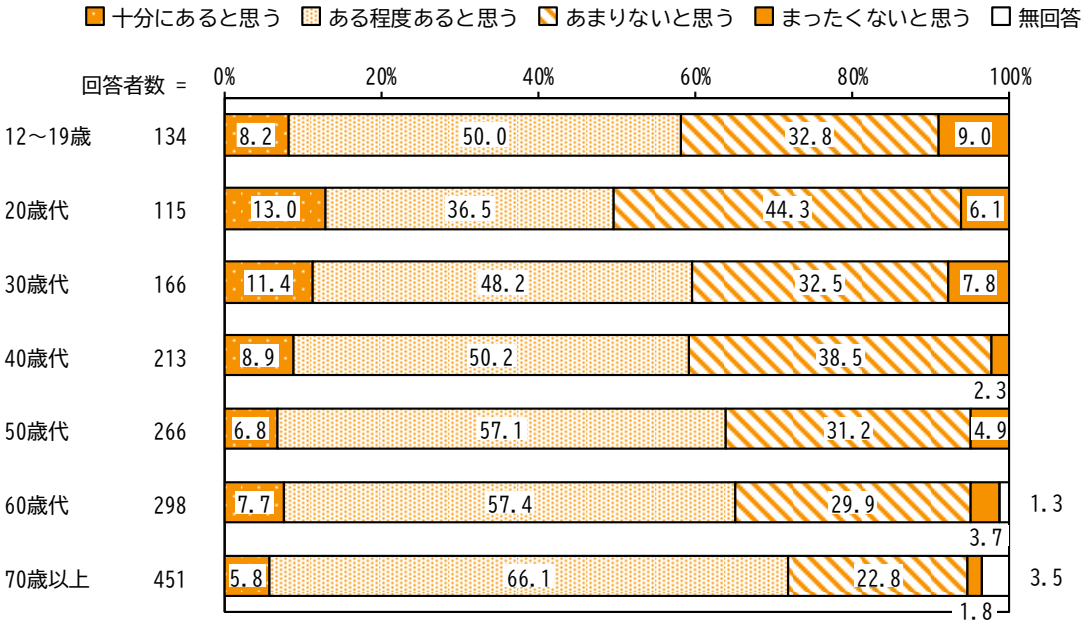
性別　安全な食生活を送るための基礎知識（問 45）



【年代別】

安全な食生活を送るための基礎知識について年代別でみると、「十分にあると思う」と「ある程度あると思う」を合わせた割合は、20 歳代で 49.5%と最も低くなっています。

年代別　安全な食生活を送るための基礎知識（問 45）

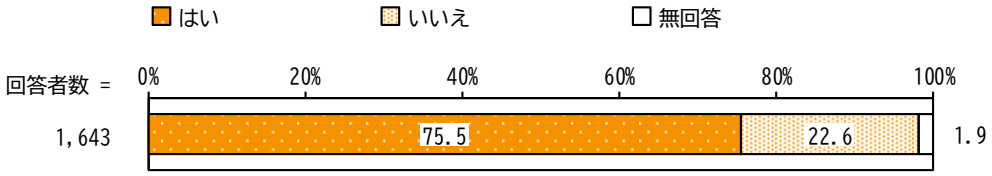


（２）食品ロス削減

問 46　あなたは、食品ロス削減のために何らかの行動をしていますか。
（どちらかにチェック）

「はい」の割合が 75.5%、「いいえ」の割合が 22.6%となっています。

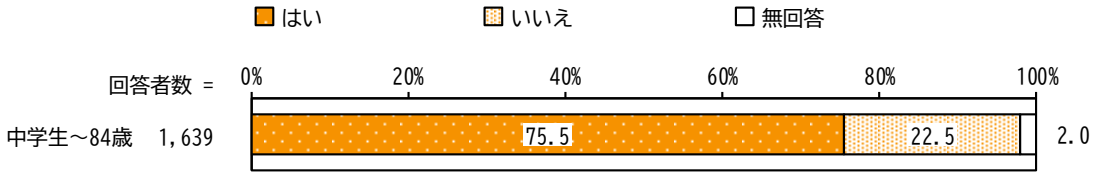
食品ロス削減行動（問 46）



◆評価指標に基づく結果（対象：中学生～84 歳）

食品ロス削減のために行動をしている市民の割合は 75.5%となっています。

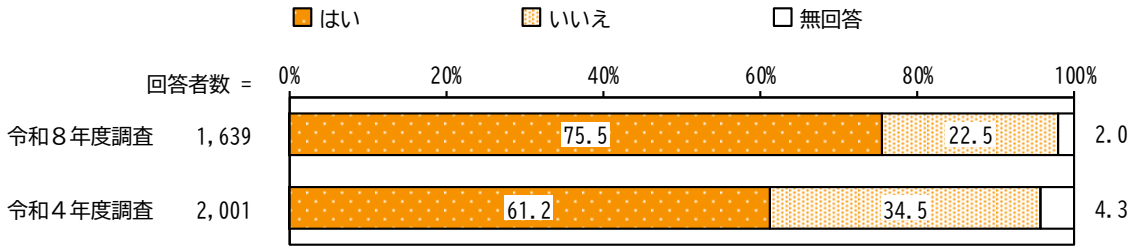
食品ロス削減のために行動をしている市民の割合（問 46）



【経年比較】

食品ロス削減行動について令和４年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。

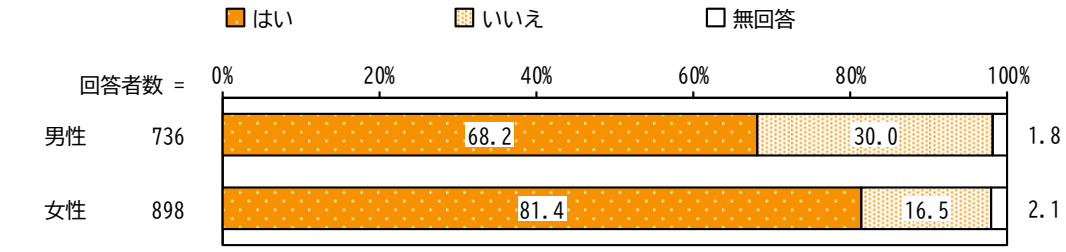
経年比較　食品ロス削減行動（問 46）



【性別】

食品ロス削減行動について性別でみると、男性で「いいえ」の割合が高くなっています。

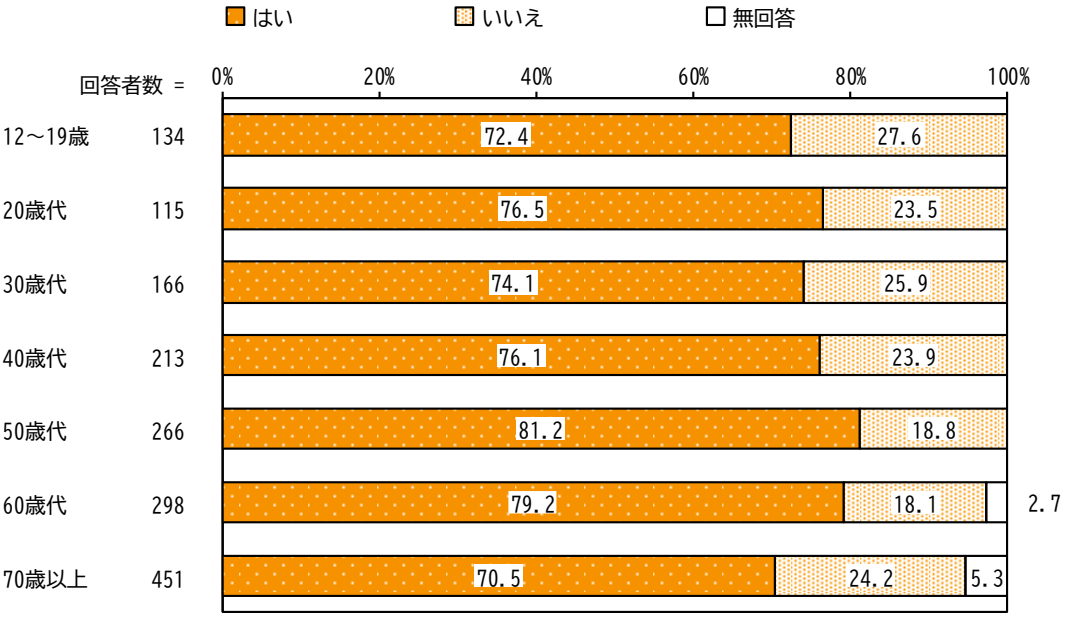
性別　食品ロス削減行動（問 46）



【年代別】

食品ロス削減行動について年代別でみると、「はい」の割合は 50 歳代で 81.2%と最も高く、70 歳以上で 70.5%と最も低くなっています。

年代別　食品ロス削減行動（問 46）

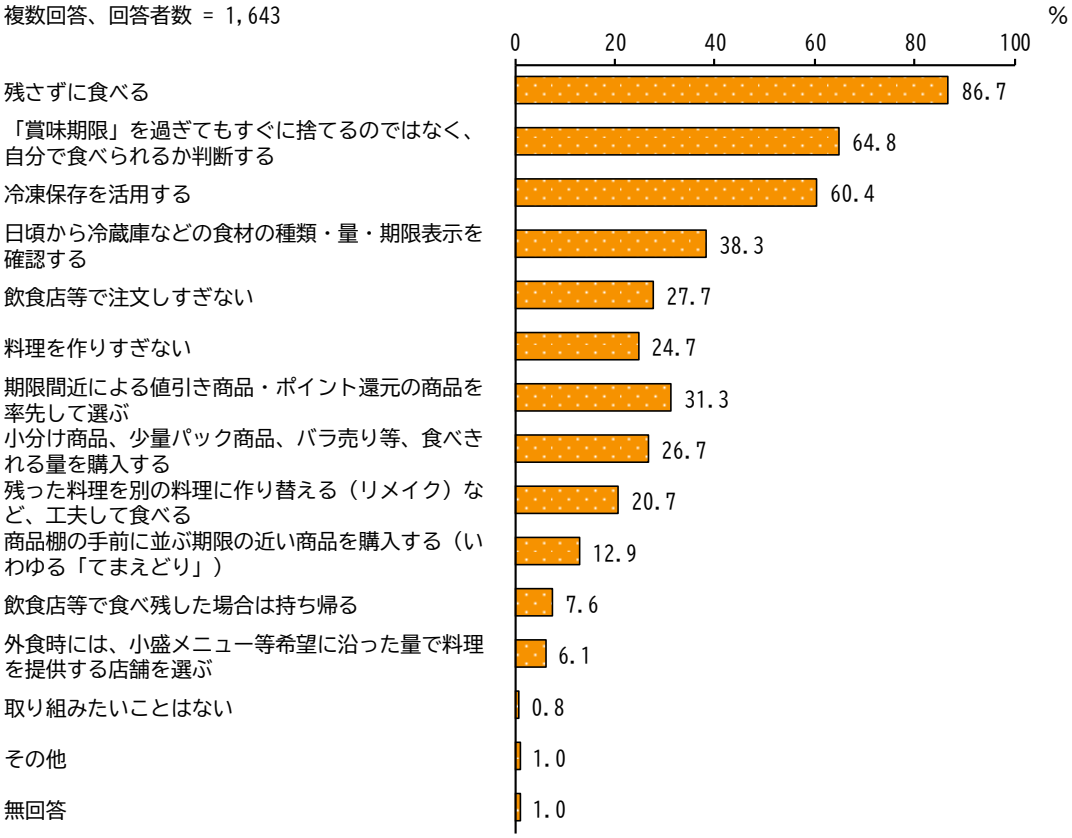


（3）食品ロス削減の具体策

問 47　あなたが食品ロス削減のために現在取り組んでいること、これから取り組みたいと思うことはなんですか。（いくつでもチェック）

「残さずに食べる」の割合が 86.7%と最も高く、次いで「「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」の割合が 64.8%、「冷凍保存を活用する」の割合が 60.4%となっています。

食品ロス削減の具体策（問 47）

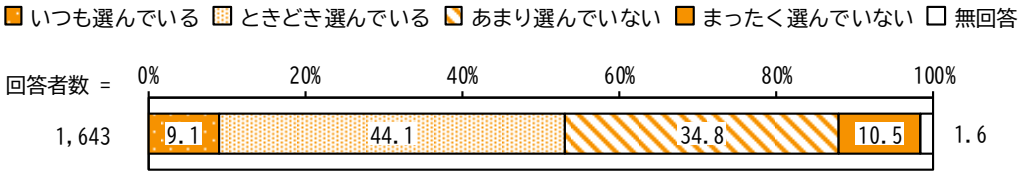


（４）環境に配慮した農林水産物・食品の選択

問 48　あなたは、環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいますか。（１つにチェック）

「いつも選んでいる」「ときどき選んでいる」を合わせた“選んでいる”の割合が 53.2%、「あまり選んでいない」「まったく選んでいない」を合わせた“選んでいない”の割合が 45.3%となっています。

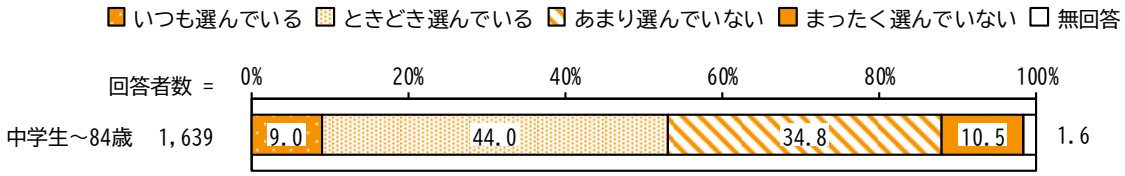
環境に配慮した農林水産物・食品の選択（問 48）



◆評価指標に基づく結果（対象：中学生～84 歳）

環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合（「いつも選んでいる」と「ときどき選んでいる」を合わせた割合）は 53.0%となっています。

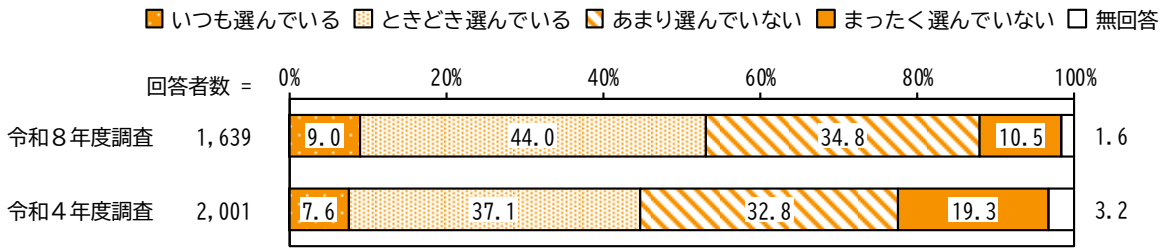
環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合（問 48）



【経年比較】

環境に配慮した農林水産物・食品の選択について令和４年度調査と比較すると、“選んでいる”の割合が増加しています。

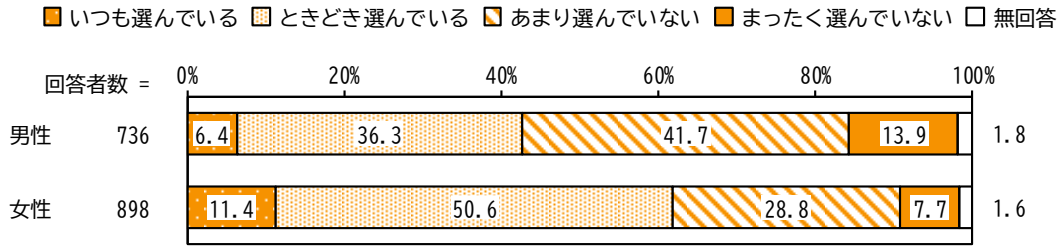
経年比較　環境に配慮した農林水産物・食品の選択（問 48）



【性別】

環境に配慮した農林水産物・食品の選択について性別でみると、女性で“選んでいる”の割合が高くなっています。

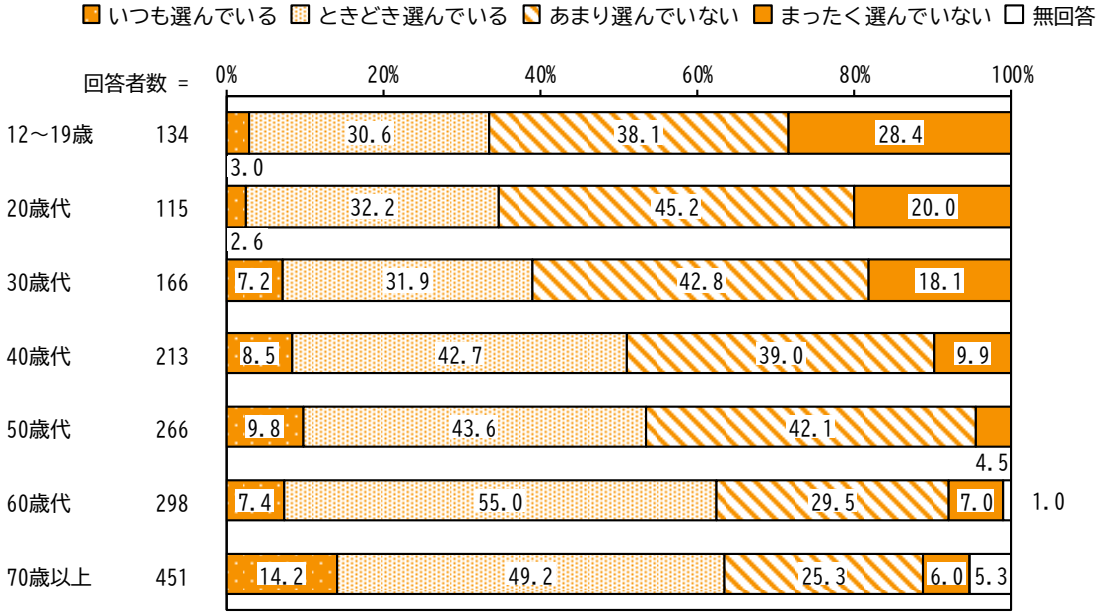
性別　環境に配慮した農林水産物・食品の選択（問 48）



【年代別】

環境に配慮した農林水産物・食品の選択について年代別でみると、年代が上がるほど“選んでいる”の割合が高くなっています。また、60 歳代で「ときどき選んでいる」、20 歳代で「あまり選んでいない」、12～19 歳で「まったく選んでいない」の割合が高くなっています。

年代別　環境に配慮した農林水産物・食品の選択（問 48）



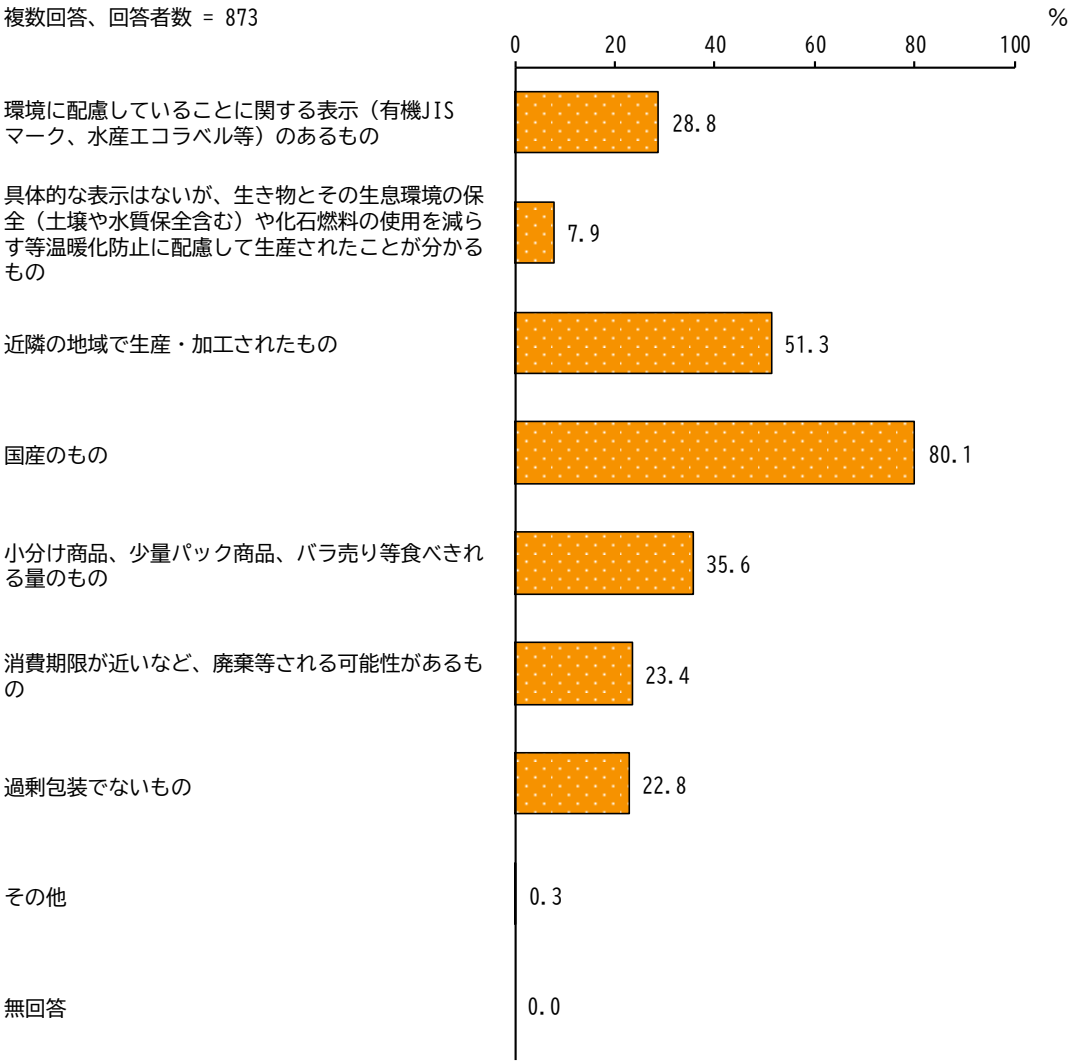
（５）環境に配慮した農林水産物・食品の内容

問 48 で、環境に配慮した農林水産物・食品を「いつも選んでいる」「ときどき選んでいる」と回答した方に伺います。

問 49　どのような環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいますか。
（いくつでもチェック）

「国産のもの」の割合が 80.1%と最も高く、次いで「近隣の地域で生産・加工されたもの」の割合が 51.3%、「小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量のもの」の割合が 35.6%となっています。

環境に配慮した農林水産物・食品の内容（問 49）



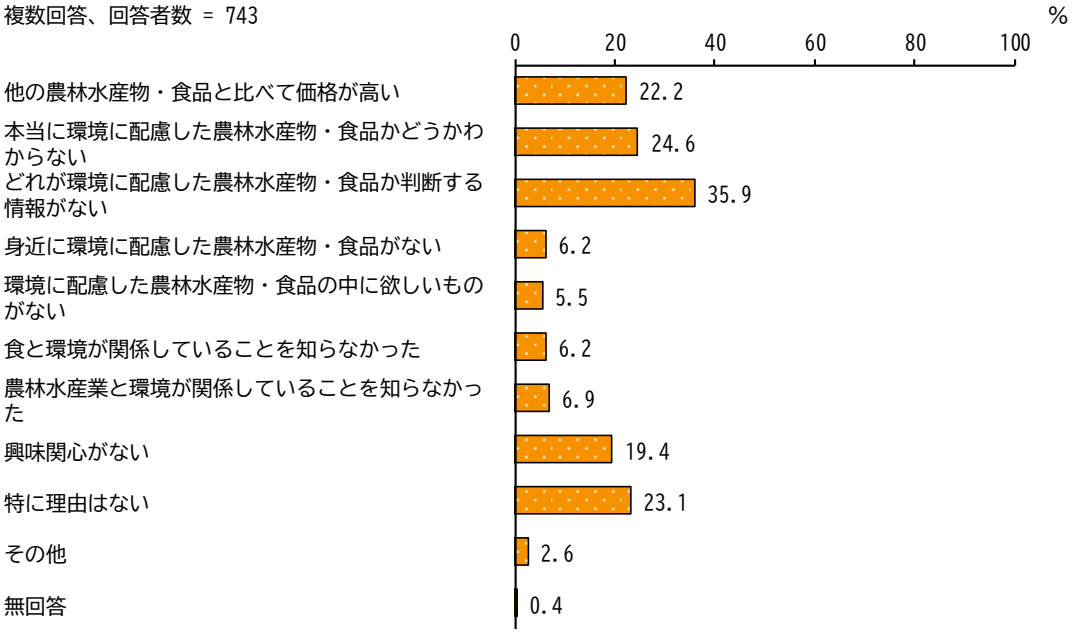
（６）環境に配慮した農林水産物・食品を選ばない理由

問 48 で、環境に配慮した農林水産物・食品を「あまり選んでいない」「まったく選んでいない」と回答した方に伺います。

問 50　環境に配慮した農林水産物・食品を選んでいない理由はなんですか。
（いくつでもチェック）

「どれが環境に配慮した農林水産物・食品か判断する情報がない」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「本当に環境に配慮した農林水産物・食品かどうかわからない」の割合が 24.6%、「他の農林水産物・食品と比べて価格が高い」の割合が 22.2%となっています。また、「特に理由はない」の割合が 23.1%となっています。

環境に配慮した農林水産物・食品を選ばない理由（問 50）



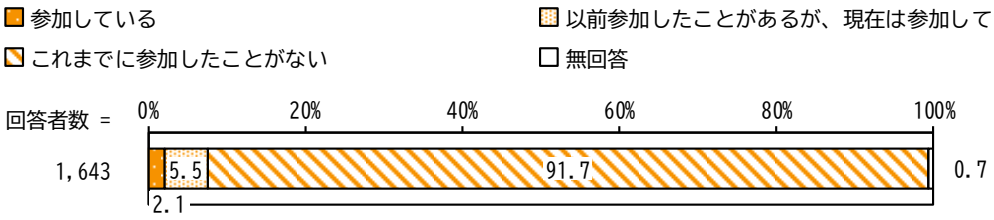
7　食育の推進に関わるボランティア団体等における活動について

（１）食育の推進に関わるボランティア活動の参加

問 51　あなたは、食育の推進に関わるボランティア活動に参加したことがありますか。
（１つにチェック）

「参加している」の割合が 2.1%、「以前参加したことがあるが、現在は参加していない」の割合が 5.5%、「これまでに参加したことがない」の割合が 91.7%となっています。

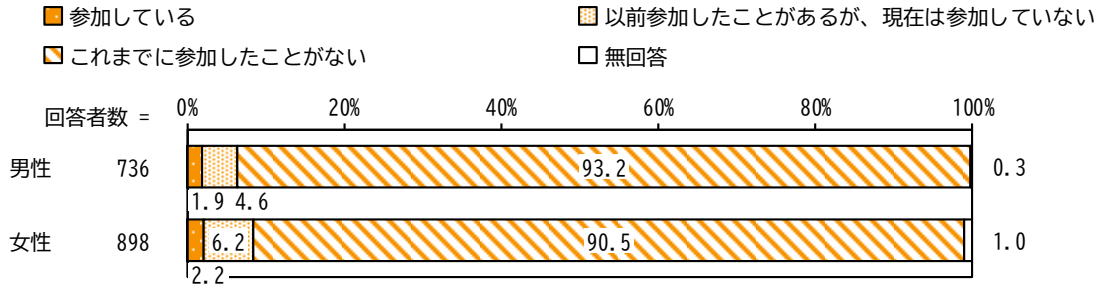
食育の推進に関わるボランティア活動の参加（問 51）



【性別】

食育の推進に関わるボランティア活動の参加について性別でみると、「これまでに参加したことがない」の割合は、どちらも９割台となっています。

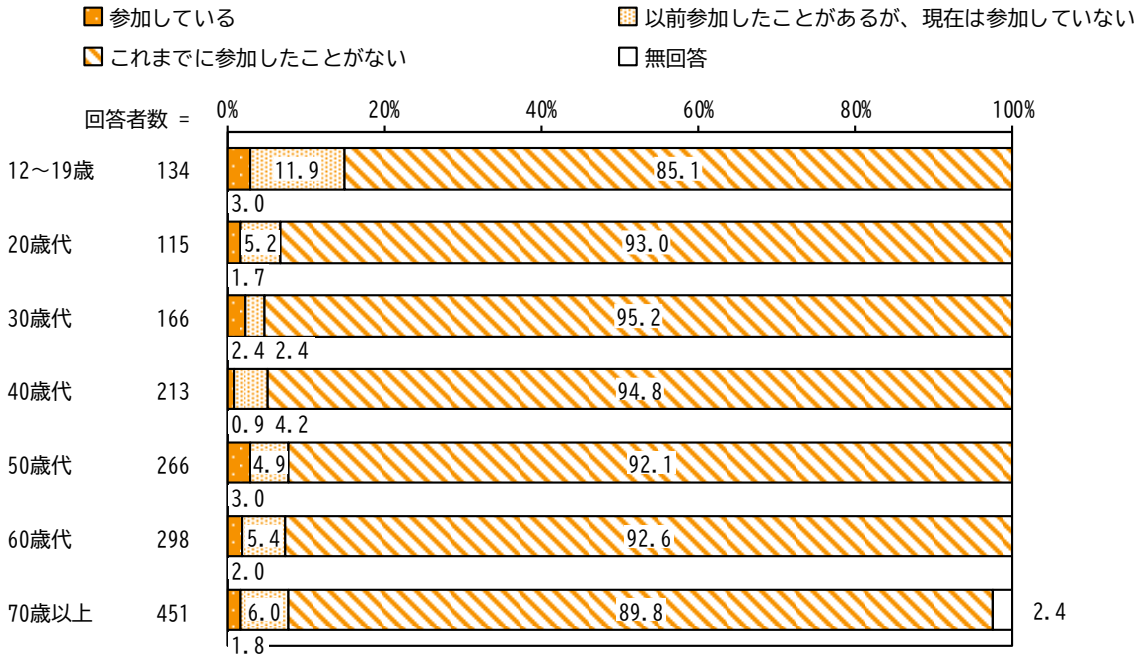
性別　食育の推進に関わるボランティア活動の参加（問 51）



【年代別】

食育の推進に関わるボランティア活動への参加について年代別でみると、「参加している」と「以前参加したことがあるが、現在は参加していない」を合わせた割合は、12～19 歳で最も高くなっています。

年代別　食育の推進に関わるボランティア活動の参加（問 51）



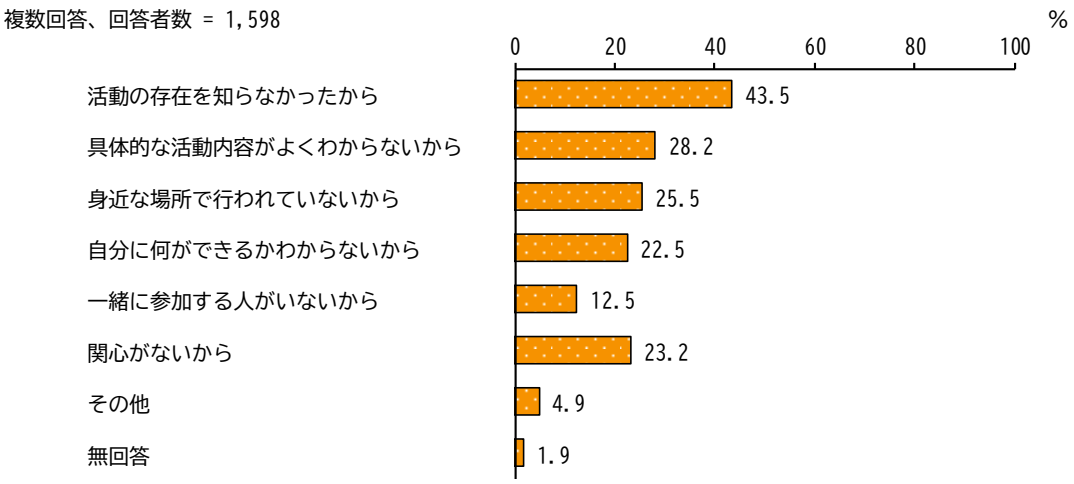
（２）食育の推進に関わるボランティア活動に参加していない理由

問 51 で、食育の推進に関わるボランティア活動に「以前参加したことがあるが、現在は参加していない」「これまでに参加したことがない」を選んだ方に伺います。

問 52　参加していない理由はありますか。（３つまでチェック）

「活動の存在を知らなかったから」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「具体的な活動内容がよくわからないから」の割合が 28.2%、「身近な場所で行われていないから」の割合が 25.5%となっています。

食育の推進に関わるボランティア活動に参加していない理由（問 52）



Ⅲ　静岡市食育推進計画（第４次）評価指標、達成状況一覧表

「静岡市食育推進計画（第４次）」におけるアンケート調査回答による評価指標について、評価可能な指標の達成状況の評価を行いました。

《評価の基準》

評価	基準
A	目標を達成した
B	目標は達成していないが、改善傾向にある
C	変わらない（±５ポイント以内の場合）
D	悪化している
－	現状値なし

《分野別の達成評価》

		達成評価			
指標数	評価可能数	A	B	C	D
19	22	5	5	7	5

※一部の指標は年齢区分別（欠食など）に評価しているため、評価可能数が指標数を上回ります。

《達成評価の詳細》

掲載指標	対象	計画記載値		調査結果		
		令和4年度現状値	令和12年度目標値	令和8年度数値	達成評価	備考
食育に関心を持つ若い世代の割合の増加	20～30歳代	58.7%	85%以上	68.7%	B	問27で「非常に関心がある」または「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合
食に関する情報を得るために行動をする若い世代の割合の増加	20～30歳代	46.3%	80%以上	63.0%	B	問33で「いつも」「ときどき」と回答した人の割合
毎日１回以上家族や友人等と一緒に食事をする市民の割合の増加	中学生～84歳	66.8%	85%以上	77.9%	B	問10で「はい」と回答した人の割合
食事を一人で食べるこどもの割合（朝食）	学童期（6～12歳）	9.5%	8.5%以下	15.5%	D	問11（朝食）で「週２～３日」「週１日程度」「ほとんどない」と回答した人の割合
食事を一人で食べるこどもの割合（夕食）	学童期（6～12歳）	2.9%	2.5%以下	3.1%	C	問11（夕食）で「週２～３日」「週１日程度」「ほとんどない」と回答した人の割合
朝食を欠食する若い世代の割合の減少	学童期（6～12歳）	4.2%	0%	2.3%	C	問15で「週４～５日食べる」「週２～３日食べる」「ほとんど食べない（週０～１日）」と回答した人の割合
	思春期（13～19歳）	17.2%	0%	19.8%	C	
	20歳代	29.9%	25%以下	50.4%	D	
	30歳代	22.3%	20%以下	29.5%	D	
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上ほぼ毎日食べている市民の割合の増加	中学生～84歳	49.3%	60%以上	51.9%	C	問17で「ほぼ毎日（週６～７日）」と回答した人の割合
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を１日２回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	20～30歳代	34.9%	50%以上	30.6%	C	問17で「ほぼ毎日（週６～７日）」と回答した人の割合

掲載指標	対象	計画記載値		調査結果		
		令和4年度 現状値	令和12年度 目標値	令和8年度 数値	達成 評価	備考
女性（20～30歳代）のやせ（低体重：BMI18.5未満）の割合の減少	20～30歳代（女性）	15.3%	15%未満	12.6%	A	問５（身長・体重）にて算出したＢＭＩが、18.5未満の20～30歳代女性の割合
高齢者のやせ（低体重:BMI20以下)の割合	65歳以上	22.8%	17%以下	22.9%	C	問５（身長・体重）にて算出したＢＭＩが20以下の割合
生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合の増加	中学生～84歳	66.1%	75%以上	60.5%	D	問21で「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」と回答した人の割合
ゆっくり噛んで味わって食べるなど食べ方に関心のある市民の割合の増加	中学生～84歳	39.9%	45%以上	46.1%	A	問14の「食べ方に関心がある」で「いつも」と回答した人の割合
農林漁業体験をしたことがある市民の割合の増加	中学生～84歳	31.9%	40%以上	25.7%	D	問35で「はい」と回答した人の割合
環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民の割合	中学生～84歳	44.7%	65%以上	53.0%	B	問48で「いつも選んでいる」「ときどき選んでいる」と回答した人の割合
食品ロス削減のために行動している市民の割合の増加	中学生～84歳	61.2%	75%以上	75.5%	A	問46で「はい」と回答した人の割合
地域や家庭で受け継がれた伝統的な料理や作法などを継承している市民の割合の増加	中学生～84歳	28.2%	35%以上	47.4%	A	問41で「はい」と回答した人の割合
郷土食・伝統料理を月１回以上食べている市民の割合	中学生～84歳	－	30%以上	39.4%	A	問43で「月に１回以上」と回答した人の割合
茶葉からいれた緑茶を飲む市民の割合の増加	中学生～84歳	40.8%	60%以上	47.6%	B	問23で「茶葉からいれる」と回答した人の割合
食品の安全性について基礎的知識を持つ市民の割合の増加	中学生～84歳	63.9%	70%以上	63.7%	C	問45で「十分にあると思う」または「ある程度あると思う」を合わせた割合

Ⅳ　集計表

年齢不詳を含む、1,783 件での集計結果を掲載しています。

問１　居住地区

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
葵区	683	38.3
駿河区	504	28.3
清水区	589	33.0
無回答	7	0.4

問２　アンケートの記入者

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
本人	1,618	90.7
父親・母親	128	7.2
祖父・祖母	2	0.1
その他	27	1.5
無回答	8	0.4

問３　性別

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
男	797	44.7
女	970	54.4
その他	8	0.4
無回答	8	0.4

問４　年齢

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
６～11歳	128	7.2
12～19歳	135	7.6
20歳代	115	6.4
30歳代	166	9.3
40歳代	213	11.9
50歳代	266	14.9
60歳代	298	16.7
70歳以上	451	25.3
無回答	11	0.6

問５　肥満度

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
やせ	206	11.6
普通	1,201	67.4
肥満	346	19.4
無回答	30	1.7

問６　世帯構成

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
ひとり暮らし	218	12.2
夫婦のみ	405	22.7
２世代（親・子）	923	51.8
３世代（親・子・孫等）	168	9.4
その他	52	2.9
無回答	17	1.0

問７　家族の人数

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
１人	218	12.2
２人	528	29.6
３人	390	21.9
４人	378	21.2
５人	153	8.6
６人以上	98	5.5
無回答	18	1.0

問８　職業・属性

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
小学生	129	7.2
中学生	56	3.1
高校生	59	3.3
大学生	29	1.6
短大・専門学校生	9	0.5
会社員・公務員	585	32.8
自営業	104	5.8
パート・アルバイト	256	14.4
無職	500	28.0
その他	45	2.5
無回答	11	0.6

問９　学年（小学生）

カテゴリ	件数	割合
全　体	129	100.0
１年生	17	13.2
２年生	21	16.3
３年生	26	20.2
４年生	21	16.3
５年生	29	22.5
６年生	15	11.6
無回答	－	－

問９　学年（中学生）

カテゴリ	件数	割合
全　体	56	100.0
１年生	15	26.8
２年生	27	48.2
３年生	14	25.0
無回答	－	－

問９　学年（高校生）

カテゴリ	件数	割合
全　体	59	100.0
１年生	22	37.3
２年生	24	40.7
３年生	13	22.0
無回答	－	－

問10　毎日１回以上の共食

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
はい	1,415	79.4
いいえ	327	18.3
無回答	41	2.3

問11　家族との食事頻度（朝食）

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,548	100.0
ほとんど毎日	768	49.6
週４～５日	83	5.4
週２～３日	171	11.0
週１日程度	118	7.6
ほとんどない	374	24.2
無回答	34	2.2

問11　家族との食事頻度（夕食）

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,548	100.0
ほとんど毎日	1,060	68.5
週４～５日	140	9.0
週２～３日	181	11.7
週１日程度	36	2.3
ほとんどない	104	6.7
無回答	27	1.7

問12　家族と一緒に朝食を食べない理由

カテゴリ	件数	割合
全　体	663	100.0
家族と生活リズムが異なる（食事の時間が合わない）ため	508	76.6
友人・知人との共食や、職場や地域等における共食の機会が増えたため	1	0.2
１人で食べたいため	17	2.6
家族で別のものを食べているため	43	6.5
朝食を食べないため	92	13.9
その他	38	5.7
無回答	5	0.8

問13　家族と一緒に夕食を食べない理由

カテゴリ	件数	割合
全　体	321	100.0
家族と生活リズムが異なる（食事の時間が合わない）ため	279	86.9
友人・知人との共食や、職場や地域等における共食の機会が増えたため	6	1.9
１人で食べたいため	19	5.9
家族で別のものを食べているため	14	4.4
夕食を食べないため	2	0.6
その他	23	7.2
無回答	3	0.9

問14　食事に関する意識　①食事が楽しい（会話、共食）

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
いつも	1,006	56.4
ときどき	559	31.4
まったくない	63	3.5
わからない	82	4.6
無回答	73	4.1

問14　食事に関する意識　②食事がおいしく食べられる

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
いつも	1,384	77.6
ときどき	313	17.6
まったくない	8	0.4
わからない	28	1.6
無回答	50	2.8

問14　食事に関する意識　③食べ方に関心がある（よく噛む、味わう）

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
いつも	818	45.9
ときどき	657	36.8
まったくない	124	7.0
わからない	110	6.2
無回答	74	4.2

問15　朝食の摂取頻度

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
ほぼ毎日食べる（週６～７日）	1,444	81.0
週４～５日食べる	97	5.4
週２～３日食べる	75	4.2
ほとんど食べない（週０～１日）	160	9.0
無回答	7	0.4

問 16　朝食を毎日食べるために必要なこと

カテゴリ	件数	割合
全　体	332	100.0
自分で朝食を用意する手間がかからないこと	98	29.5
自分で朝食を用意する時間があること	101	30.4
朝早く起きられること	152	45.8
夕食や夜食を食べすぎていないこと	32	9.6
朝、食欲があること	142	42.8
ダイエットの必要がないこと	36	10.8
朝食を食べる習慣があること	102	30.7
朝食を食べるメリットを知っていること	38	11.4
夜遅くまで残業するなど労働時間や環境に無理がないこと	58	17.5
家に朝食が用意されていること	52	15.7
外食やコンビニ等で手軽に朝食をとることができる環境があること	23	6.9
その他	13	3.9
無回答	2	0.6

問 17　栄養バランスへの意識

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
ほぼ毎日（週６～７日）	950	53.3
週４～５日	349	19.6
週２～３日	289	16.2
ほとんどない（週０～１日）	185	10.4
無回答	10	0.6

問 18　主食、主菜、副菜を３つそろえて食べる回数を増やすために必要なこと

カテゴリ	件数	割合
全　体	823	100.0
手間がかからないこと	518	62.9
時間があること	422	51.3
自分で用意することができること	242	29.4
食欲があること	158	19.2
主食・主菜・副菜の３つそろえて食べるメリットを知っていること	117	14.2
家に用意されていること	166	20.2
外食やコンビニ等で手軽に取ることができる環境があること	78	9.5
その他	32	3.9
無回答	6	0.7

問 19　普段食べているもの（朝食）

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）	1,526	85.6
主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）	909	51.0
副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）	683	38.3
汁物（味噌汁やスープなど）	725	40.7
牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）	1,004	56.3
果物	628	35.2
無回答	150	8.4

問 19　普段食べているもの（昼食）

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）	1,549	86.9
主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）	1,222	68.5
副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）	1,018	57.1
汁物（味噌汁やスープなど）	630	35.3
牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）	407	22.8
果物	374	21.0
無回答	120	6.7

問 19　普段食べているもの（夕食）

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,783	100.0
主食（パン・ご飯・麺・シリアル・もちなど）	1,485	83.3
主菜（肉・魚・卵・大豆製品など）	1,654	92.8
副菜（野菜・きのこ・海藻・いもなど）	1,597	89.6
汁物（味噌汁やスープなど）	1,266	71.0
牛乳・乳製品（ヨーグルト・チーズなど）	485	27.2
果物	643	36.1
無回答	46	2.6

問 20　食事の準備状況

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
ほとんどのものを食材から調理して、食事を準備している	448	27.3
一部市販食品を取り入れて、食事を準備している	570	34.7
ほとんどのものに市販食品を利用して、食事を準備している	114	6.9
自分で食事を準備していない	482	29.3
無回答	29	1.8

問 21　生活習慣病予防行動

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
いつも気をつけて実践している	253	15.4
気をつけて実践している	742	45.2
あまり気をつけて実践していない	561	34.1
まったく気をつけて実践していない	80	4.9
無回答	7	0.4

問 22　緑茶の飲用頻度

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
ほぼ毎日飲む（週６～７日）	879	53.5
週４～５日飲む	161	9.8
週２～３日飲む	219	13.3
ほとんど飲まない（週０～１日）	377	22.9
無回答	7	0.4

問 23　緑茶の飲用方法

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,259	100.0
茶葉からいれる	783	62.2
粉末緑茶	62	4.9
市販のティーバッグ入り緑茶	190	15.1
ペットボトルや紙パック入りの緑茶	191	15.2
その他	6	0.5
無回答	27	2.1

問 24　経済的理由の欠食

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
はい	151	9.2
いいえ	1,485	90.4
無回答	7	0.4

問 25　食育の認知

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
言葉も意味も知っていた	986	60.0
言葉は知っていたが、意味は知らなかった	514	31.3
言葉も意味も知らなかった	134	8.2
無回答	9	0.5

問 26　食育の認知経路

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,500	100.0
学校・幼稚園・保育園・こども園等	525	35.0
新聞・雑誌	578	38.5
本	192	12.8
テレビ	840	56.0
ラジオ	80	5.3
インターネット上のニュースサイト	221	14.7
YouTube 等の動画サイト	62	4.1
ブログ、SNS	55	3.7
生産者や食品企業・販売業者のウェブサイトや広報物	146	9.7
行政機関のウェブサイトや広報物	158	10.5
家族とのやりとり	173	11.5
ネット上を含めた友人、知人とのやりとり	67	4.5
同僚とのやりとり	65	4.3
スーパーマーケットなど食品の購入場所	107	7.1
町中（電車・バス等）の広告	14	0.9
イベントやシンポジウム	58	3.9
その他	44	2.9
無回答	12	0.8

問 27　食育への関心

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
非常に関心がある	214	13.0
どちらかといえば関心がある	894	54.4
どちらかといえば関心がない	370	22.5
まったく関心がない	72	4.4
わからない	82	5.0
無回答	11	0.7

問 28　食育への関心がない理由

カテゴリ	件数	割合
全　体	442	100.0
自分や家族の食事や食生活に関心がないから	12	2.7
食事や食生活への関心はあるが、食費を安くすることの方が重要だから	132	29.9
食事や食生活への関心はあるが、他のこと（仕事、趣味など）で忙しいから	144	32.6
「食育」自体についてよくわからないから	144	32.6
食事や食生活を特に意識しなくても健康だから	96	21.7
産地や製造過程など気にしたことがないから	39	8.8
食品の安全性に関心がないから	11	2.5
食べ残しや食品の大量廃棄など、日頃から気にしたことがないから	10	2.3
わからない	38	8.6
その他	17	3.8
無回答	2	0.5

問 29　食育の実践内容

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
１日３回規則正しく食事をする	1,086	66.1
家族や友人と食事をする	939	57.2
農林漁業体験を行う	199	12.1
一緒に作る調理体験	212	12.9
よく噛んで食べる	703	42.8
食材や食品の安全な選び方を学ぶ	482	29.3
食べ物を無駄にしない	1,152	70.1
食事の作法を学ぶ	308	18.7
「いただきます」「ごちそうさま」の感謝をあらわす	922	56.1
伝統食や郷土食、行事食を作る、知る、伝える	310	18.9
何もしていない	61	3.7
その他	11	0.7
無回答	9	0.5

問 30　地元産品の購入意識

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
している	376	22.9
ある程度している	701	42.7
あまりしていない	454	27.6
まったくしていない	102	6.2
無回答	10	0.6

問 31　地元産品購入理由

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,077	100.0
地元の農林水産物・食品を食べたいから	637	59.1
地元や知り合いの生産者を応援したいから	434	40.3
地元産や知り合いの生産者が作った農林水産物・食品の方が安全・安心だから	413	38.3
環境への負担が少なそうだから	136	12.6
特に理由はない	134	12.4
その他	36	3.3
無回答	10	0.9

問 32　食品購入時の意識

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
産地	743	45.2
鮮度	1,122	68.3
旬	718	43.7
値段	1,326	80.7
賞味期限、消費期限	1,027	62.5
原材料	387	23.6
食品添加物	458	27.9
味	687	41.8
栄養成分（カロリー、塩分等）	399	24.3
アレルギー成分	116	7.1
メーカー・ブランド	221	13.5
栽培方法（有機、特別）	116	7.1
テレビ、新聞、雑誌等の情報	171	10.4
インターネット・SNS 等の情報	90	5.5
自分では買わない	78	4.7
その他	7	0.4
無回答	9	0.5

問 33　「食」に関する情報収集の行動

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
いつも	197	12.0
ときどき	940	57.2
ほとんどない	492	29.9
無回答	14	0.9

問 34　「食」に関する情報収集先

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,137	100.0
学校・幼稚園・保育園・こども園等	79	6.9
新聞・雑誌	416	36.6
本	294	25.9
テレビ	774	68.1
ラジオ	67	5.9
インターネット上のニュースサイト	370	32.5
YouTube 等の動画サイト	338	29.7
ブログ、SNS	274	24.1
生産者や食品企業・販売業者のウェブサイトや広報物	146	12.8
行政機関のウェブサイトや広報物	52	4.6
家族とのやりとり	280	24.6
ネット上を含めた友人、知人とのやりとり	136	12.0
同僚とのやりとり	120	10.6
スーパーマーケットなど食品の購入場所	394	34.7
町中（電車・バス等）の広告	22	1.9
イベントやシンポジウム	28	2.5
その他	5	0.4
無回答	2	0.2

問 35　農林漁業体験の有無

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
はい	421	25.6
いいえ	1,213	73.8
無回答	9	0.5

問 36　農林漁業体験の内容

カテゴリ	件数	割合
全　体	421	100.0
農林産物の栽培体験（種まき、田植え、きのこのコマ打ちなど）	238	56.5
農林産物の収穫体験（稲刈り、きのこの収穫など）	239	56.8
農地の管理や保全に係る体験（草刈り、鳥獣対策等の里山保全に関する作業など）	72	17.1
牧場作業体験（乳しぼり、エサやりなど）	145	34.4
漁業体験（地引網体験、養殖魚のエサやり作業、魚の選別など）	117	27.8
農林産物の選別等から出荷までの作業に関わる体験	40	9.5
その他	27	6.4
無回答	－	－

問 37　農林漁業体験による変化

カテゴリ	件数	割合
全　体	421	100.0
自然の恩恵や生産者への感謝を感じられるようになった	273	64.8
地元産や国産の食材を積極的に選ぶようになった	136	32.3
食べられなかった野菜などが食べられるようになった	29	6.9
地元の生産者との交流が増えた	38	9.0
変化はなかった	94	22.3
その他	5	1.2
無回答	3	0.7

問 38　農林漁業体験に参加していない理由

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,213	100.0
関心がないから	409	33.7
体験に参加する方法がわからないから	433	35.7
体力的に体験する自信がないから	254	20.9
参加費用がかかるから	99	8.2
会場までの距離が遠いから	144	11.9
時間が取れないから	362	29.8
体験の準備等に手間がかかるから	61	5.0
その他	67	5.5
無回答	19	1.6

問 39　農林漁業体験に参加したいと思う条件

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,213	100.0
作物の生長に合わせて種まき、収穫など複数の作業が体験できること	251	20.7
収穫物の調理体験ができること	291	24.0
地域の伝統行事などイベントに合わせて参加できること	326	26.9
地元の生産者等との交流があること	214	17.6
親子や友人など、いろいろな参加の仕方ができること	324	26.7
オンラインで、体験前に試したり体験後も関係が続けられること	81	6.7
その他	118	9.7
無回答	106	8.7

問 40　伝統の重要性

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
とてもそう思う	693	42.2
そう思う	750	45.6
どちらともいえない	156	9.5
あまりそう思わない	22	1.3
まったくそう思わない	12	0.7
無回答	10	0.6

問 41　郷土料理や伝統料理の次世代への継承状況

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
はい	778	47.4
いいえ	852	51.9
無回答	13	0.8

問 42　郷土料理や伝統料理に関して伝えている内容

カテゴリ	件数	割合
全　体	778	100.0
地域に特有の料理や古くから受け継がれ伝えられている料理	255	32.8
その家庭で受け継がれてきた家庭料理	457	58.7
「お椀を手に持つ」、「音を立てない」などの日常の食事の際のマナー	519	66.7
「いただきます」や「ごちそうさま」など、料理を作ってくれた人や自然の恵みへの感謝などの気持ちの表現	586	75.3
「一汁三菜」、「ご飯は左側に置く」、「魚の頭は左向き」など、日本食の伝統的な形式や、食器の使い方や配膳などの作法	280	36.0
その他	8	1.0
無回答	2	0.3

問 43　郷土料理や伝統料理の頻度

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
月に１回以上	647	39.4
２～３か月に１回程度	596	36.3
それ以下	317	19.3
まったく食べない	66	4.0
無回答	17	1.0

問 44　郷土料理や伝統料理を食べない理由

カテゴリ	件数	割合
全　体	979	100.0
地元へ帰省する機会が減ったから	39	4.0
外食の機会が減ったから	194	19.8
家庭で作る機会が減ったから	302	30.8
郷土料理や伝統料理に興味がないから	45	4.6
郷土料理や伝統料理以外の、流行りの料理や外国料理等を食べることを優先するから	55	5.6
その他	44	4.5
特に理由はない	421	43.0
無回答	23	2.3

問 45　安全な食生活を送るための基礎知識

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
十分にあると思う	131	8.0
ある程度あると思う	917	55.8
あまりないと思う	506	30.8
まったくないと思う	69	4.2
無回答	20	1.2

問 46　食品ロス削減行動

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
はい	1,240	75.5
いいえ	371	22.6
無回答	32	1.9

問 47　食品ロス削減の具体策

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
残さずに食べる	1,425	86.7
「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	1,064	64.8
冷凍保存を活用する	993	60.4
日頃から冷蔵庫などの食材の種類・量・期限表示を確認する	630	38.3
飲食店等で注文しすぎない	455	27.7
料理を作りすぎない	405	24.7
期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ	514	31.3
小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する	439	26.7
残った料理を別の料理に作り替える（リメイク）など、工夫して食べる	340	20.7
商品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する（いわゆる「てまえどり」）	212	12.9
飲食店等で食べ残した場合は持ち帰る	125	7.6
外食時には、小盛メニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	100	6.1
取り組みたいことはない	13	0.8
その他	16	1.0
無回答	16	1.0

問 48　環境に配慮した農林水産物・食品の選択

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
いつも選んでいる	149	9.1
ときどき選んでいる	724	44.1
あまり選んでいない	571	34.8
まったく選んでいない	172	10.5
無回答	27	1.6

問 49　環境に配慮した農林水産物・食品の内容

カテゴリ	件数	割合
全　体	873	100.0
環境に配慮していることに関する表示（有機 JIS マーク、水産エコラベル等）のあるもの	251	28.8
具体的な表示はないが、生き物とその生息環境の保全（土壌や水質保全含む）や化石燃料の使用を減らす等温暖化防止に配慮して生産されたことが分かるもの	69	7.9
近隣の地域で生産・加工されたもの	448	51.3
国産のもの	699	80.1
小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれる量のもの	311	35.6
消費期限が近いなど、廃棄等される可能性があるもの	204	23.4
過剰包装でないもの	199	22.8
その他	3	0.3
無回答	－	－

問 50　環境に配慮した農林水産物・食品を選ばない理由

カテゴリ	件数	割合
全　体	743	100.0
他の農林水産物・食品と比べて価格が高い	165	22.2
本当に環境に配慮した農林水産物・食品かどうかわからない	183	24.6
どれが環境に配慮した農林水産物・食品か判断する情報がない	267	35.9
身近に環境に配慮した農林水産物・食品がない	46	6.2
環境に配慮した農林水産物・食品の中に欲しいものがない	41	5.5
食と環境が関係していることを知らなかった	46	6.2
農林水産業と環境が関係していることを知らなかった	51	6.9
興味関心がない	144	19.4
特に理由はない	172	23.1
その他	19	2.6
無回答	3	0.4

問 51　食育の推進に関わるボランティア活動の参加

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,643	100.0
参加している	34	2.1
以前参加したことがあるが、現在は参加していない	91	5.5
これまでに参加したことがない	1,507	91.7
無回答	11	0.7

問 52　食育の推進に関わるボランティア活動に参加していない理由

カテゴリ	件数	割合
全　体	1,598	100.0
活動の存在を知らなかったから	695	43.5
具体的な活動内容がよくわからないから	450	28.2
身近な場所で行われていないから	408	25.5
自分に何ができるかわからないから	359	22.5
一緒に参加する人がいないから	200	12.5
関心がないから	371	23.2
その他	79	4.9
無回答	30	1.9

静岡市食生活や食育に関する知識・意識アンケート調査報告書
（令和８年 10 月発行）

発　　行：静岡市 保健福祉長寿局 健康福祉部 健康づくり推進課
〒420-8602 静岡市葵区追手町５番１号
ＴＥＬ 054-221-1571　ＦＡＸ 054-251-0035

編　　集：株式会社名豊
〒450-0003　名古屋市中村区名駅南一丁目 21 番 19 号
ＴＥＬ 052-526-6001　ＦＡＸ 052-526-6003

この報告書は、静岡県立大学　食品栄養科学部　桑野稔子教授の指導により作成しました。